

道路メンテナンス年報

北陸版（新潟県・富山県・石川県）

新潟県道路メンテナンス会議
富山県道路メンテナンス会議
石川県道路メンテナンス会議

2021年2月

目次

1. 道路メンテナンス年報について	1
(1) 概要	
(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について	
2. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果	2
(1) 2019年度（単年度）の点検結果	
(2) 2019年度点検実施施設における判定区分の遷移状況	
(3) 判定区分の割合（1巡目点検結果に2019年度点検結果を反映）	
(4) 緊急輸送道路及び跨線橋等	
3. 1巡目点検施設の修繕等措置の実施状況	55
(1) 判定区分Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況	
(2) 判定区分Ⅳの施設の措置状況	
4. 橋梁・トンネル・シェットの現状	62
(1) 橋梁の現状	
(2) トンネルの現状	
(3) シェットの現状	
5. データ分析・活用の事例	95
(1) 塩害の影響分析	
(2) 凍結防止剤の影響分析	

※巻末資料

1. 道路メンテナンス年報について

(1) 概要

- 国土交通省では、国民・道路利用者の皆様に道路インフラの現状及び老朽化対策についてご理解頂くため、点検の実施状況や結果等を「道路メンテナンス年報」としてとりまとめています。
- 橋梁・トンネル・道路附属物等※については、2014～2018年度における1巡目点検（以降、1巡目点検）が完了し、2019年度より2巡目の点検に着手したところです。
- 本年報は、北陸管内の3県（新潟県・富山県・石川県）の道路管理者が管理する道路施設について、今回は、下記についてとりまとめました。
 - 2019年度（単年度）における点検結果
 - 2019年度末時点における判定区分の割合
 - 2019年度点検実施施設における判定区分の遷移状況
- 道路メンテナンス年報の全国版は、以下のホームページにてご覧いただけます。
https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_r01.html
- この調査結果は、点検結果を踏まえた今後の措置方針の立案等に活用します。

道路の老朽化の現状はどうなっているのだろうか。

→ 地域毎のデータ、経年的な変化等、様々な観点から我が国の道路施設の老朽化の実態を把握することができます。

今後どのように措置していくのか。

→ 各道路管理者は、自らの管理施設の老朽化の実態を踏まえ、今後の措置方針を立案していくこととなります。

※道路附属物等：シェッド・大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等

(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について

全ての道路管理者は、2013年の道路法改正等を受け、2014年7月より5年に1回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

健全性の診断は、以下の4段階に区分します。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

2. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果

(1) 2019年度（単年度）の点検結果

1) 全道路管理者

- 2019年度の点検実施率は、橋梁16%、トンネル20%、道路附属物等12%です。
 ○ 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ36%、Ⅱ47%、Ⅲ17%、Ⅳ0.1%、トンネル：Ⅰ5%、Ⅱ56%、Ⅲ36%、Ⅳ2%、道路附属物等：Ⅰ17%、Ⅱ43%、Ⅲ39%、Ⅳ0.3%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある（次頁以降も同様）。

① 2019年度の点検実施率（全道路管理者合計）

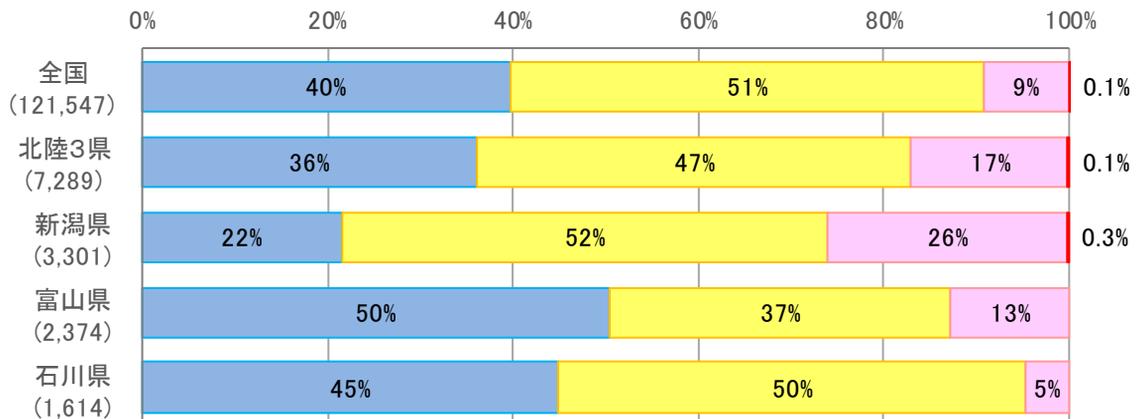
		管理施設数	うち点検対象施設数※1	2019年度点検実施数	点検実施率※2
全国	橋梁	726,461	721,160	121,547	17% (9%)
	トンネル	11,350	10,822	1,748	16% (13%)
	道路附属物等	41,326	40,251	7,172	18% (15%)
北陸3県	橋梁	45,502	45,202	7,289	16% (6%)
	トンネル	672	664	130	20% (10%)
	道路附属物等	2,647	2,629	312	12% (7%)
新潟県	橋梁	23,195	23,032	3,301	14% (4%)
	トンネル	406	402	96	24% (12%)
	道路附属物等	1,416	1,405	199	14% (8%)
富山県	橋梁	12,882	12,815	2,374	19% (11%)
	トンネル	120	120	15	13% (12%)
	道路附属物等	778	774	70	9% (8%)
石川県	橋梁	9,425	9,355	1,614	17% (5%)
	トンネル	146	142	19	13% (5%)
	道路附属物等	453	450	43	10% (0.4%)

2020.3 末時点

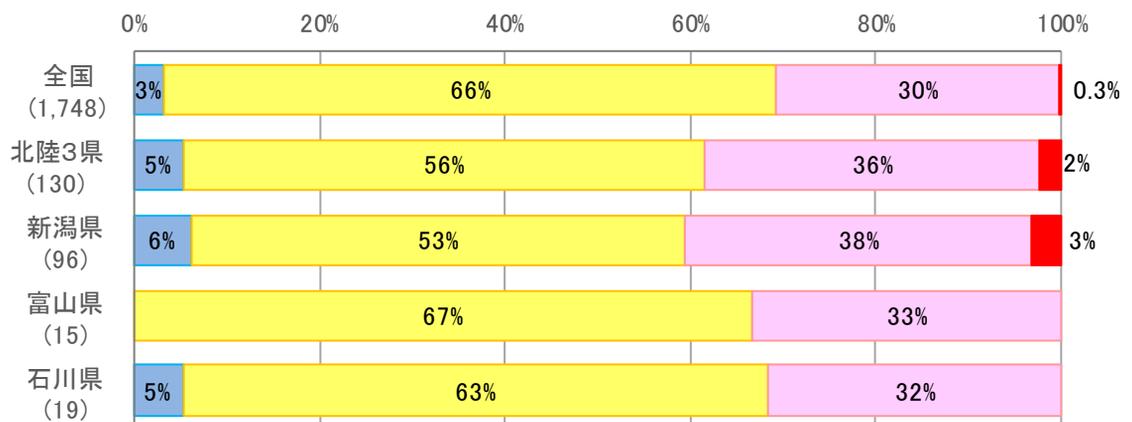
※1：2020年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設の数。

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2014年度における点検実施率。

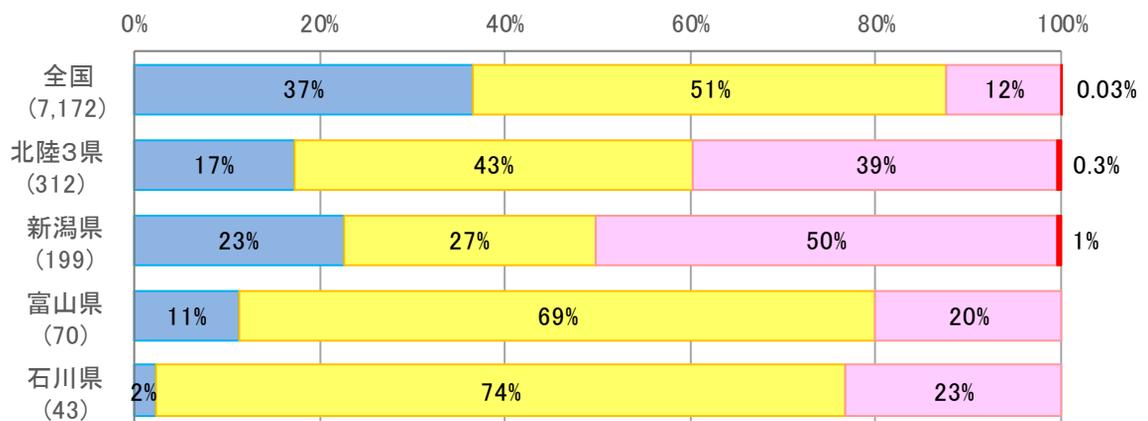
② 橋梁の判定区分の割合（全道路管理者合計）



③ トンネルの判定区分の割合（全道路管理者合計）



④ 道路附属物等の判定区分の割合（全道路管理者合計）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※()内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

2) 国土交通省

- 2019年度の点検実施率は、橋梁8%、トンネル17%、道路附属物等13%です。
 ○ 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ47%、Ⅱ47%、Ⅲ6%、トンネル：Ⅱ47%、Ⅲ53%、道路附属物等：Ⅰ7%、Ⅱ60%、Ⅲ33%です。

① 2019年度の点検実施率（国土交通省）

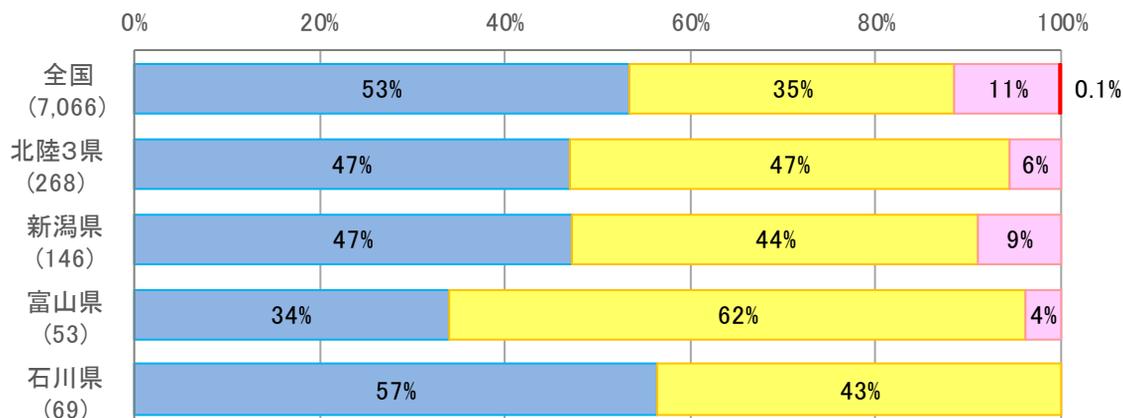
		管理施設数	うち点検対象施設数※1	2019年度点検実施数	点検実施率※2
全国	橋梁	38,197	37,213	7,066	19% (15%)
	トンネル	1,680	1,492	380	25% (22%)
	道路附属物等	12,010	11,715	1,706	15% (11%)
北陸3県	橋梁	3,386	3,352	268	8% (8%)
	トンネル	92	90	15	17% (19%)
	道路附属物等	652	649	87	13% (11%)
新潟県	橋梁	1,630	1,609	146	9% (9%)
	トンネル	45	45	6	13% (13%)
	道路附属物等	404	401	49	12% (12%)
富山県	橋梁	901	897	53	6% (6%)
	トンネル	29	29	5	17% (17%)
	道路附属物等	123	123	29	24% (19%)
石川県	橋梁	855	846	69	8% (8%)
	トンネル	18	16	4	25% (38%)
	道路附属物等	125	125	9	7% (0%)

2020.3 末時点

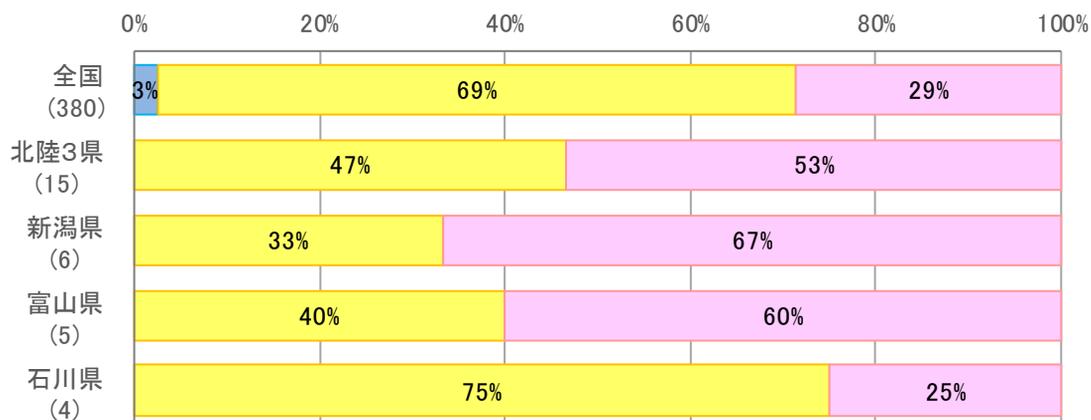
※1：2020年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設の数。

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2014年度における点検実施率。

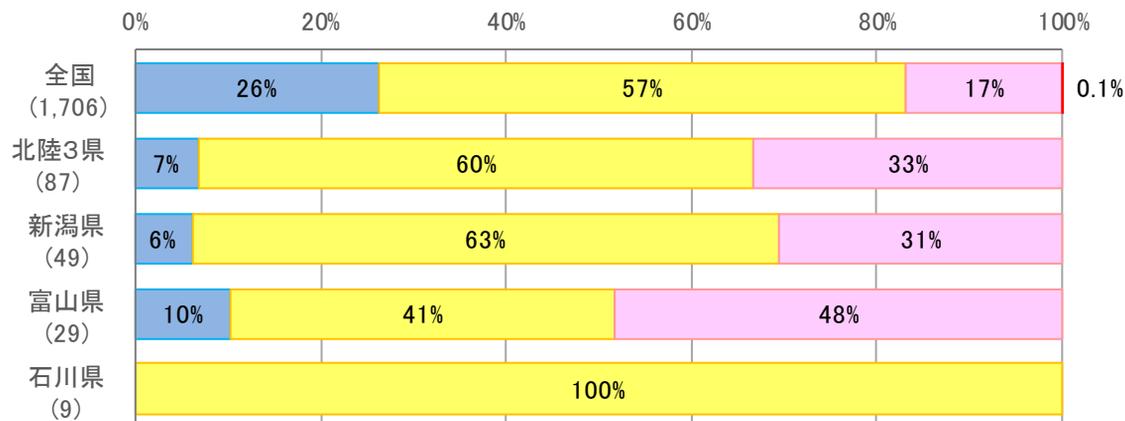
② 橋梁の判定区分の割合（国土交通省）



③ トンネルの判定区分の割合（国土交通省）



④ 道路附属物等の判定区分の割合（国土交通省）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※()内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

3) 高速道路会社

- 2019年度の点検実施率は、橋梁22%、トンネル49%、道路附属物等16%です。
 ○ 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ31%、Ⅱ57%、Ⅲ12%、トンネル：Ⅰ8%、Ⅱ92%、道路附属物等：Ⅰ55%、Ⅱ43%、Ⅲ1%です。

① 2019年度の点検実施率（高速道路会社）

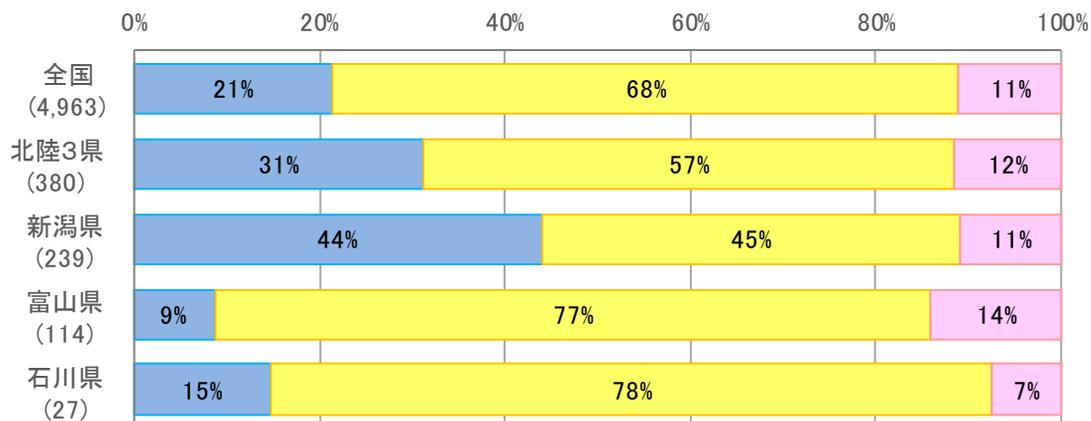
		管理施設数	うち点検対象 施設数※1	2019年度 点検実施数	点検実施率 ※2
全国	橋梁	24,038	23,317	4,963	21% (16%)
	トンネル	2,053	1,890	411	22% (18%)
	道路附属物等	11,962	11,373	2,474	22% (20%)
北陸3県	橋梁	1,773	1,749	380	22% (18%)
	トンネル	111	108	53	49% (44%)
	道路附属物等	513	513	83	16% (17%)
新潟県	橋梁	1,106	1,083	239	22% (21%)
	トンネル	91	88	46	52% (47%)
	道路附属物等	364	364	56	15% (16%)
富山県	橋梁	478	478	114	24% (16%)
	トンネル	14	14	7	50% (50%)
	道路附属物等	138	138	26	19% (19%)
石川県	橋梁	189	188	27	14% (7%)
	トンネル	6	6	0	0% (0%)
	道路附属物等	11	11	1	9% (9%)

2020.3 末時点

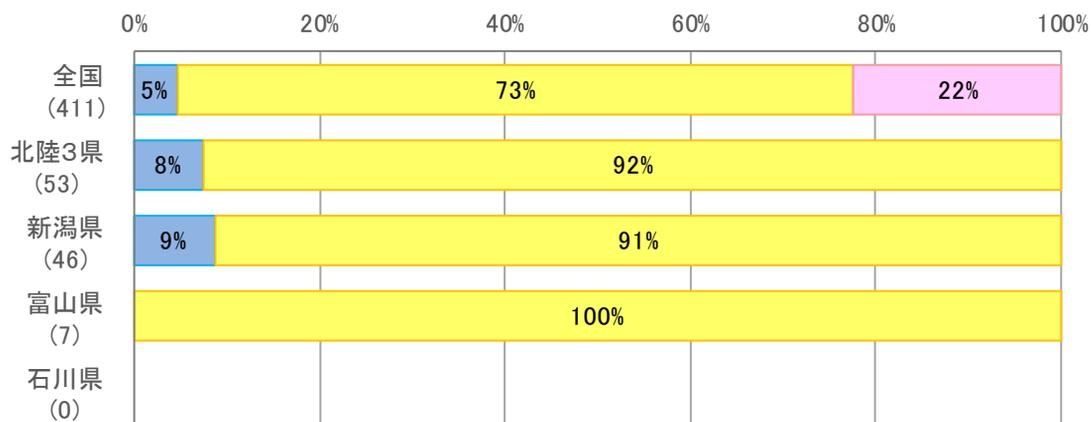
※1：2020年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設の数。

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2014年度における点検実施率。

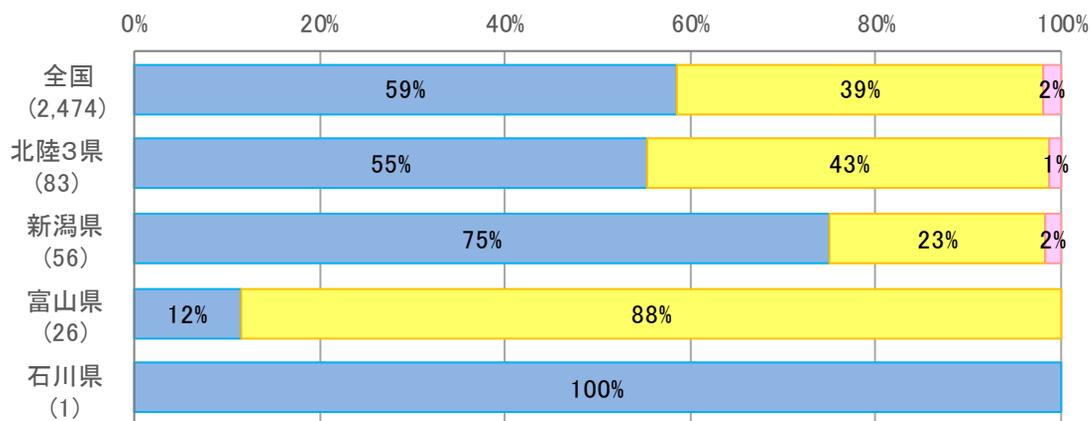
② 橋梁の判定区分の割合（高速道路会社）



③ トンネルの判定区分の割合（高速道路会社）



④ 道路附属物等の判定区分の割合（高速道路会社）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※()内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

4) 地方公共団体

- 2019年度の点検実施率は、橋梁17%、トンネル13%、道路附属物等10%です。
 ○ 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ36%、Ⅱ46%、Ⅲ18%、Ⅳ0.1%、トンネル：Ⅰ5%、Ⅱ27%、Ⅲ63%、Ⅳ5%、道路附属物等：Ⅰ1%、Ⅱ32%、Ⅲ65%、Ⅳ1%です。

① 2019年度の点検実施率（地方公共団体）

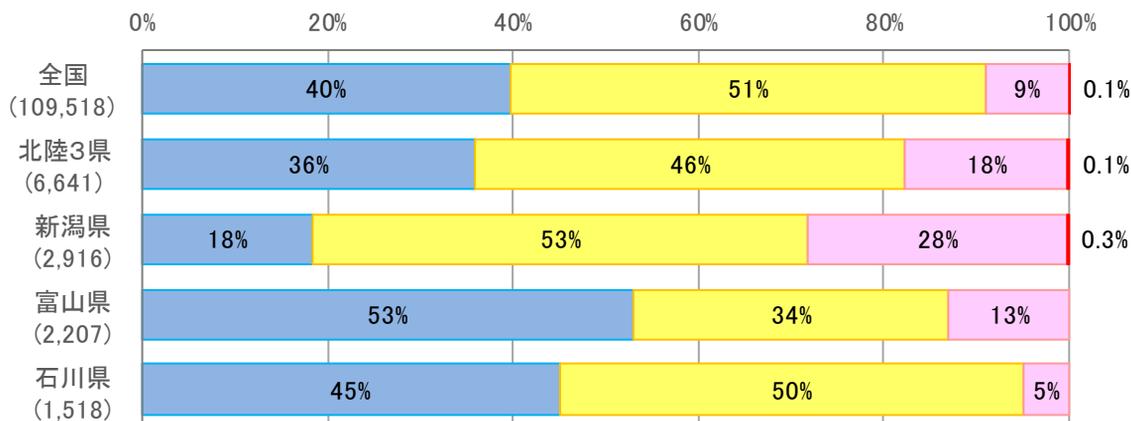
		管理施設数	うち点検対象施設数※1	2019年度点検実施数	点検実施率※2
全国	橋梁	664,226	660,630	109,518	17% (8%)
	トンネル	7,617	7,440	957	13% (10%)
	道路附属物等	17,354	17,163	2,992	17% (15%)
北陸3県	橋梁	40,343	40,101	6,641	17% (6%)
	トンネル	469	466	62	13% (1%)
	道路附属物等	1,482	1,467	142	10% (1%)
新潟県	橋梁	20,459	20,340	2,916	14% (3%)
	トンネル	270	269	44	16% (0.4%)
	道路附属物等	648	640	94	15% (1%)
富山県	橋梁	11,503	11,440	2,207	19% (11%)
	トンネル	77	77	3	4% (3%)
	道路附属物等	517	513	15	3% (2%)
石川県	橋梁	8,381	8,321	1,518	18% (5%)
	トンネル	122	120	15	13% (1%)
	道路附属物等	317	314	33	11% (0.3%)

2020.3 末時点

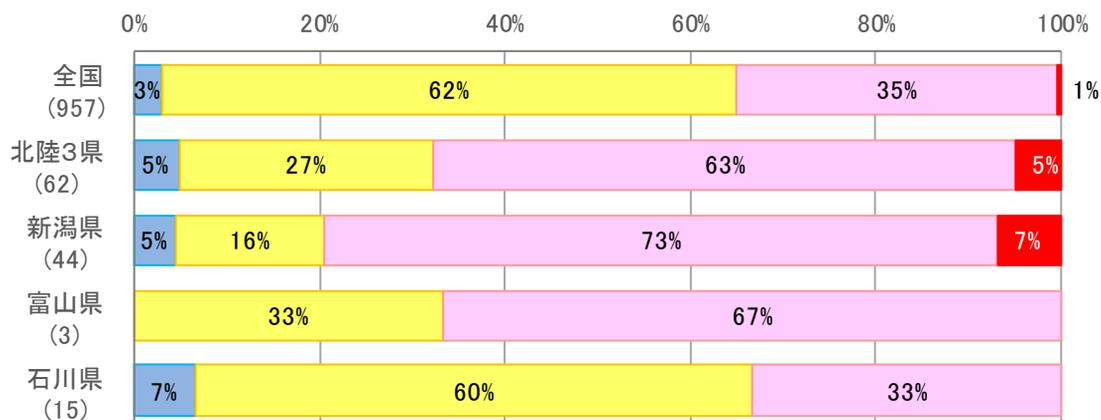
※1：2020年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設の数。

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2014年度における点検実施率。

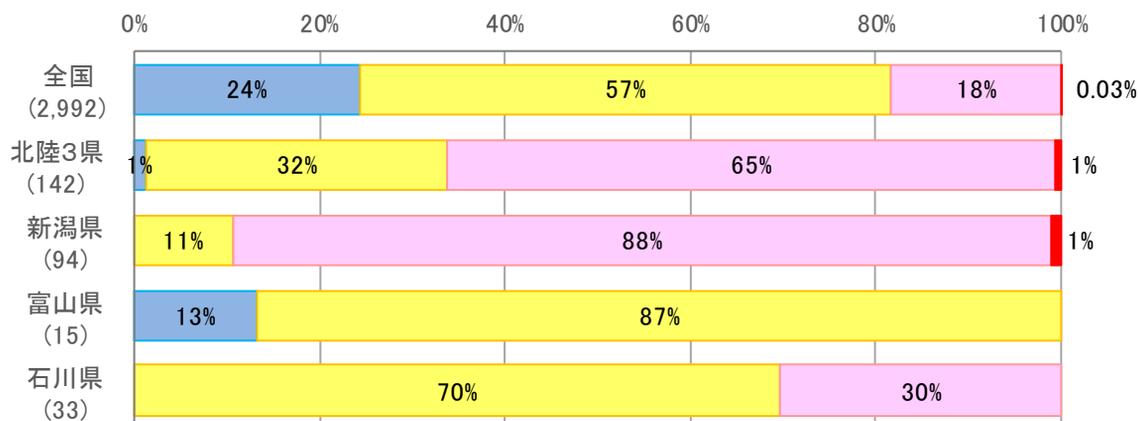
② 橋梁の判定区分の割合（地方公共団体）



③ トンネルの判定区分の割合（地方公共団体）



④ 道路附属物等の判定区分の割合（地方公共団体）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※()内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

5) 都道府県・政令市等

- 2019年度の点検実施率は、橋梁19%、トンネル13%、道路附属物等10%です。
 ○ 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ27%、Ⅱ52%、Ⅲ21%、トンネル：Ⅰ2%、Ⅱ31%、Ⅲ67%、道路附属物等：Ⅰ2%、Ⅱ28%、Ⅲ71%です。

① 2019年度の点検実施率（都道府県・政令市等）

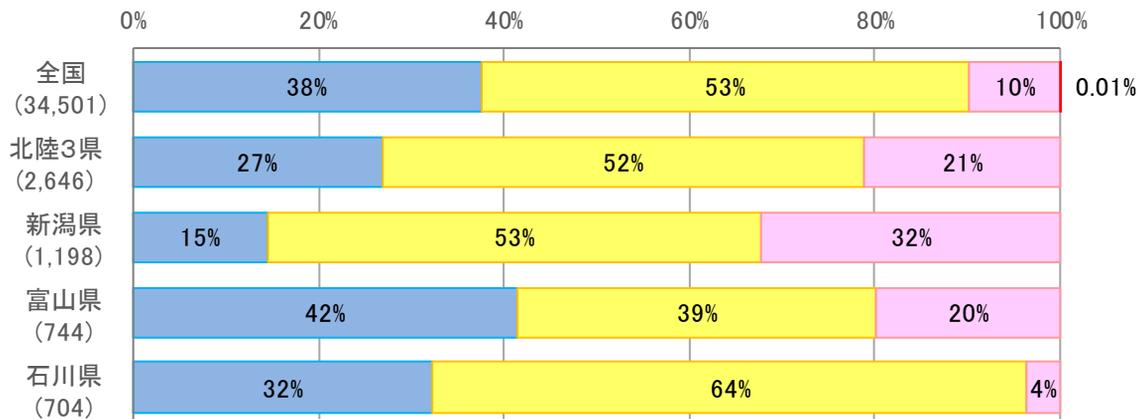
		管理施設数	うち点検対象施設数※1	2019年度点検実施数	点検実施率※2
全国	橋梁	188,063	186,808	34,501	18% (12%)
	トンネル	5,443	5,284	708	13% (9%)
	道路附属物等	14,235	14,097	2,434	17% (15%)
北陸3県	橋梁	13,812	13,717	2,646	19% (9%)
	トンネル	355	353	45	13% (0%)
	道路附属物等	1,319	1,307	126	10% (1%)
新潟県	橋梁	7,962	7,901	1,198	15% (4%)
	トンネル	220	219	31	14% (0%)
	道路附属物等	567	561	86	15% (1%)
富山県	橋梁	3,538	3,528	744	21% (19%)
	トンネル	47	47	0	0% (0%)
	道路附属物等	462	458	8	2% (1%)
石川県	橋梁	2,312	2,288	704	31% (10%)
	トンネル	88	87	14	16% (0%)
	道路附属物等	290	288	32	11% (0%)

2020.3 末時点

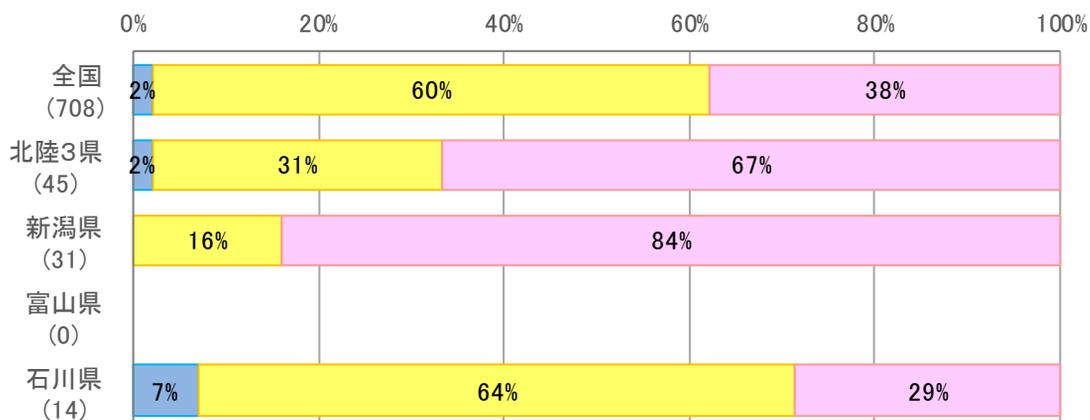
※1：2020年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設の数。

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2014年度における点検実施率。

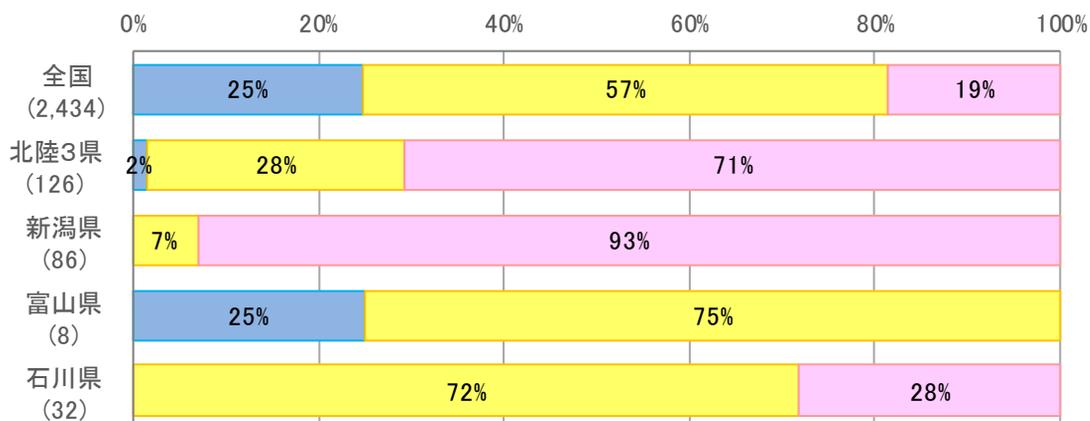
② 橋梁の判定区分の割合（都道府県・政令市等）



③ トンネルの判定区分の割合（都道府県・政令市等）



④ 道路附属物等の判定区分の割合（都道府県・政令市等）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※()内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

6) 市町村

- 2019年度の点検実施率は、橋梁15%、トンネル15%、道路附属物等10%です。
 ○ 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ42%、Ⅱ42%、Ⅲ15%、Ⅳ0.2%、トンネル：Ⅰ12%、Ⅱ18%、Ⅲ53%、Ⅳ18%、道路附属物等：Ⅱ69%、Ⅲ25%、Ⅳ6%です。

① 2019年度の点検実施率（市町村）

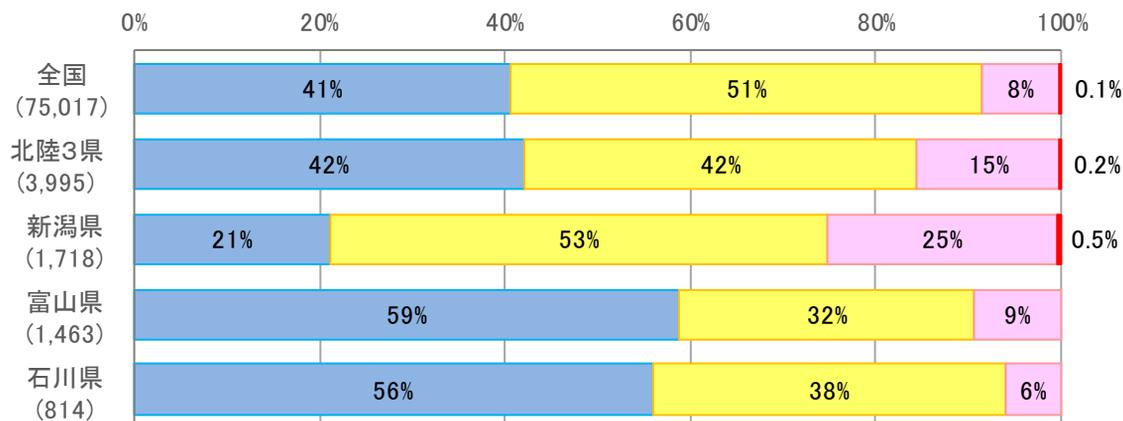
		管理施設数	うち点検対象 施設数※1	2019年度 点検実施数	点検実施率 ※2
全国	橋梁	476,163	473,822	75,017	16% (7%)
	トンネル	2,174	2,156	249	12% (13%)
	道路附属物等	3,119	3,066	558	18% (17%)
北陸3県	橋梁	26,531	26,384	3,995	15% (4%)
	トンネル	114	113	17	15% (4%)
	道路附属物等	163	160	16	10% (6%)
新潟県	橋梁	12,497	12,439	1,718	14% (3%)
	トンネル	50	50	13	26% (2%)
	道路附属物等	81	79	8	10% (3%)
富山県	橋梁	7,965	7,912	1,463	18% (8%)
	トンネル	30	30	3	10% (7%)
	道路附属物等	55	55	7	13% (11%)
石川県	橋梁	6,069	6,033	814	13% (3%)
	トンネル	34	33	1	3% (3%)
	道路附属物等	27	26	1	4% (4%)

2020.3 末時点

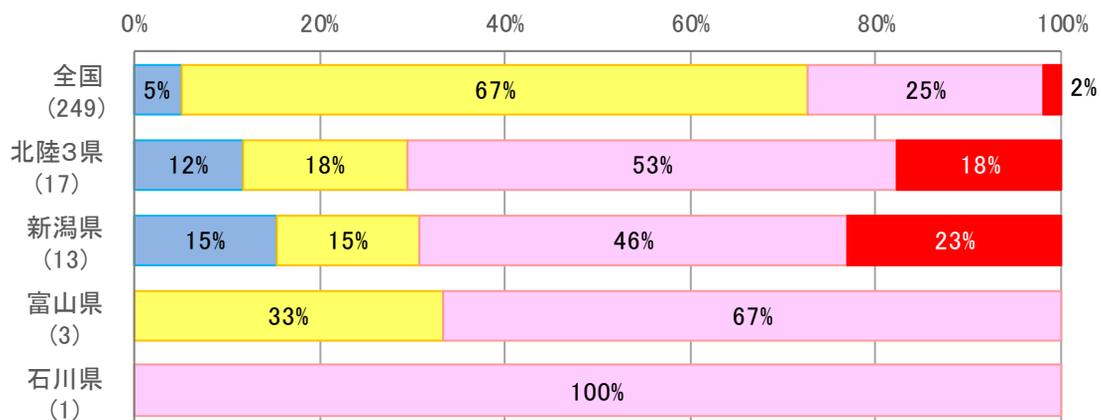
※1：2020年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設の数。

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2014年度における点検実施率。

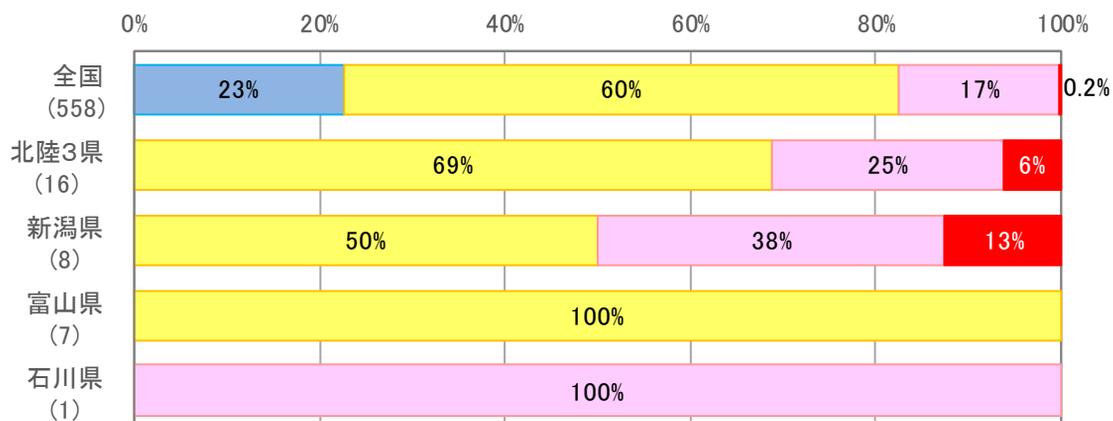
② 橋梁の判定区分の割合（市町村）



③ トンネルの判定区分の割合（市町村）



④ 道路附属物等の判定区分の割合（市町村）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※()内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

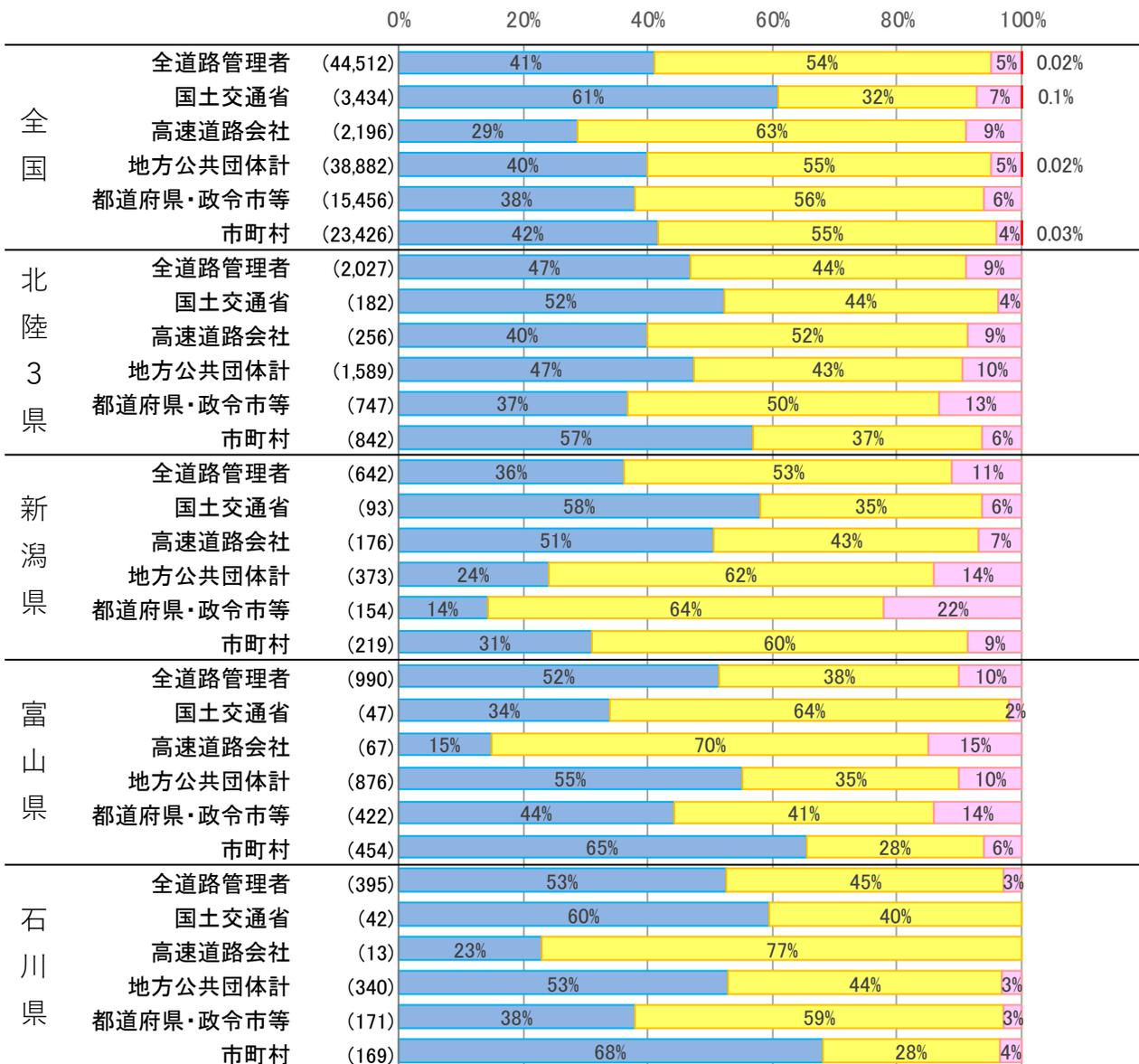
(2) 2019年度点検実施施設における判定区分の遷移状況

1) 橋梁

- 1巡目の2014年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された橋梁のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した橋梁の割合は全道路管理者合計で9%です。
- 建設年数が31年以上となる橋梁では、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

※トンネル、道路附属物等の遷移状況は、対象施設が少ないため、今年度の年報は橋梁のみとします。

① 管理者別の判定区分の遷移状況

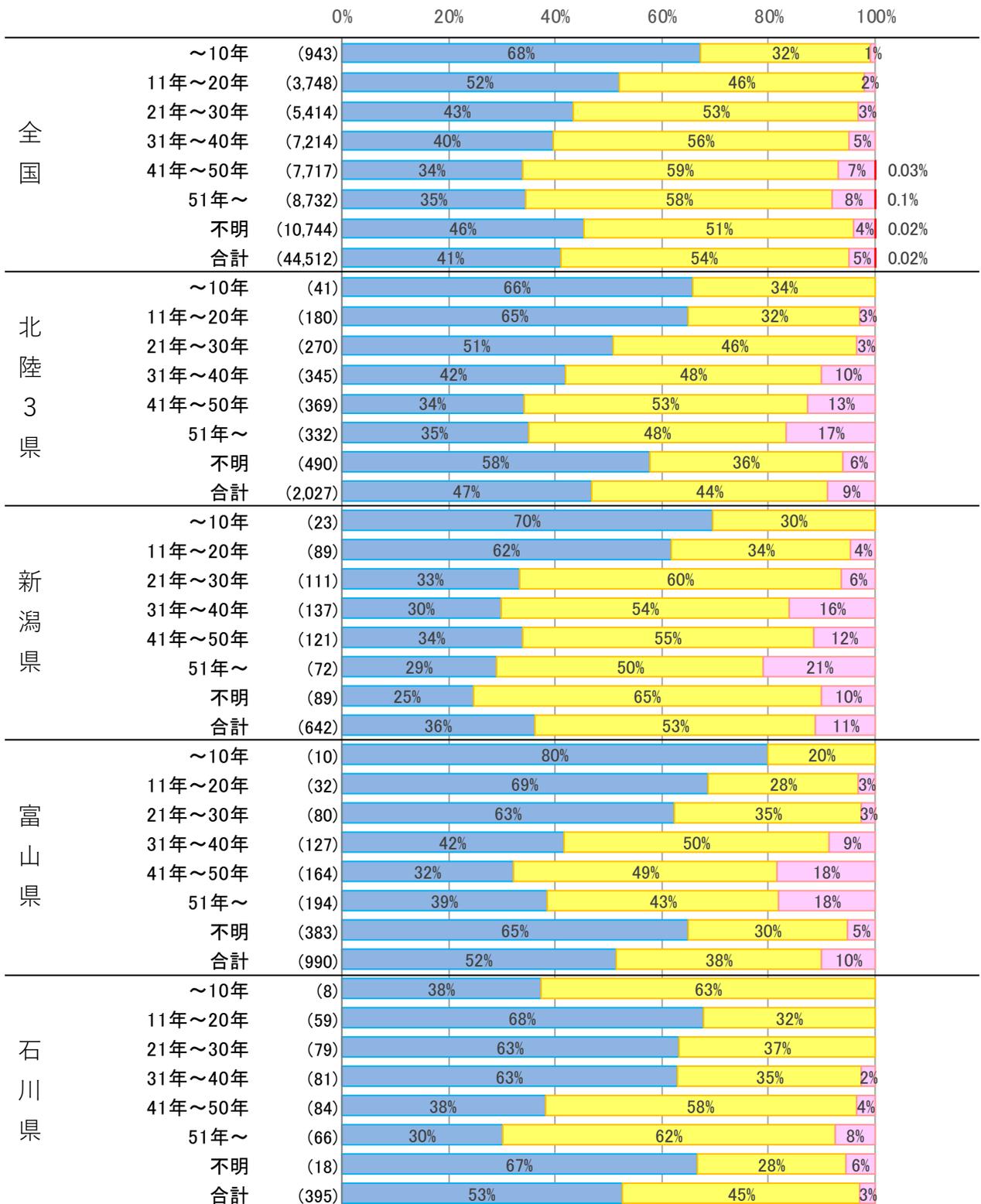


■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※ () 内は、1巡目（2014年度）の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなった橋梁数のうち、修繕等の措置を講じないまま2019年度に点検を実施した橋梁数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

② 建設年数別の遷移状況（全道路管理者合計）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

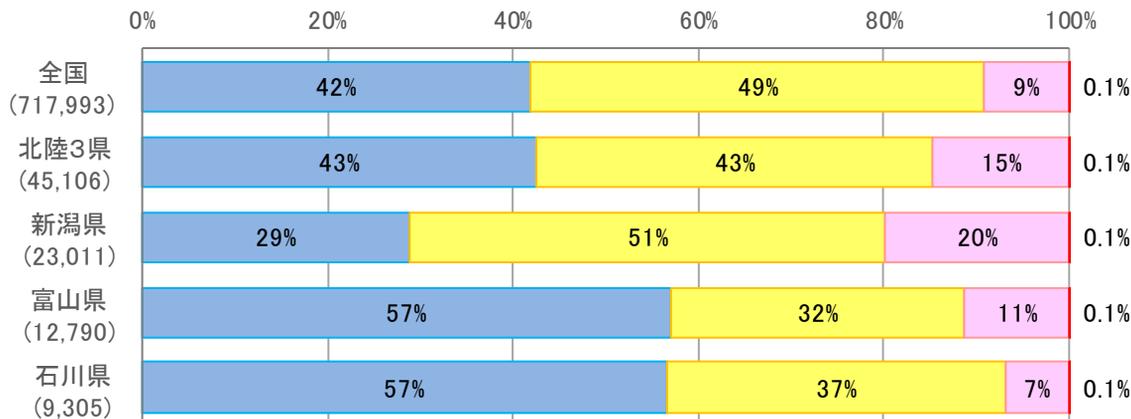
※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

(3) 判定区分の割合 (2019年度点検結果を反映)

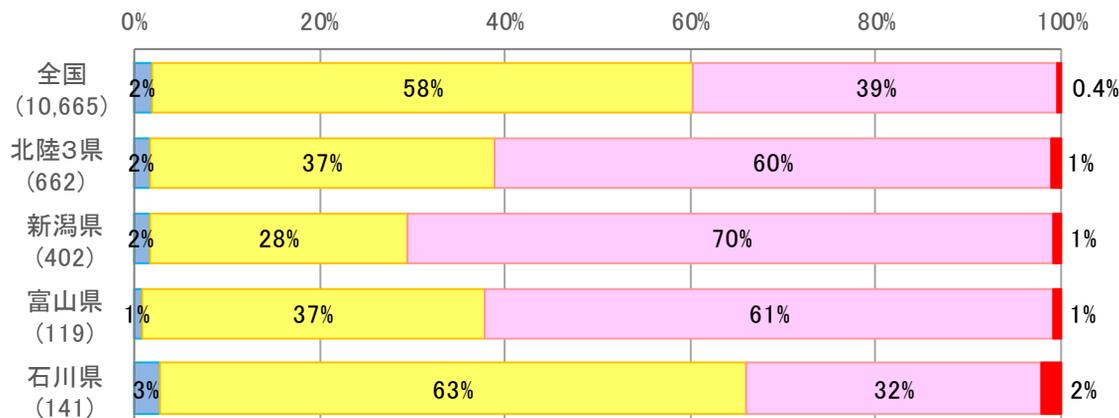
1) 全道路管理者

○ 2019年度末時点における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 43%、Ⅱ 43%、Ⅲ 15%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 37%、Ⅲ 60%、Ⅳ 1%、道路附属物等：Ⅰ 14%、Ⅱ 50%、Ⅲ 36%、Ⅳ 0.1%です。

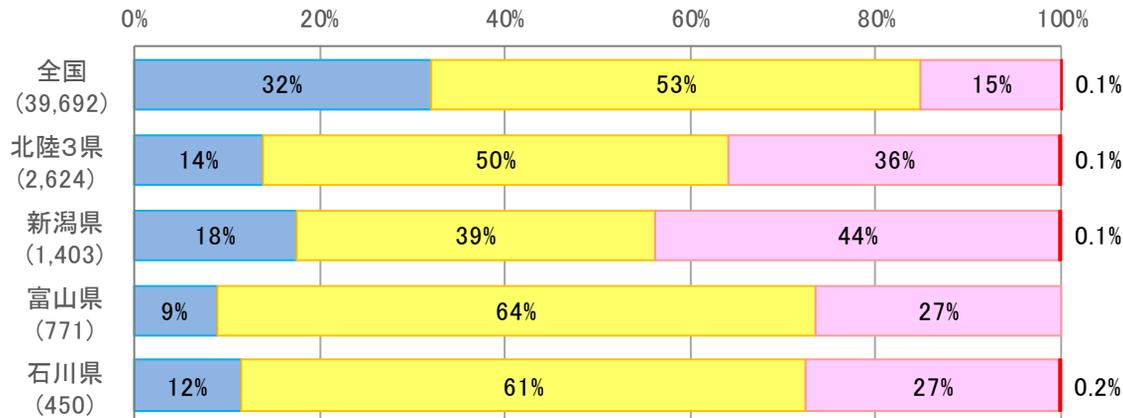
① 橋梁の判定区分の割合 (全道路管理者合計)



② トンネルの判定区分の割合 (全道路管理者合計)



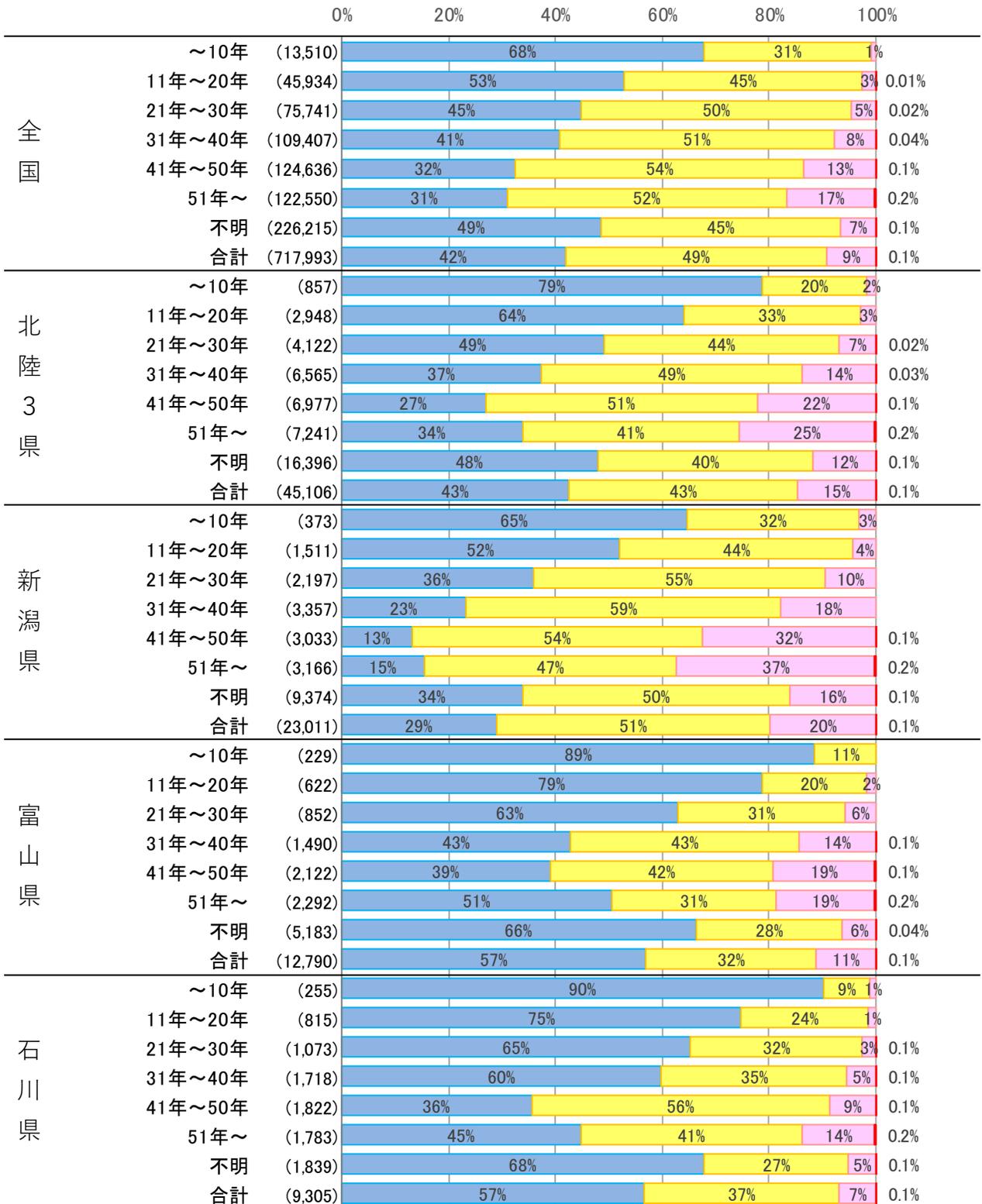
③ 道路附属物等の判定区分の割合 (全道路管理者合計)



■ Ⅰ：健全 ■ Ⅱ：予防保全段階 ■ Ⅲ：早期措置段階 ■ Ⅳ：緊急措置段階

※ () 内は、2020年3月末時点の施設数のうち、2014~2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

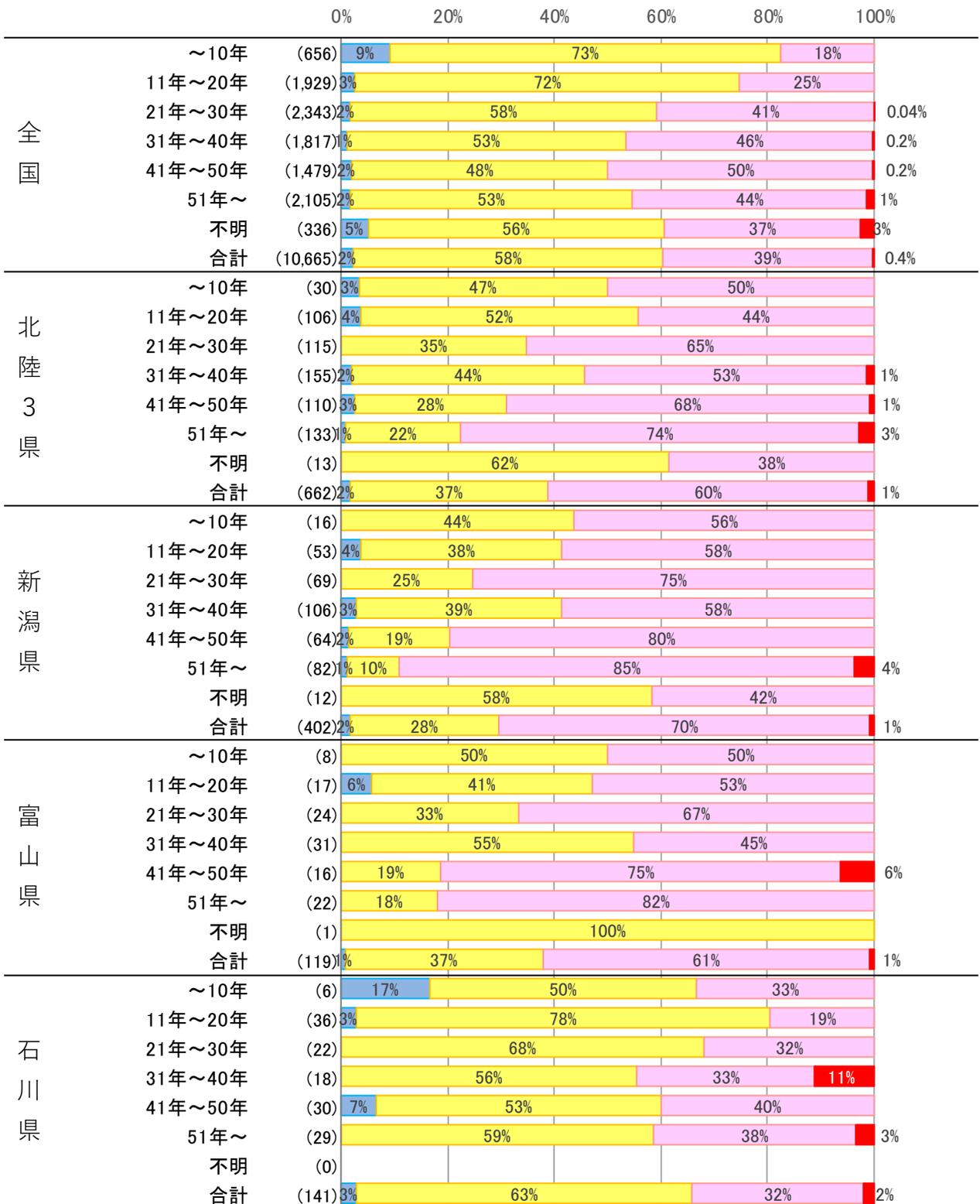
④ 橋梁の判定区分と建設経過年数（全道路管理者合計）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

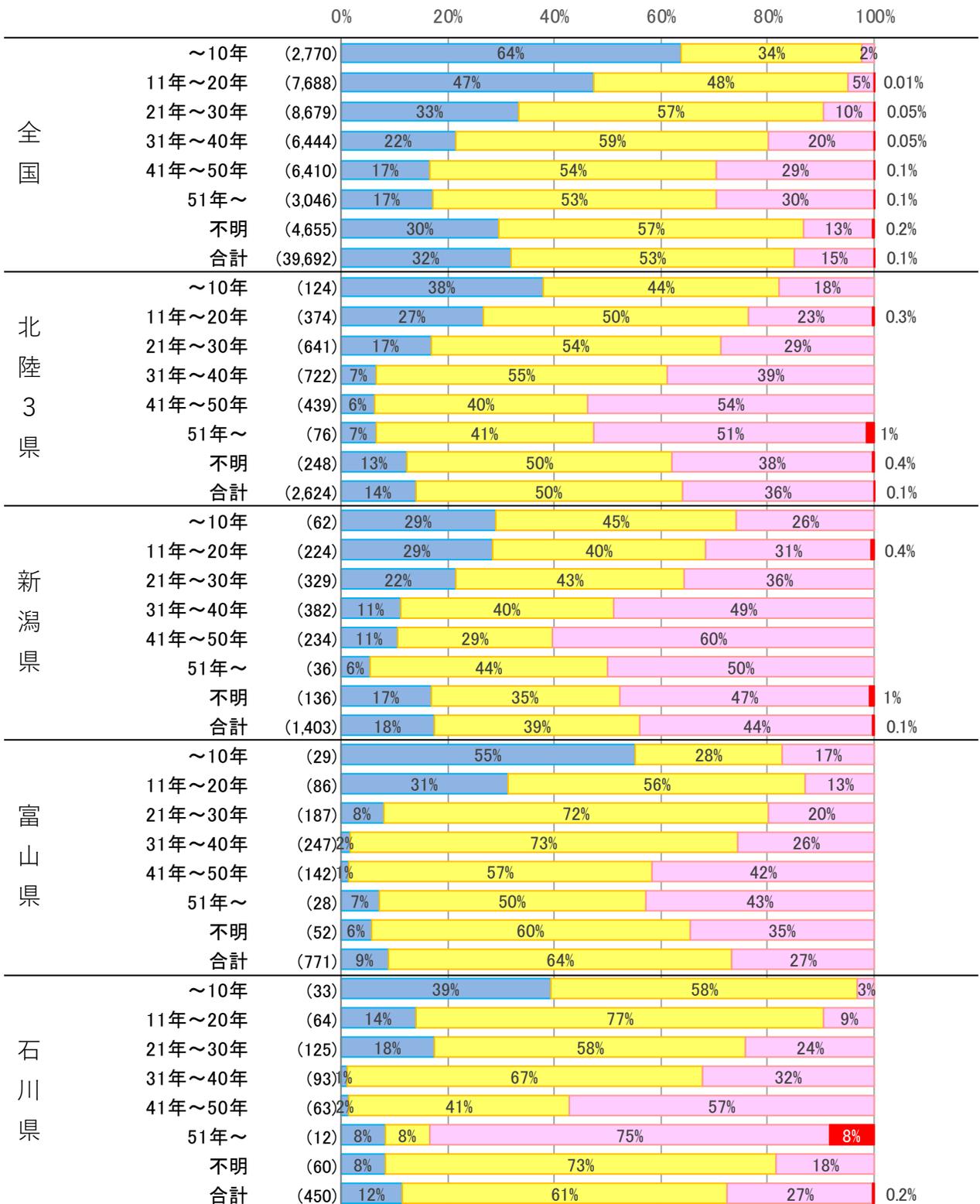
⑤ トンネルの判定区分と建設経過年数（全道路管理者合計）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

⑥ 道路附属物等の判定区分と建設経過年数（全道路管理者合計）



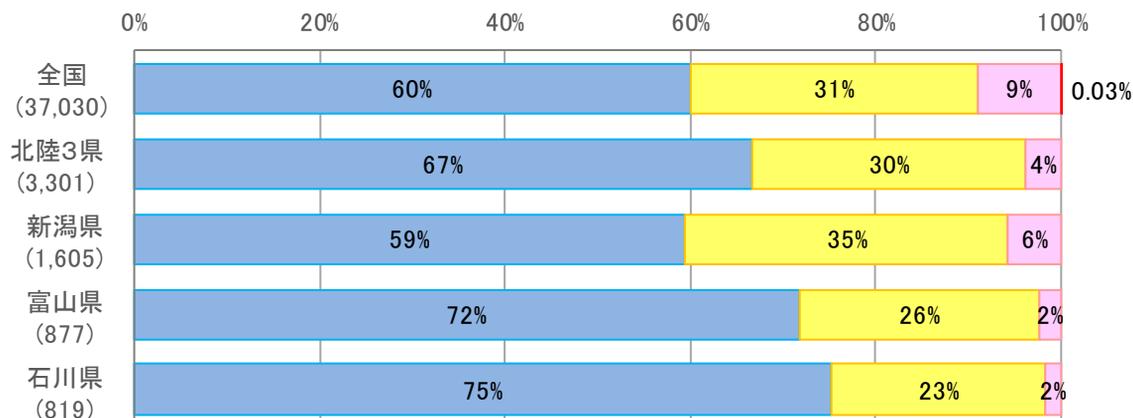
■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

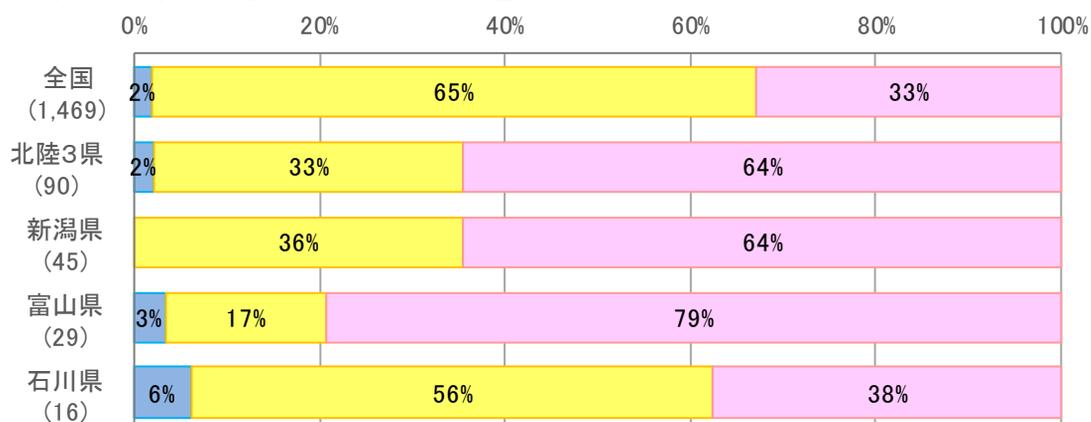
2) 国土交通省

○ 2019年度末時点における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 67%、Ⅱ 30%、Ⅲ 4%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 33%、Ⅲ 64%、道路附属物等：Ⅰ 16%、Ⅱ 51%、Ⅲ 33%、Ⅳ 0.2%です。

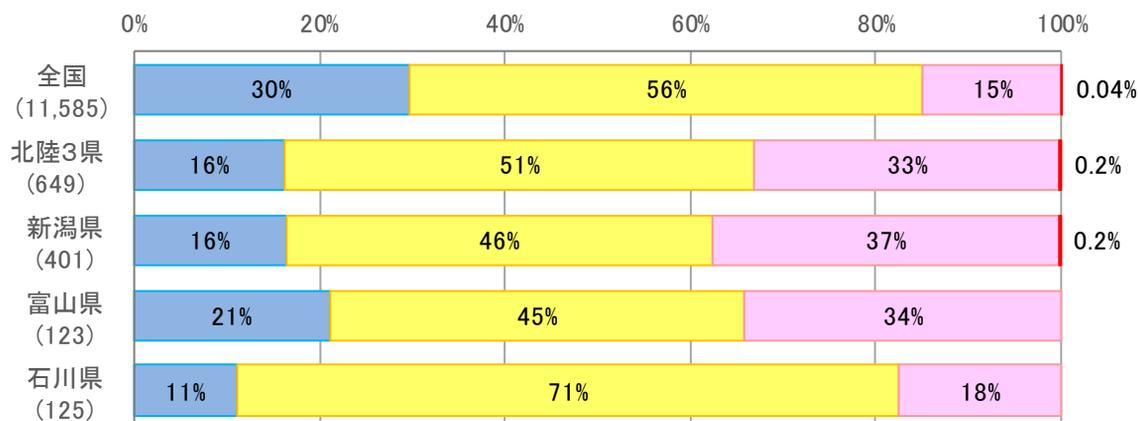
① 橋梁の判定区分の割合（国土交通省）



② トンネルの判定区分の割合（国土交通省）



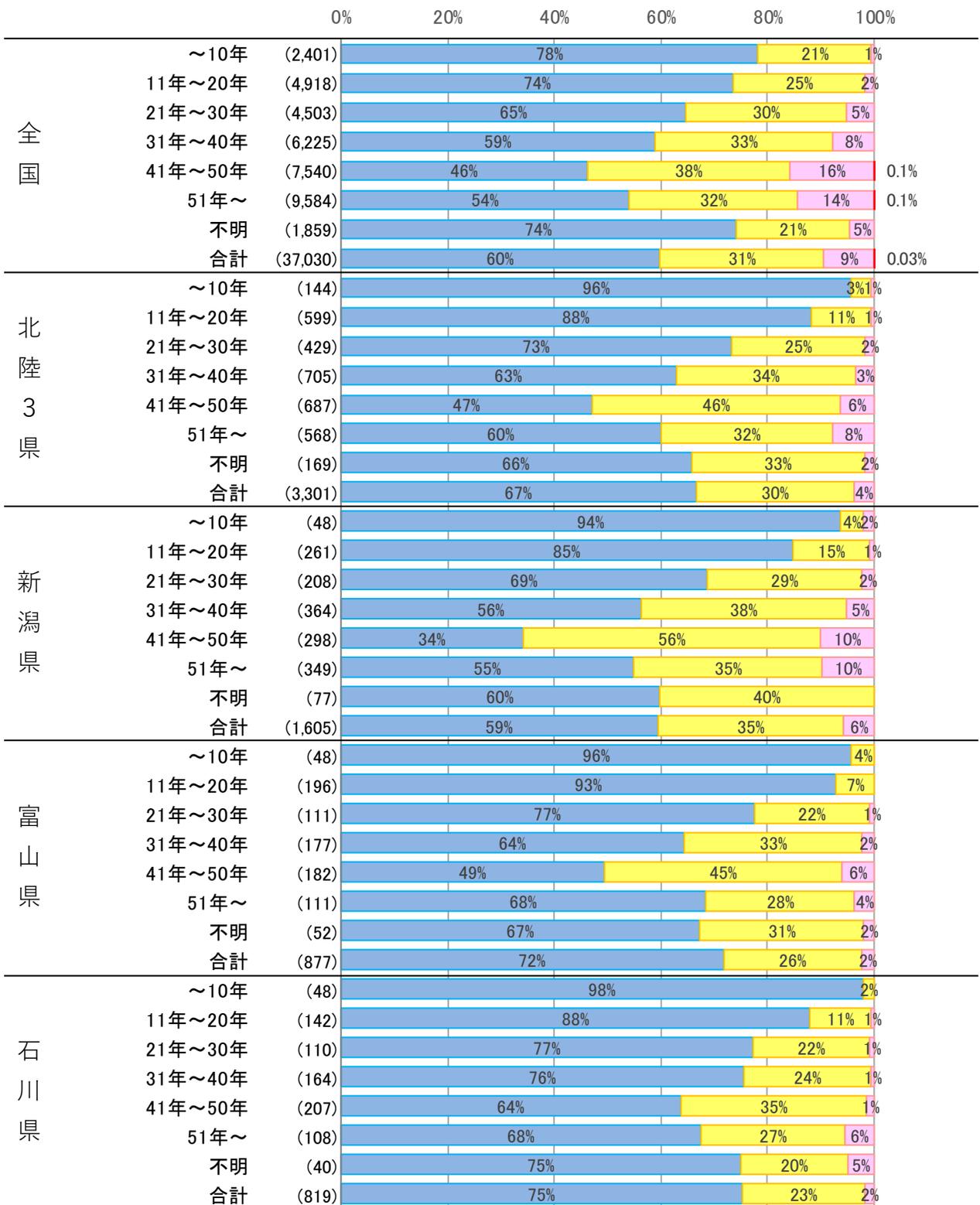
③ 道路附属物等の判定区分の割合（国土交通省）



■ Ⅰ：健全 ■ Ⅱ：予防保全段階 ■ Ⅲ：早期措置段階 ■ Ⅳ：緊急措置段階

※（）内は、2020年3月末時点の施設数のうち、2014～2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

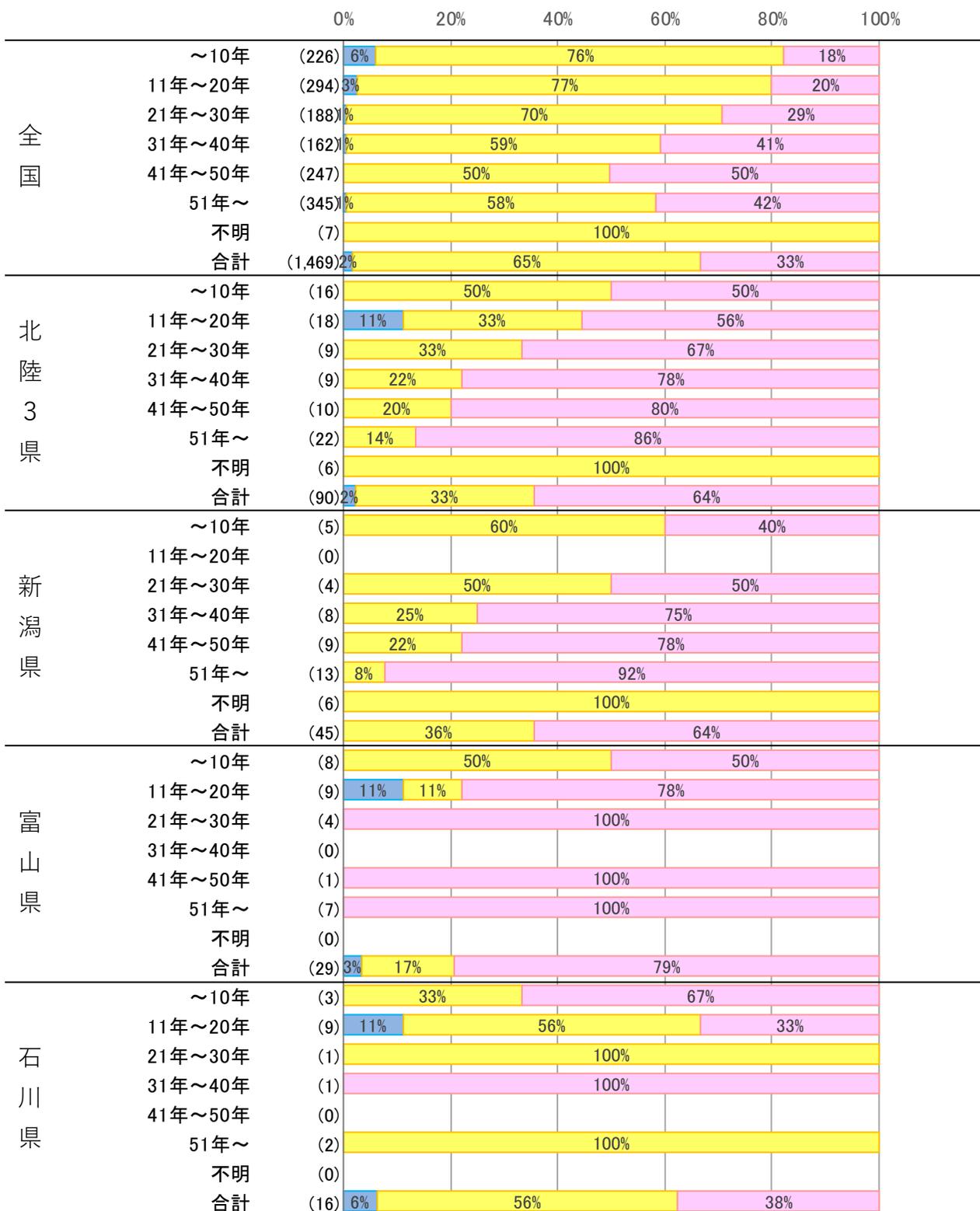
④ 橋梁の判定区分と建設経過年数（国土交通省）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

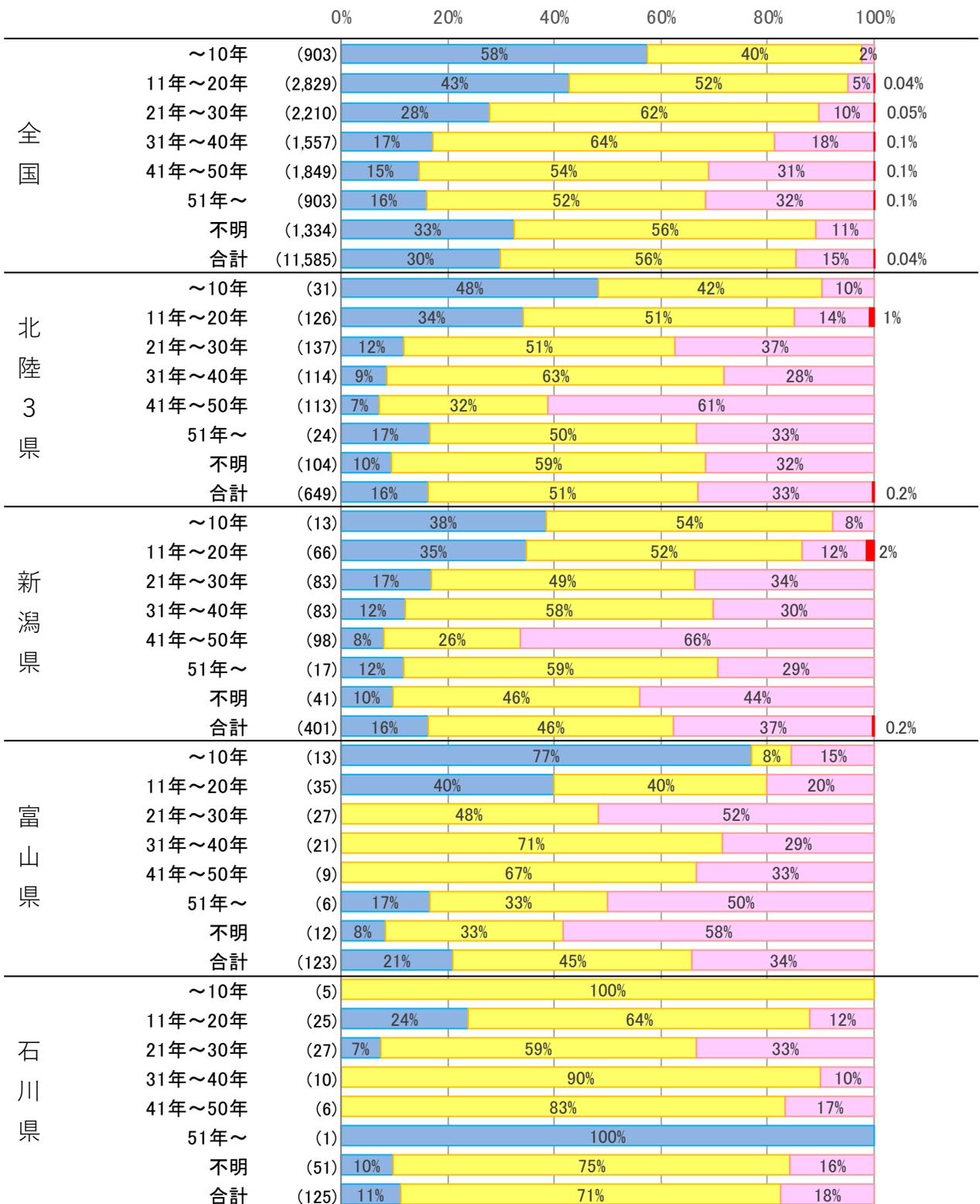
⑤ トンネルの判定区分と建設経過年数（国土交通省）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

⑥ 道路附属物等の判定区分と建設経過年数（国土交通省）



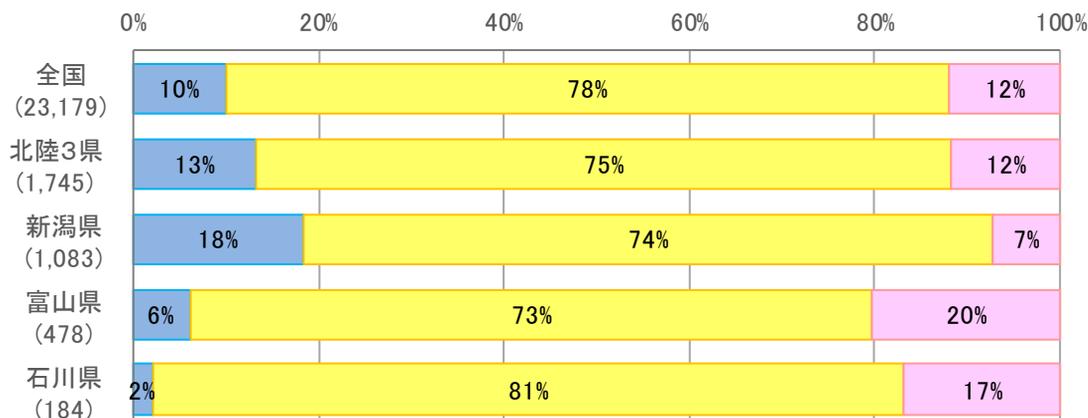
■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

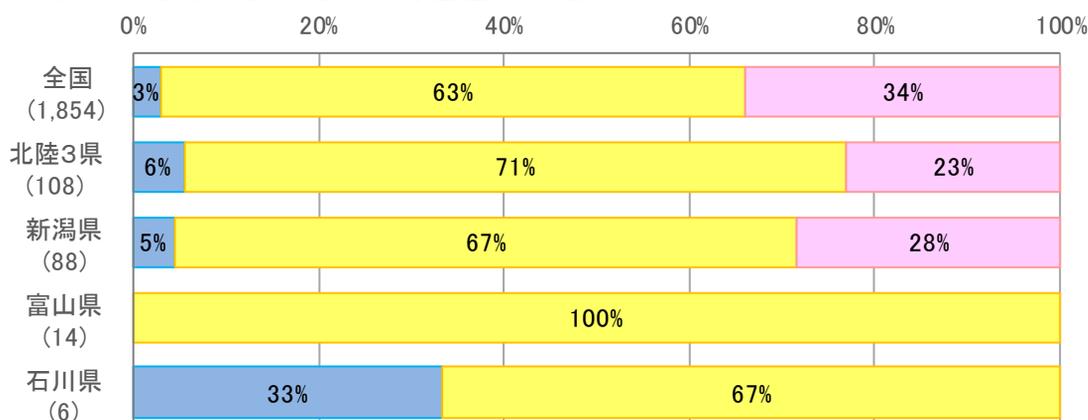
3) 高速道路会社

○ 2019年度末時点における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 13%、Ⅱ 75%、Ⅲ 12%、トンネル：Ⅰ 6%、Ⅱ 71%、Ⅲ 23%、道路附属物等：Ⅰ 29%、Ⅱ 63%、Ⅲ 8%です。

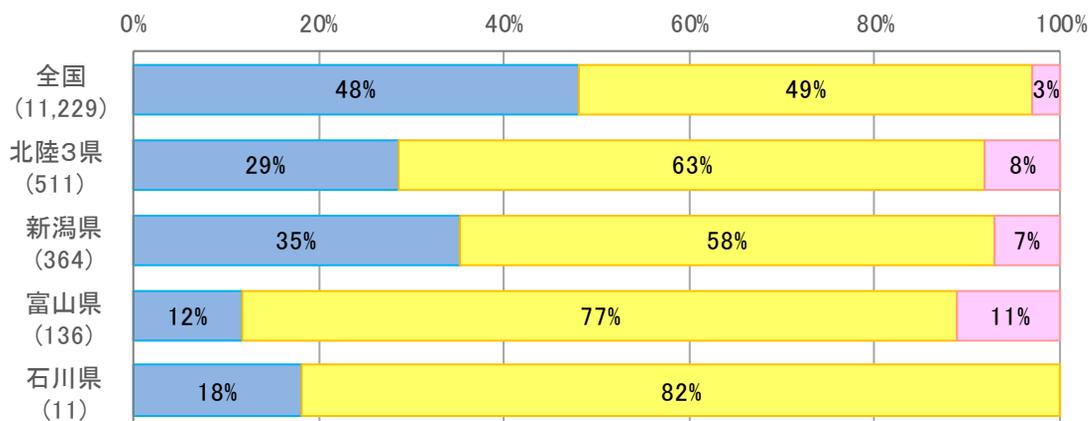
① 橋梁の判定区分の割合（高速道路会社）



② トンネルの判定区分の割合（高速道路会社）



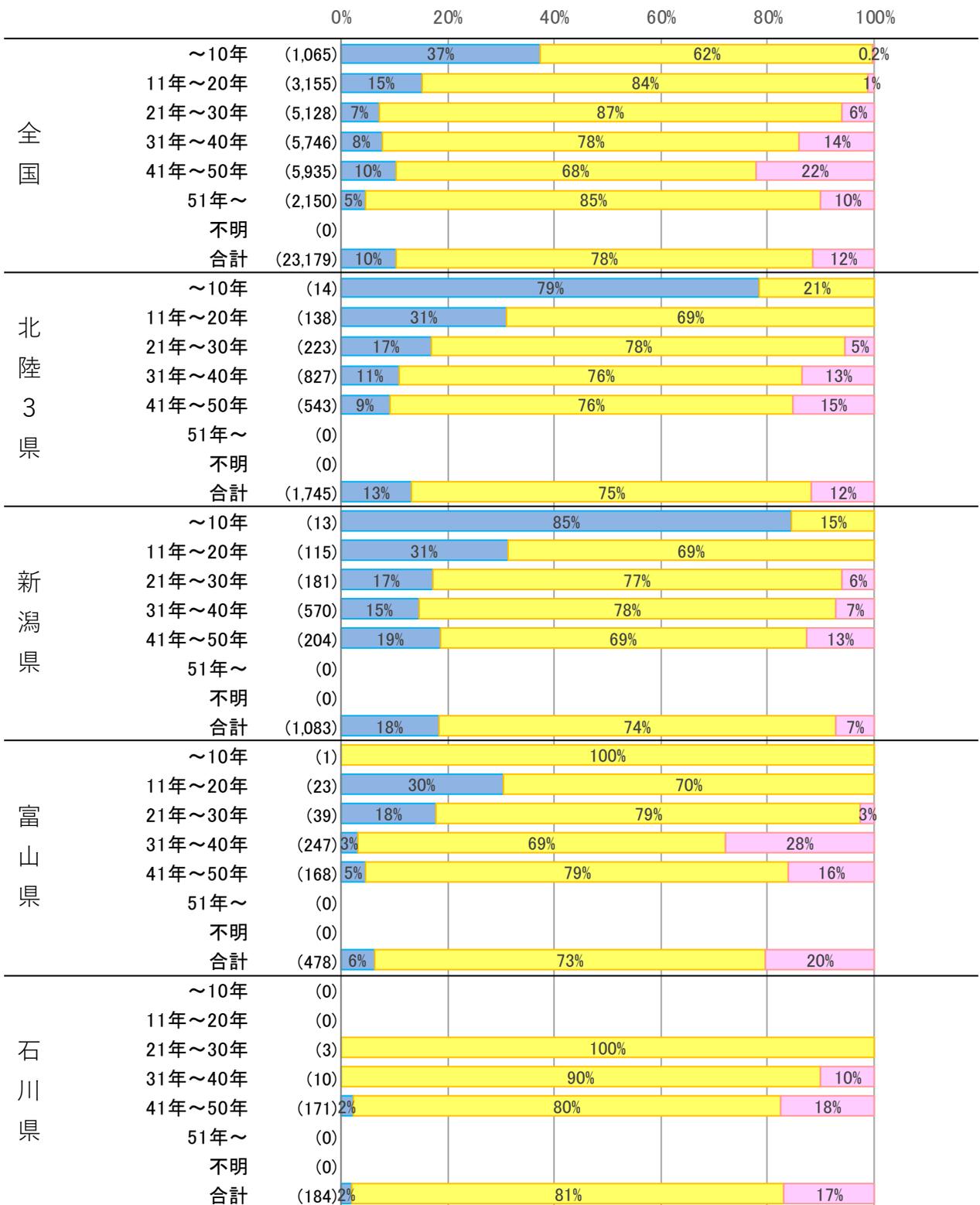
③ 道路附属物等の判定区分の割合（高速道路会社）



■ Ⅰ：健全 ■ Ⅱ：予防保全段階 ■ Ⅲ：早期措置段階 ■ Ⅳ：緊急措置段階

※（）内は、2020年3月末時点の施設数のうち、2014～2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

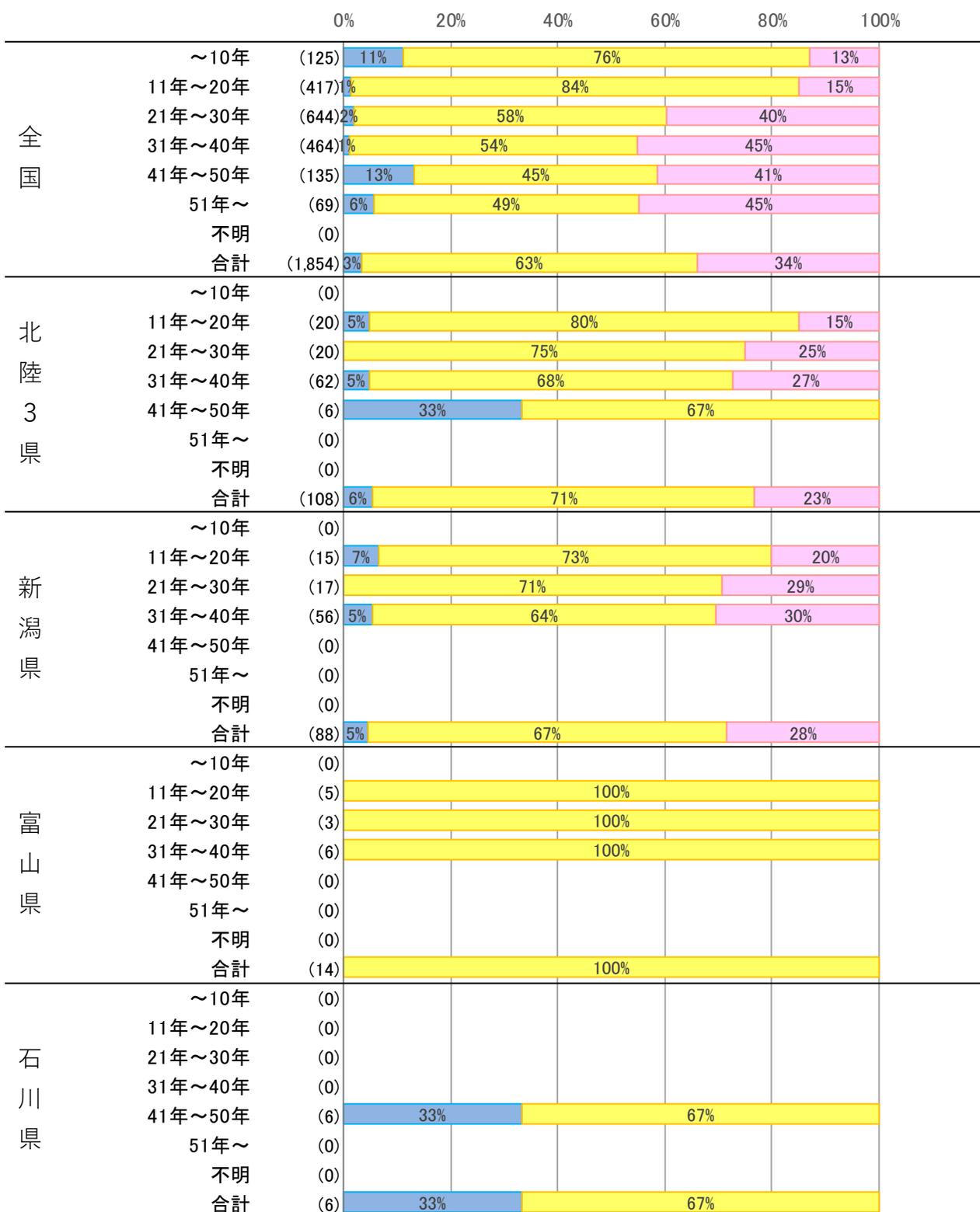
④ 橋梁の判定区分と建設経過年数（高速道路会社）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

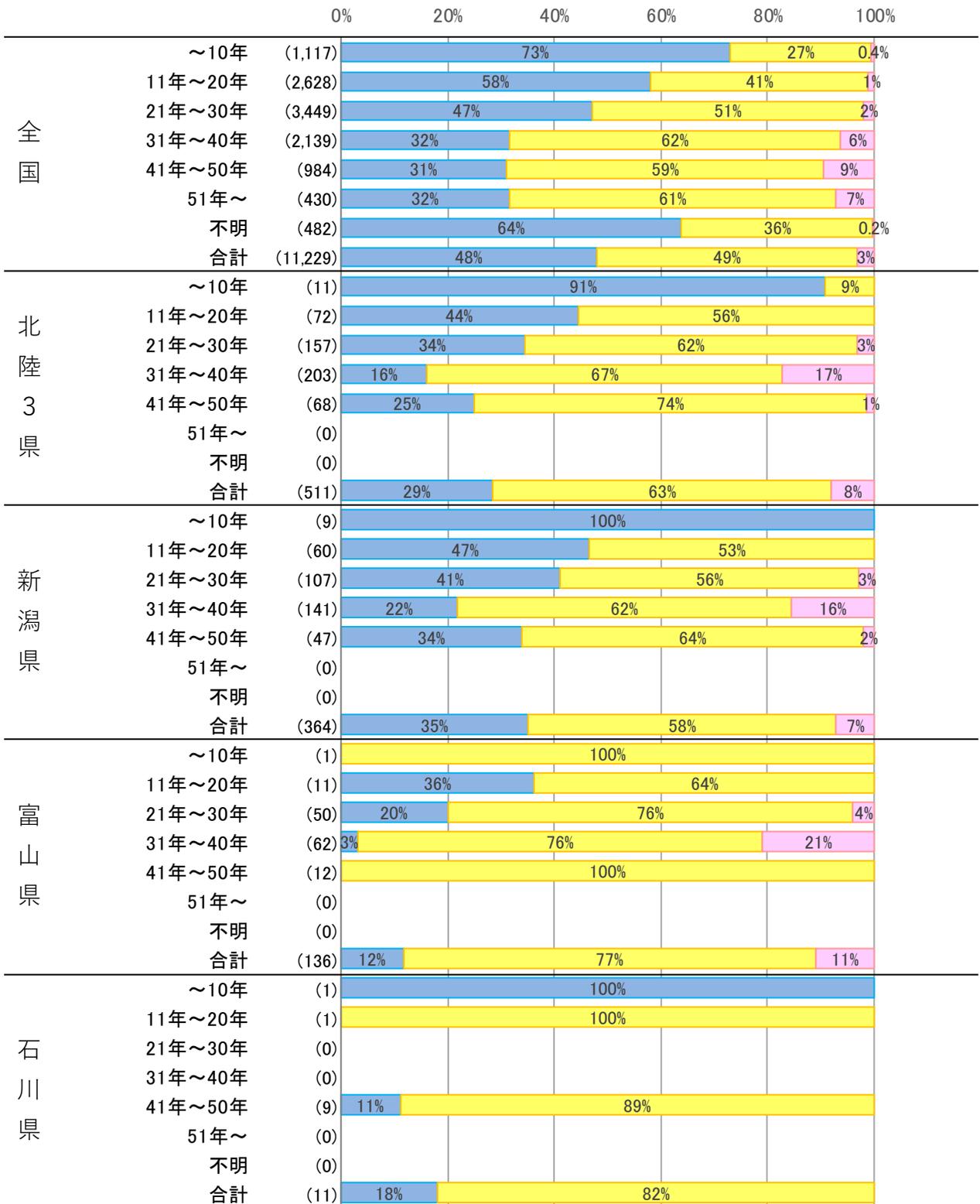
⑤ トンネルの判定区分と建設経過年数（高速道路会社）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

⑥ 道路附属物等の判定区分と建設経過年数（高速道路会社）



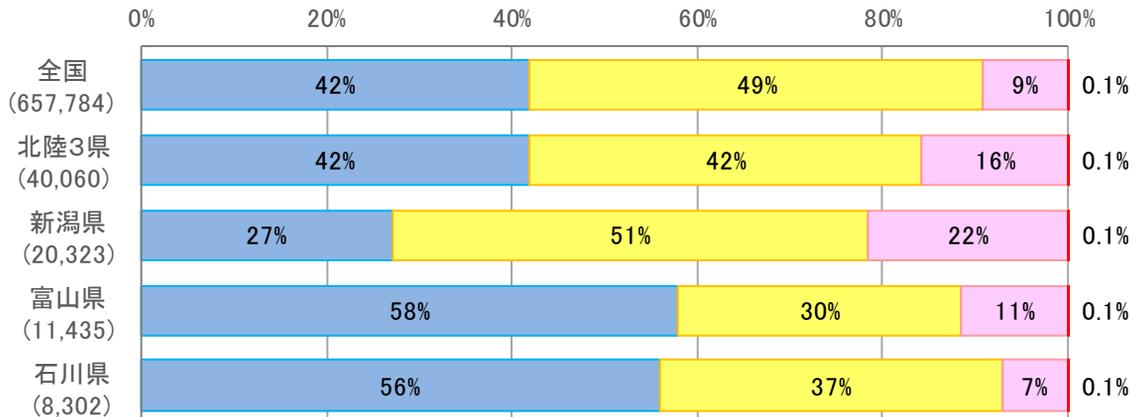
■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

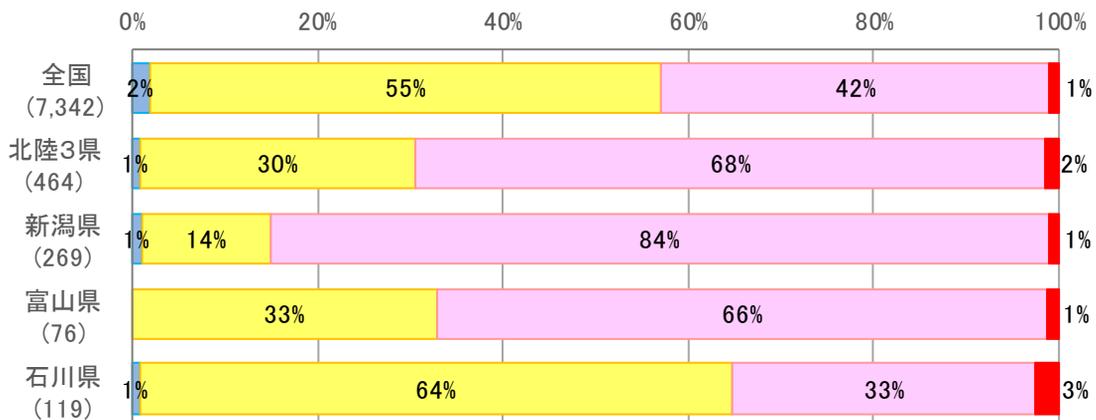
4) 地方公共団体

○ 2019年度末時点における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 42%、Ⅱ 42%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 1%、Ⅱ 30%、Ⅲ 68%、Ⅳ 2%、道路附属物等：Ⅰ 8%、Ⅱ 45%、Ⅲ 47%、Ⅳ 0.1%です。

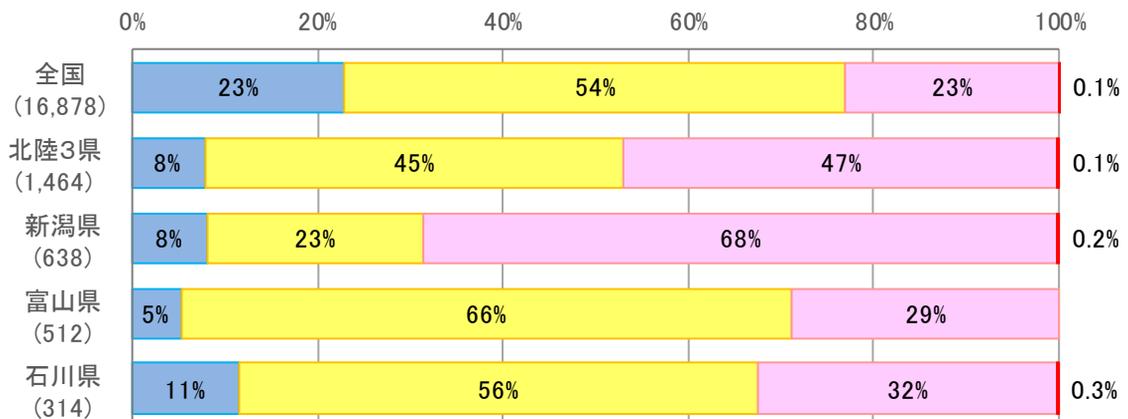
① 橋梁の判定区分の割合（地方公共団体）



② トンネルの判定区分の割合（地方公共団体）



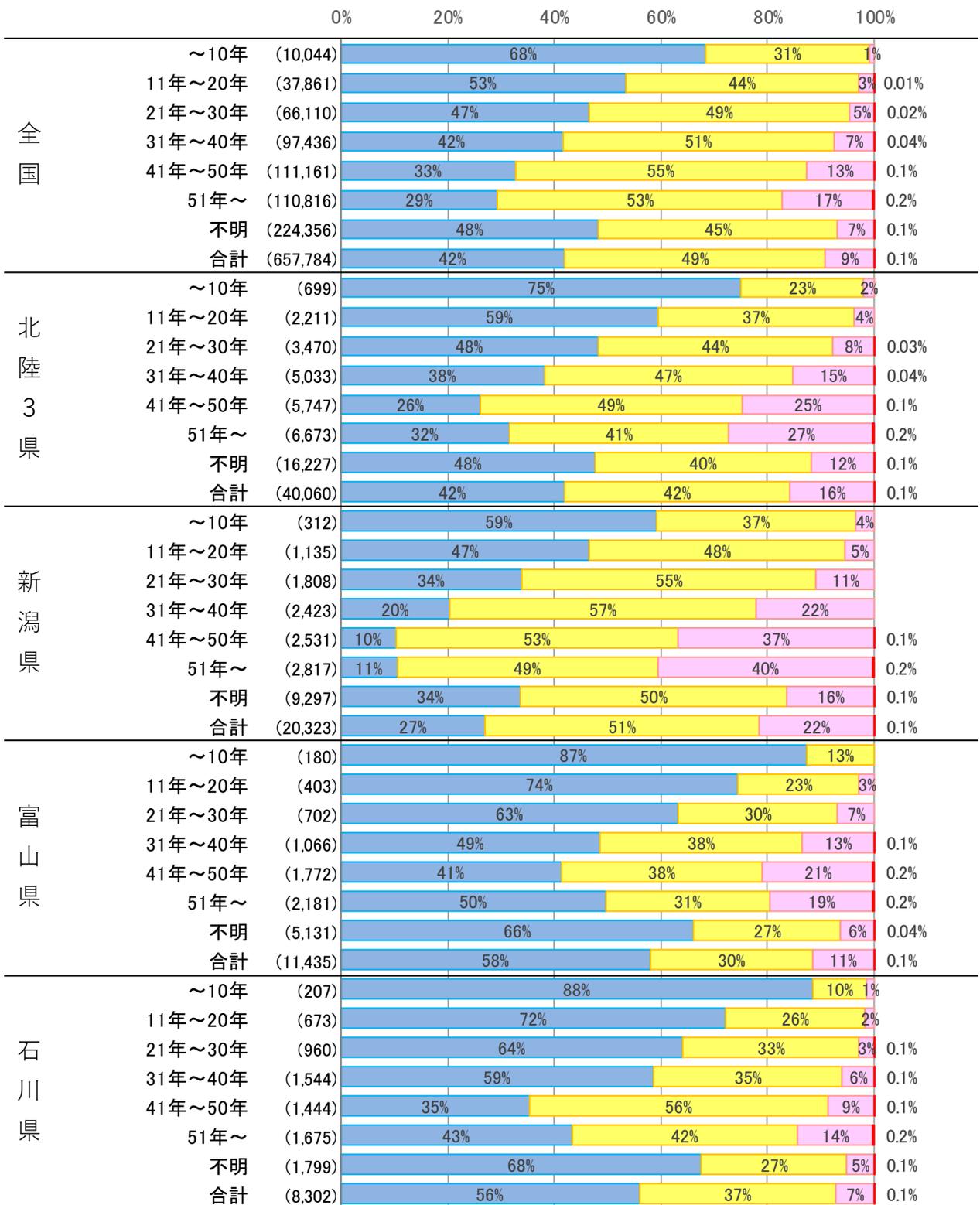
③ 道路附属物等の判定区分の割合（地方公共団体）



■ Ⅰ：健全 ■ Ⅱ：予防保全段階 ■ Ⅲ：早期措置段階 ■ Ⅳ：緊急措置段階

※ () 内は、2020年3月末時点の施設数のうち、2014～2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

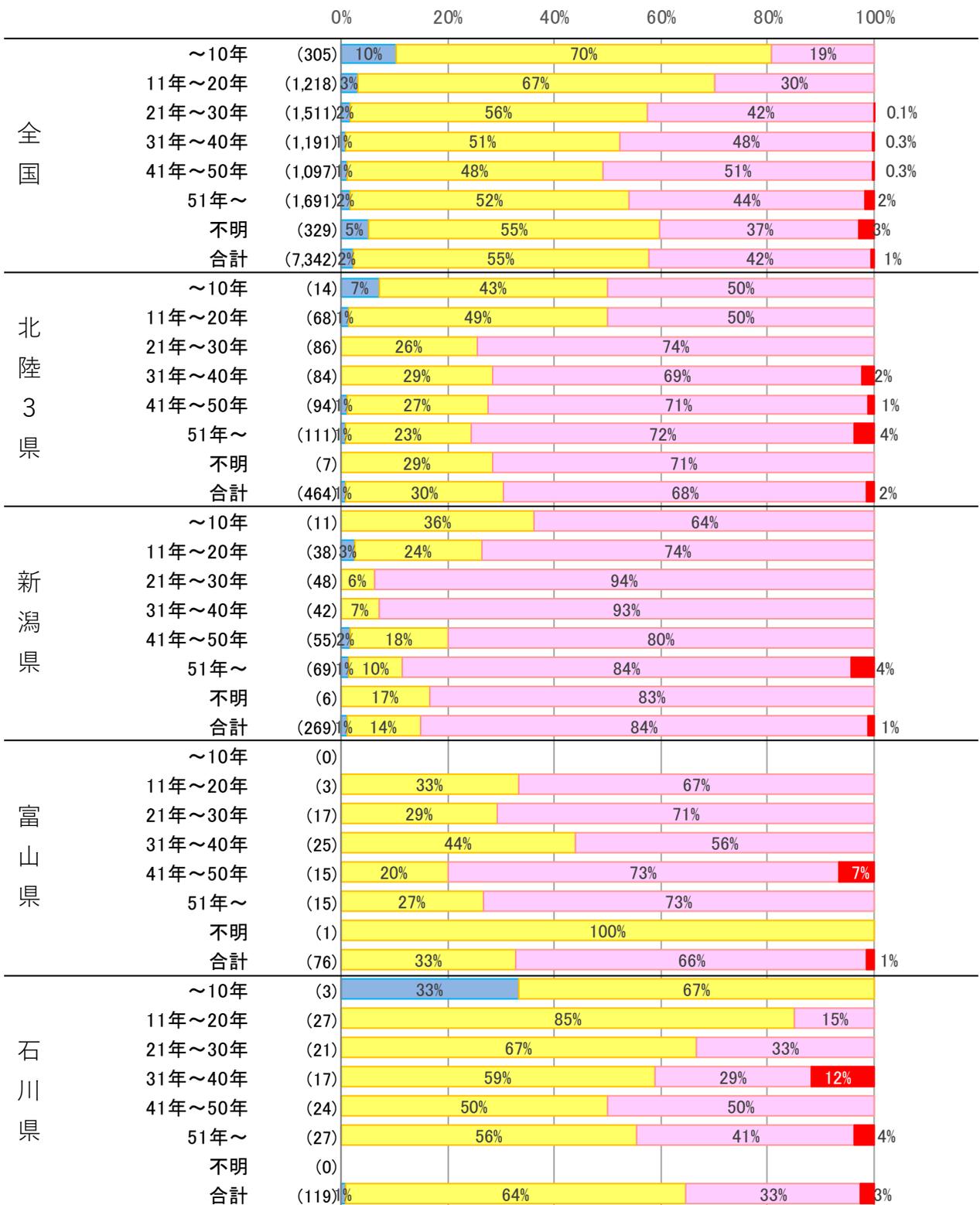
④ 橋梁の判定区分と建設経過年数（地方公共団体）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

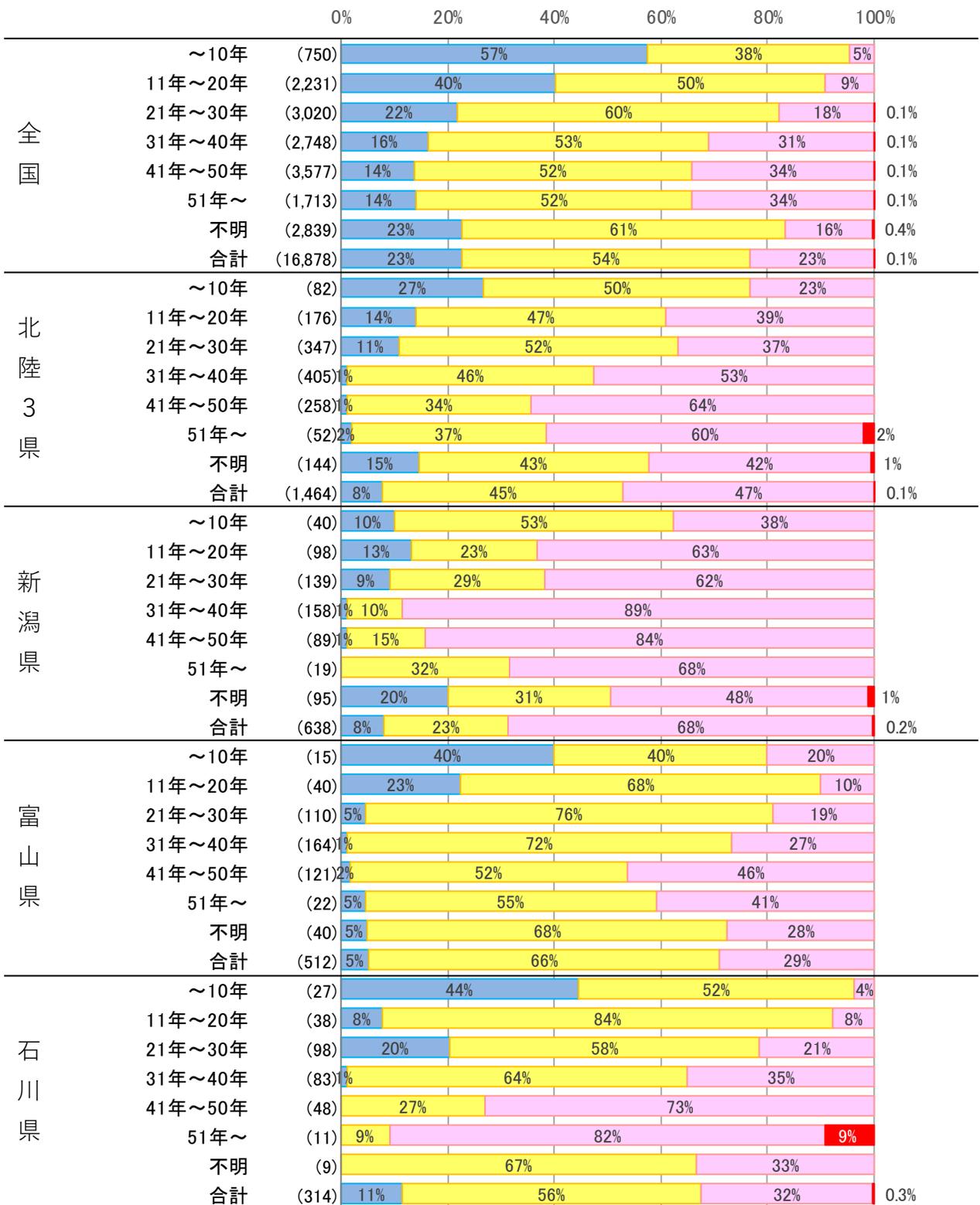
⑤ トンネルの判定区分と建設経過年数（地方公共団体）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

⑥ 道路附属物等の判定区分と建設経過年数（地方公共団体）



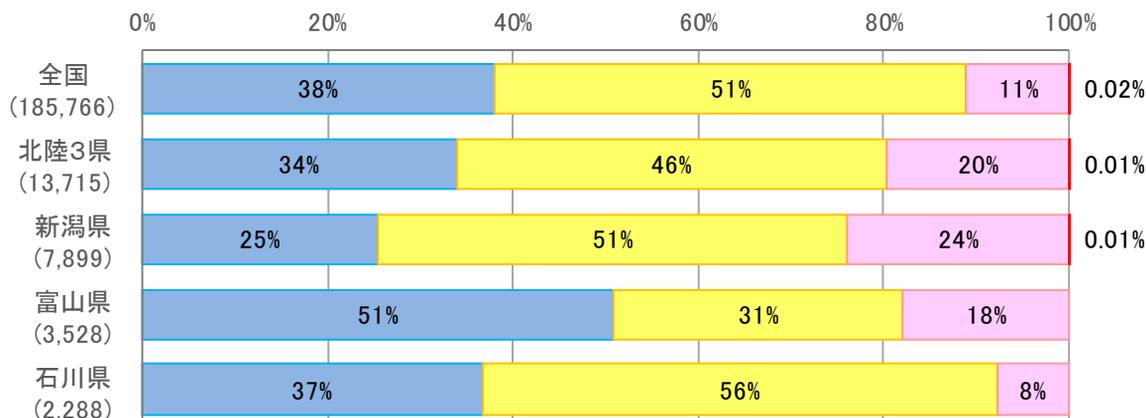
■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

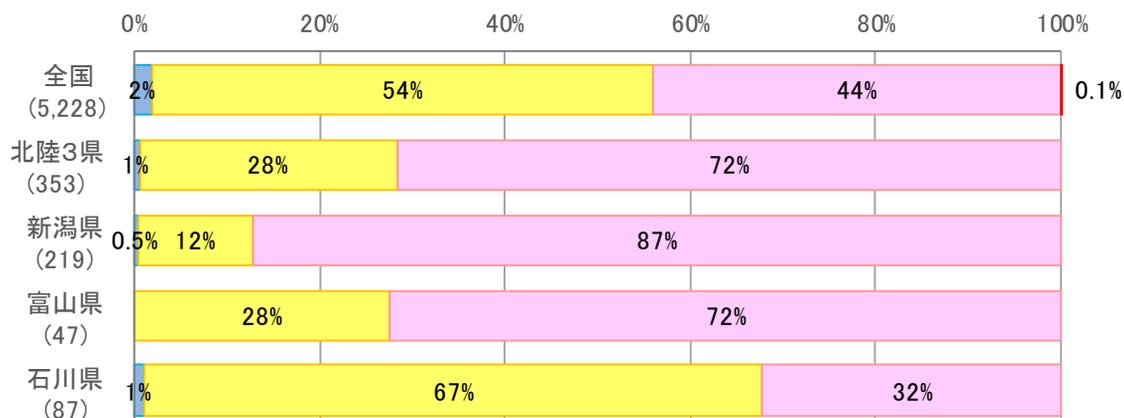
5) 都道府県・政令市等

○ 2019年度末時点における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 34%、Ⅱ 46%、Ⅲ 20%、Ⅳ0.01%、トンネル：Ⅰ 1%、Ⅱ 28%、Ⅲ 72%、道路附属物等：Ⅰ 8%、Ⅱ 43%、Ⅲ 49%です。

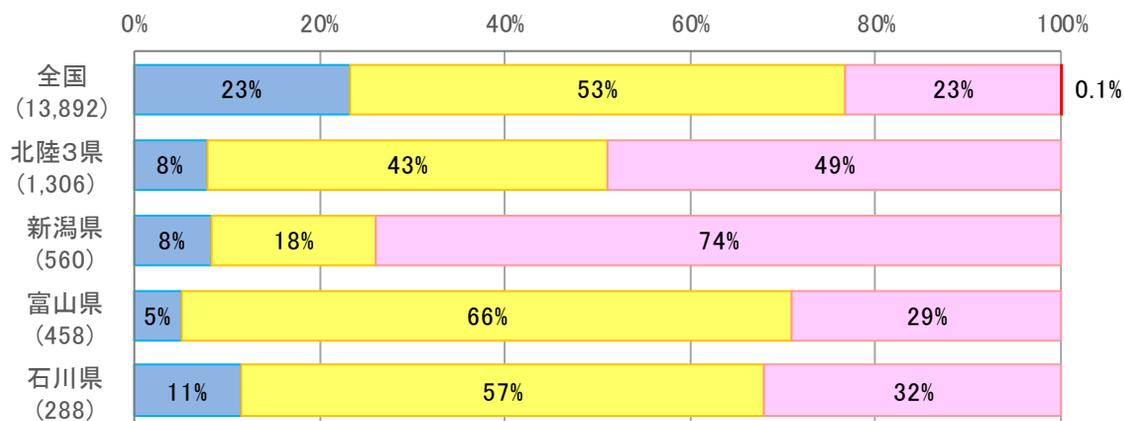
① 橋梁の判定区分の割合（都道府県・政令市等）



② トンネルの判定区分の割合（都道府県・政令市等）



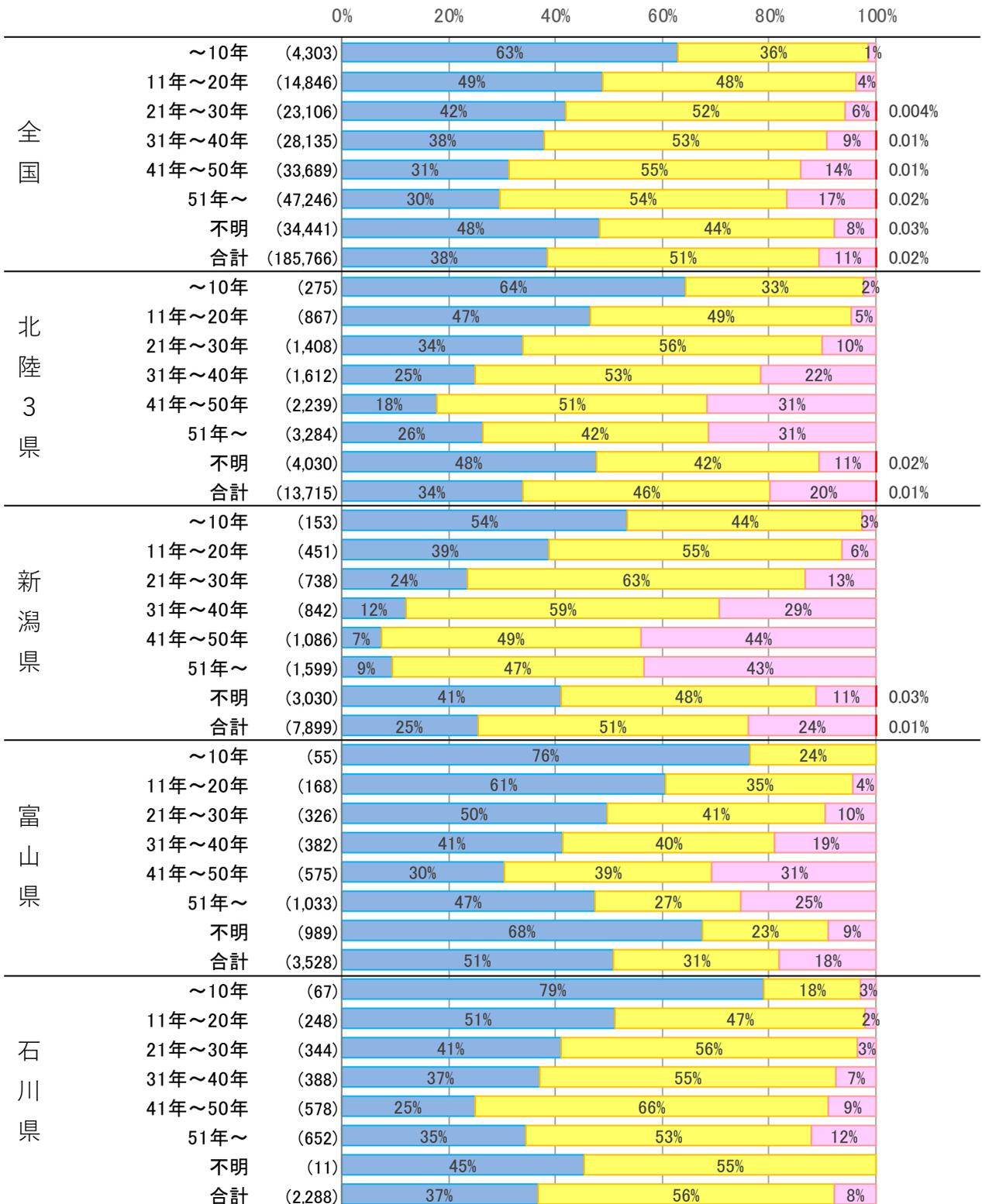
③ 道路附属物等の判定区分の割合（都道府県・政令市等）



■ Ⅰ：健全 ■ Ⅱ：予防保全段階 ■ Ⅲ：早期措置段階 ■ Ⅳ：緊急措置段階

※（）内は、2020年3月末時点の施設数のうち、2014～2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

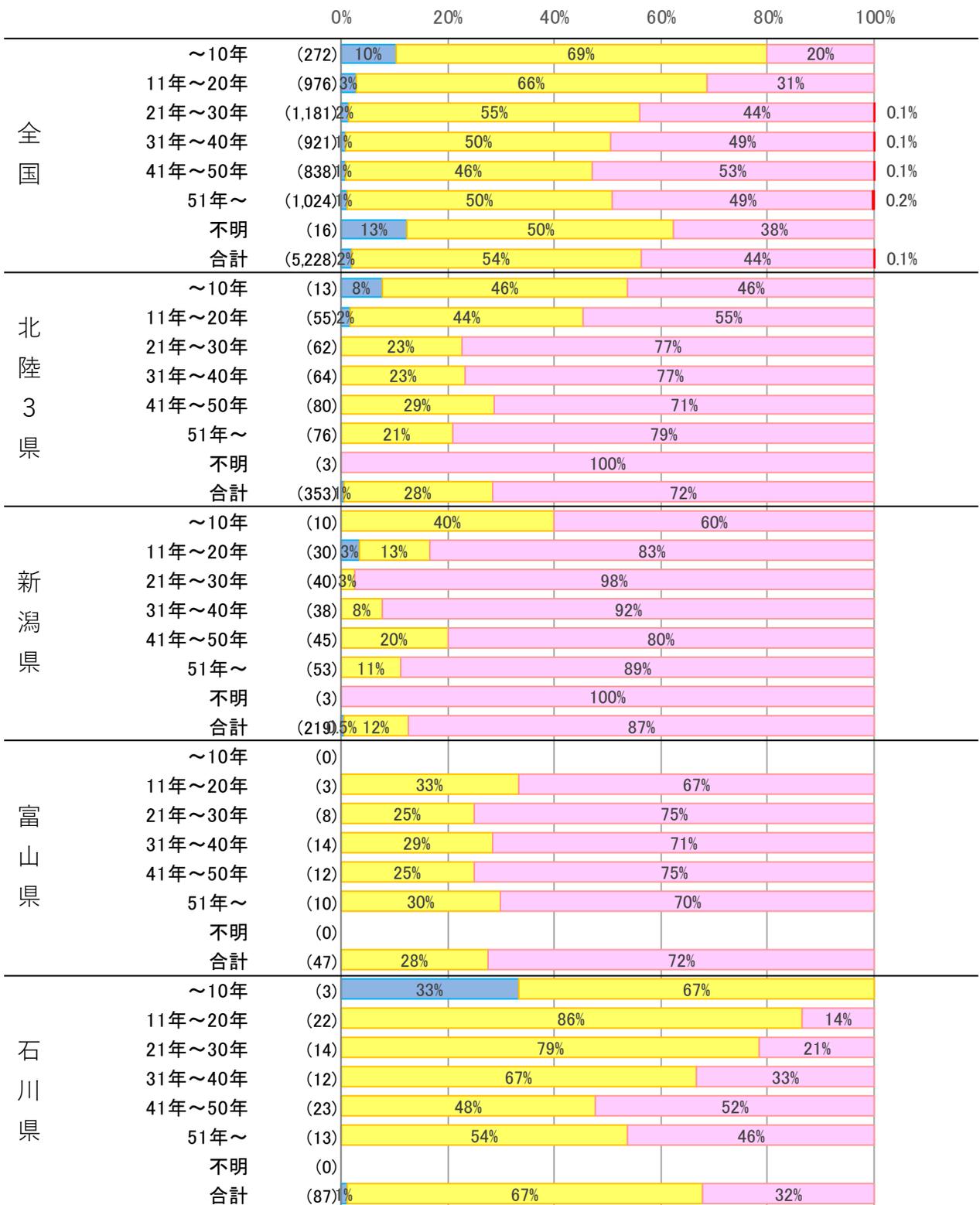
④ 橋梁の判定区分と建設経過年数（都道府県・政令市等）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

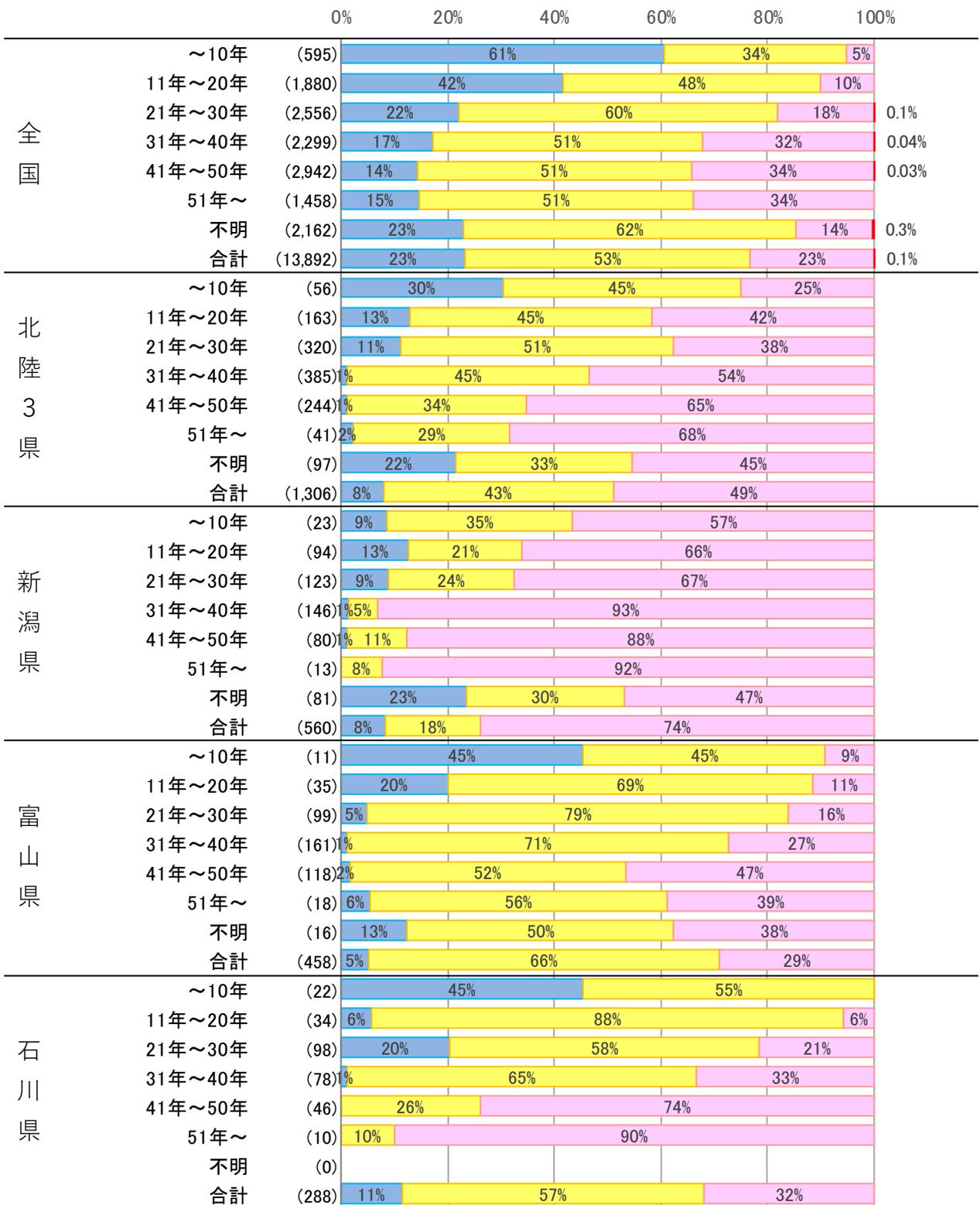
⑤ トンネルの判定区分と建設経過年数（都道府県・政令市等）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

⑥ 道路附属物等の判定区分と建設経過年数（都道府県・政令市等）



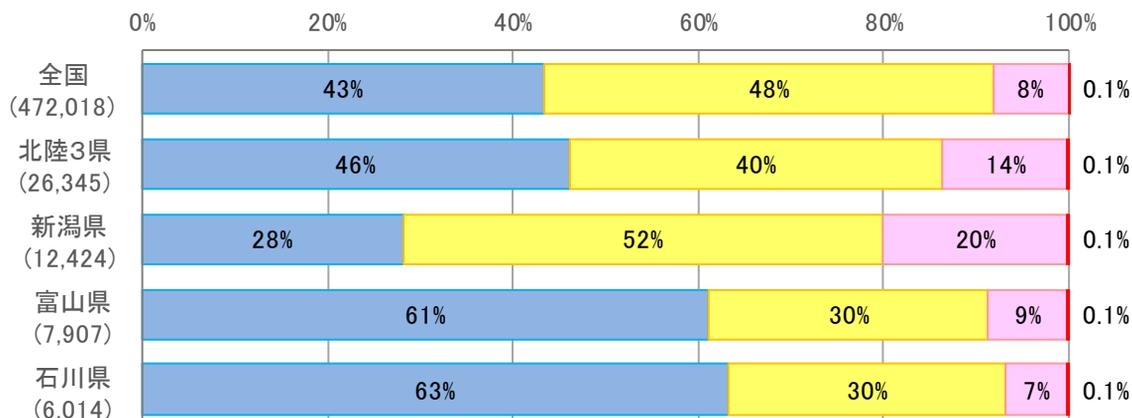
■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

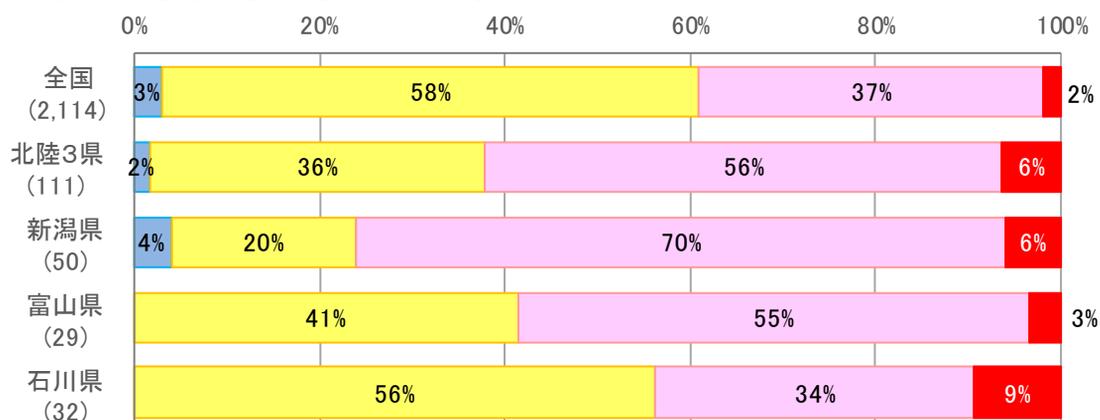
6) 市町村

○ 2019年度末時点における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 46%、Ⅱ 40%、Ⅲ 14%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 36%、Ⅲ 55%、Ⅳ 6%、道路附属物等：Ⅰ 7%、Ⅱ 63%、Ⅲ 29%、Ⅳ 1%です。

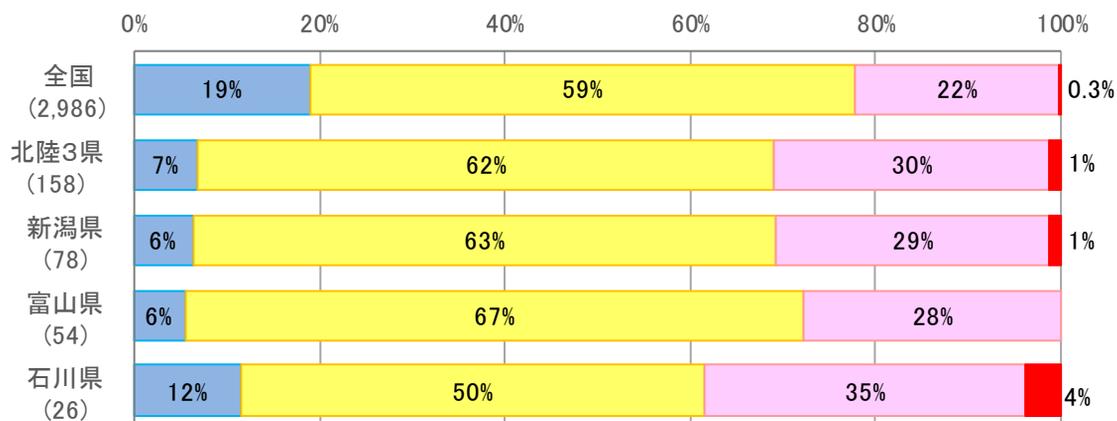
① 橋梁の判定区分の割合（市町村）



② トンネルの判定区分の割合（市町村）



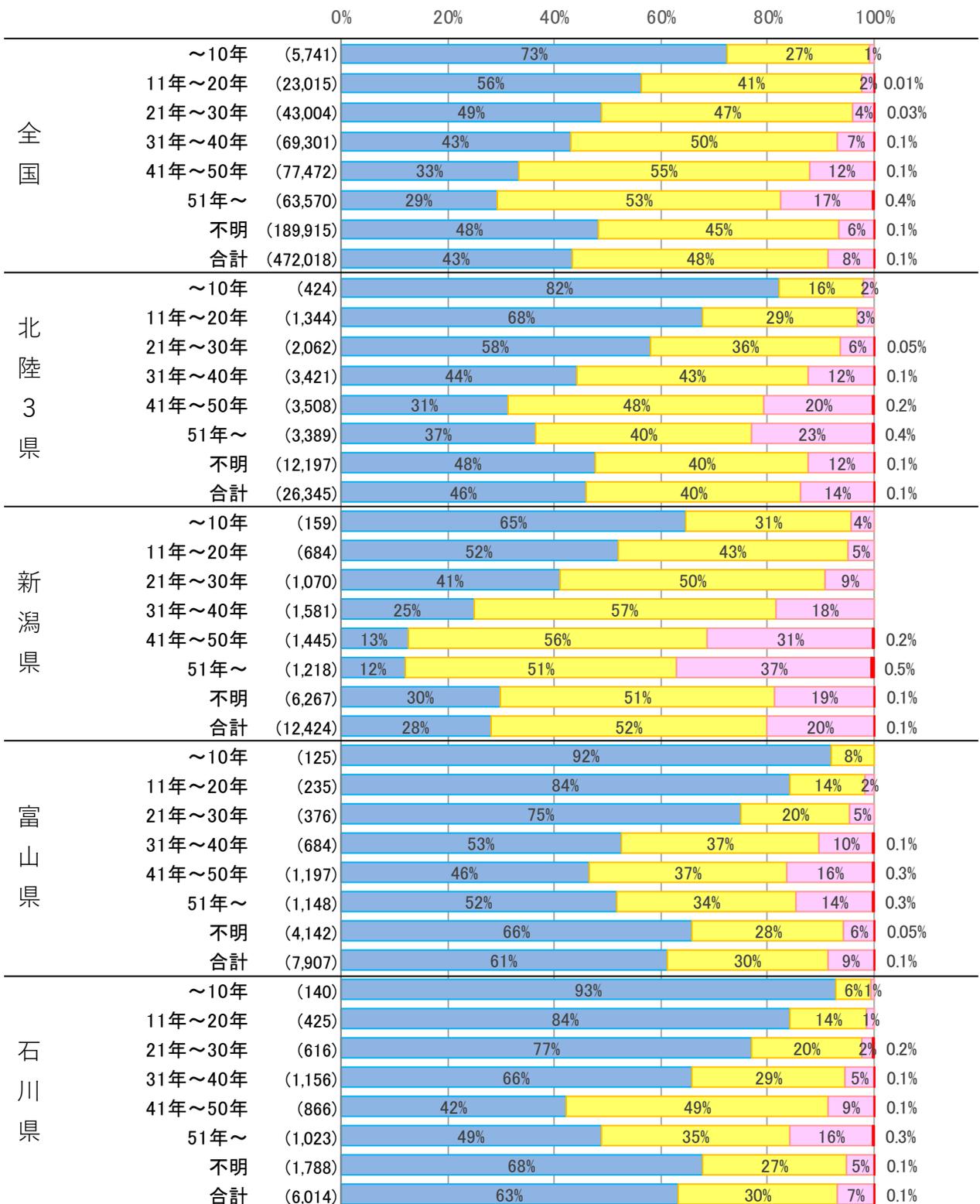
③ 道路附属物等の判定区分の割合（市町村）



■ Ⅰ : 健全 ■ Ⅱ : 予防保全段階 ■ Ⅲ : 早期措置段階 ■ Ⅳ : 緊急措置段階

※ () 内は、2020年3月末時点の施設数のうち、2014～2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

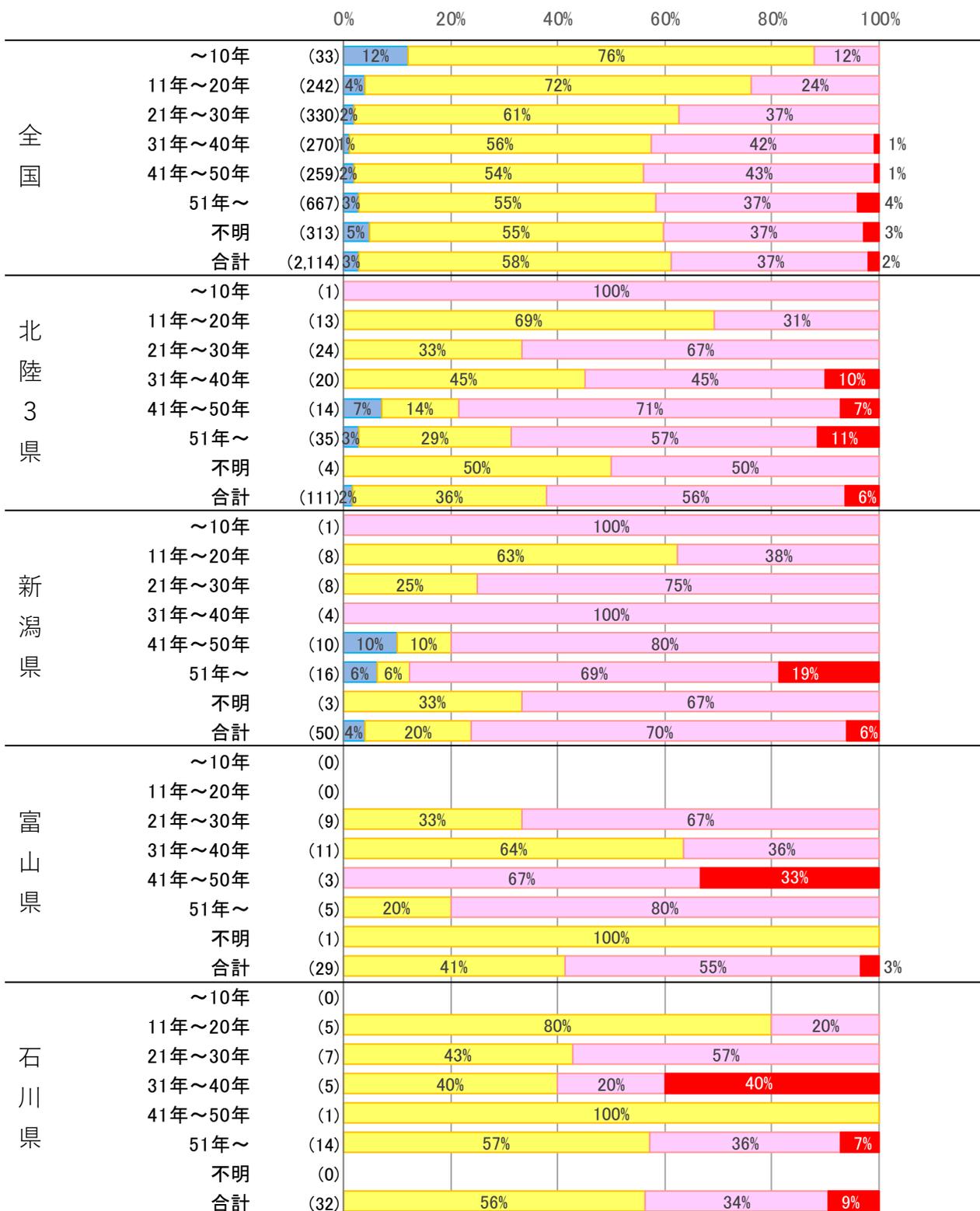
④ 橋梁の判定区分と建設経過年数（市町村）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

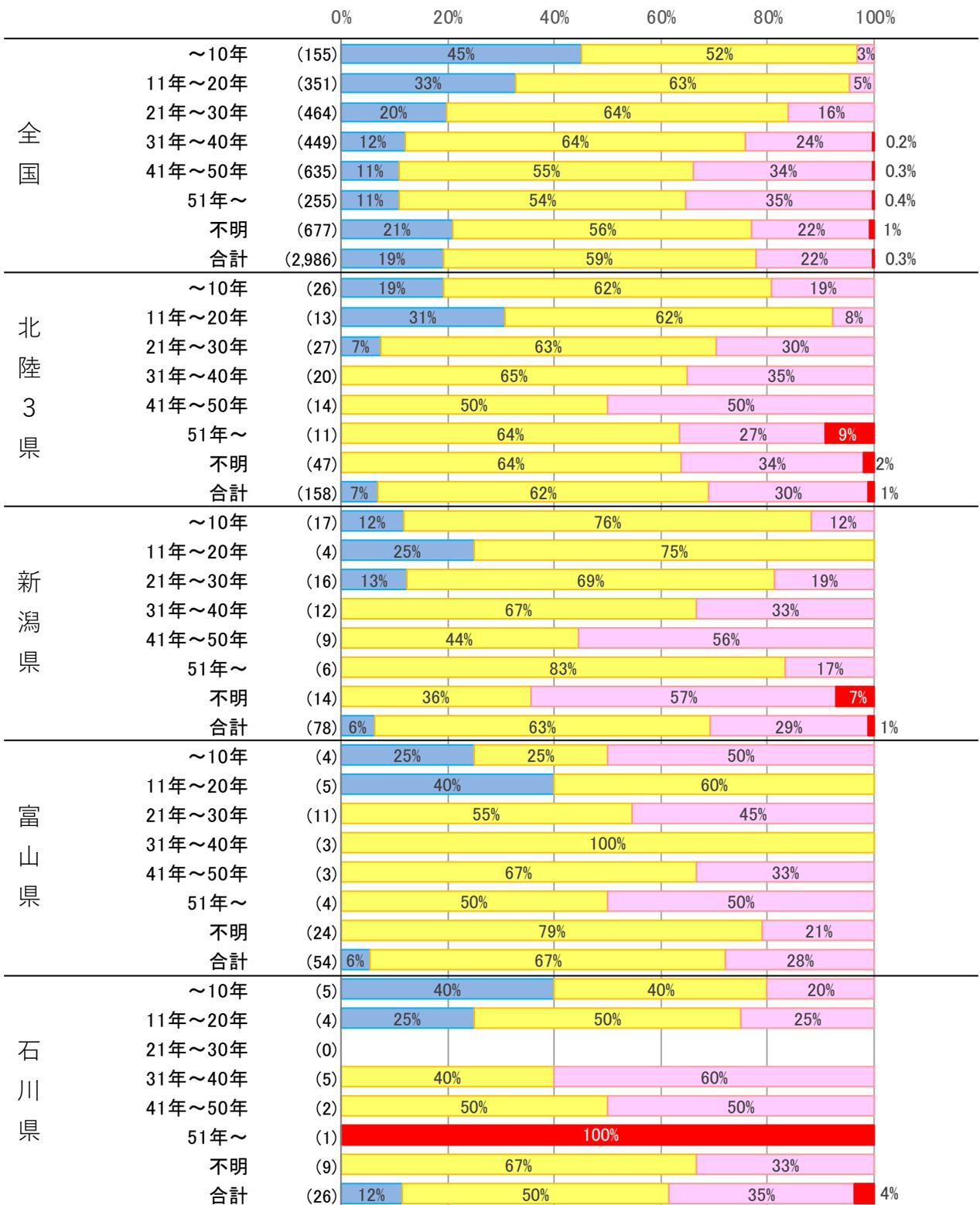
⑤ トンネルの判定区分と建設経過年数（市町村）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

⑥ 道路附属物等の判定区分と建設経過年数（市町村）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。

(4) 緊急輸送道路及び跨線橋等

1) 2019年度(単年度)の点検結果

- 2019年度の点検実施率は、緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋 17% (127橋)、跨線橋 17% (71橋)、緊急輸送道路を構成する橋梁 22% (2,126橋) となっています。
- 判定区分の割合は、緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋：Ⅰ 25%、Ⅱ 57%、Ⅲ 18%、跨線橋：Ⅰ 6%、Ⅱ 56%、Ⅲ 38%、緊急輸送道路を構成する橋梁：Ⅰ 30%、Ⅱ 54%、Ⅲ 16%です。

① 2019年度の点検実施率(全道路管理者合計)

		管理施設数	うち点検対象施設数※1	2019年度点検実施数	点検実施率※2
全国	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	15,950	15,392	3,245	21%
	跨線橋	9,760	9,386	1,611	17%
	緊急輸送道路を構成する橋梁	125,287	123,079	26,499	22%
	(参考)全橋梁	726,461	721,160	121,547	17%
北陸3県	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	739	730	127	17%
	跨線橋	436	430	71	17%
	緊急輸送道路を構成する橋梁	9,838	9,733	2,126	22%
	(参考)全橋梁	45,502	45,202	7,289	16%
新潟県	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	362	357	53	15%
	跨線橋	249	247	37	15%
	緊急輸送道路を構成する橋梁	4,502	4,434	892	20%
	(参考)全橋梁	23,195	23,032	3,301	14%
富山県	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	199	196	42	21%
	跨線橋	112	110	27	25%
	緊急輸送道路を構成する橋梁	3,000	2,987	579	19%
	(参考)全橋梁	12,882	12,815	2,374	19%
石川県	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	178	177	32	18%
	跨線橋	75	73	7	10%
	緊急輸送道路を構成する橋梁	2,336	2,312	655	28%
	(参考)全橋梁	9,425	9,355	1,614	17%

2020.3 末時点

※1：2020年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内の施設などを除いた施設の数。

※2：点検対象施設を分母とした点検実施施設の割合

② 緊急輸送道路及び跨線橋等の点検実施状況

■全国

	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋		跨線橋		緊急輸送道路を構成する橋梁	
	点検対象 施設数	点検実施率 点検実施数	点検対象 施設数	点検実施率 点検実施数	点検対象 施設数	点検実施率 点検実施数
国土交通省	2,185	22% (479)	1,679	27% (457)	31,348	19% (6,023)
高速道路会社	5,120	21% (1,058)	1,065	14% (147)	23,133	21% (4,929)
地方公共団体	8,087	21% (1,708)	6,642	15% (1,007)	68,598	23% (15,547)
都道府県・ 政令市等	3,573	23% (805)	3,520	18% (641)	64,754	22% (14,529)
市町村	4,514	20% (903)	3,122	12% (366)	3,844	26% (1,018)
合計	15,392	21% (3,245)	9,386	17% (1,611)	123,079	22% (26,499)

■北陸3県

	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋		跨線橋		緊急輸送道路を構成する橋梁	
	点検対象 施設数	点検実施率 点検実施数	点検対象 施設数	点検実施率 点検実施数	点検対象 施設数	点検実施率 点検実施数
国土交通省	186	17% (32)	87	20% (17)	3,126	8% (236)
高速道路会社	287	15% (44)	56	0% (0)	1,746	22% (380)
地方公共団体	257	20% (51)	287	19% (54)	4,861	31% (1,510)
都道府県・ 政令市等	107	24% (26)	193	24% (46)	4,512	32% (1,466)
市町村	150	17% (25)	94	9% (8)	349	13% (44)
合計	730	17% (127)	430	17% (71)	9,733	22% (2,126)

■新潟県

	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋		跨線橋		緊急輸送道路を構成する橋梁	
	点検対象 施設数	点検実施率 点検実施数	点検対象 施設数	点検実施率 点検実施数	点検対象 施設数	点検実施率 点検実施数
国土交通省	73	21% (15)	53	25% (13)	1,437	8% (117)
高速道路会社	185	9% (17)	35	0% (0)	1,081	22% (239)
地方公共団体	99	21% (21)	159	15% (24)	1,916	28% (536)
都道府県・ 政令市等	23	17% (4)	108	16% (17)	1,891	28% (533)
市町村	76	22% (17)	51	14% (7)	25	12% (3)
合計	357	15% (53)	247	15% (37)	4,434	20% (892)

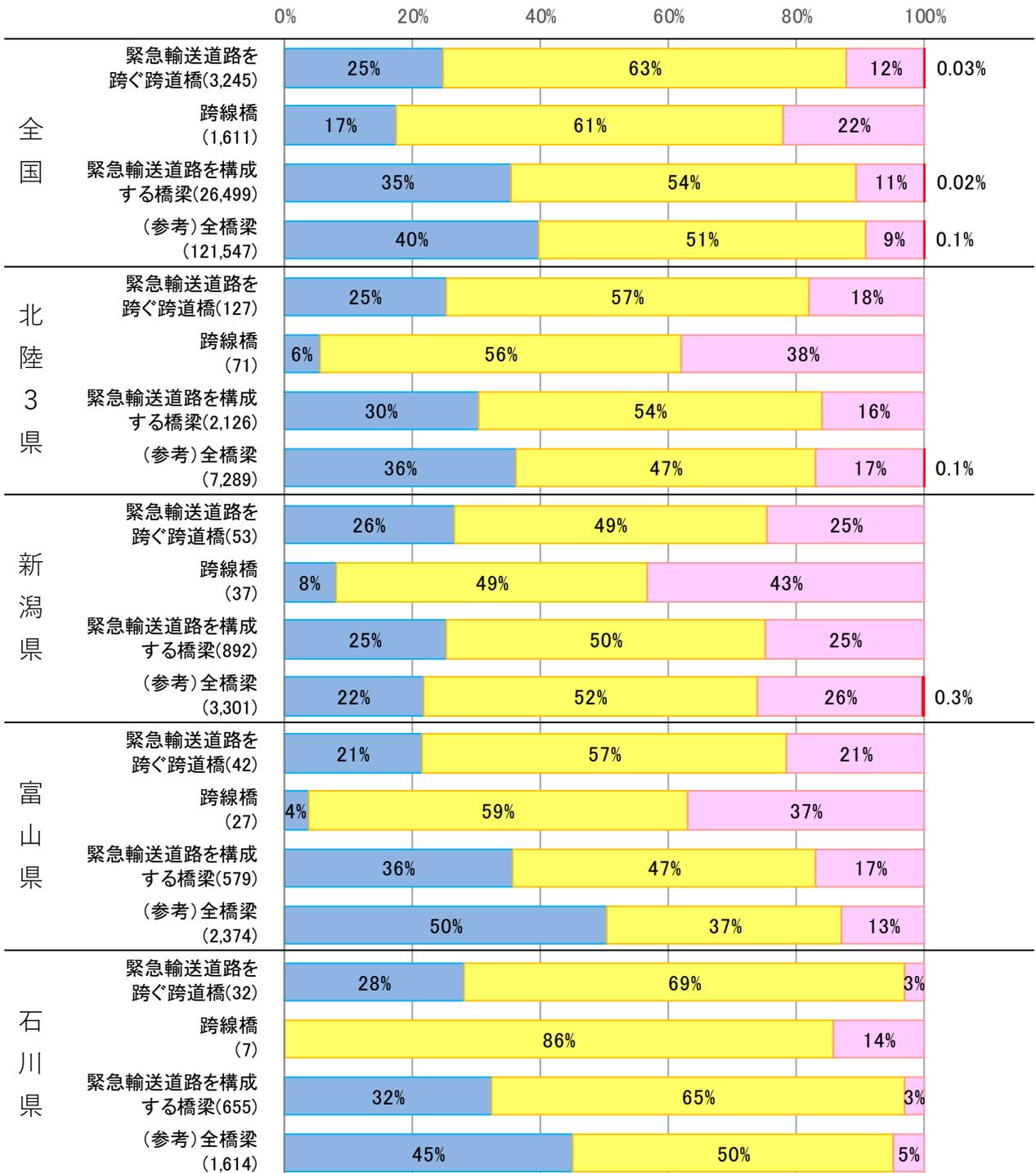
■富山県

	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋		跨線橋		緊急輸送道路を構成する橋梁	
	点検対象 施設数	点検実施率 点検実施数	点検対象 施設数	点検実施率 点検実施数	点検対象 施設数	点検実施率 点検実施数
国土交通省	40	13% (5)	21	19% (4)	867	6% (50)
高速道路会社	80	30% (24)	17	0% (0)	478	24% (114)
地方公共団体	76	17% (13)	72	32% (23)	1,642	25% (415)
都道府県・ 政令市等	46	17% (8)	54	41% (22)	1,454	27% (396)
市町村	30	17% (5)	18	6% (1)	188	10% (19)
合計	196	21% (42)	110	25% (27)	2,987	19% (579)

■石川県

	緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋		跨線橋		緊急輸送道路を構成する橋梁	
	点検対象 施設数	点検実施率 点検実施数	点検対象 施設数	点検実施率 点検実施数	点検対象 施設数	点検実施率 点検実施数
国土交通省	73	16% (12)	13	0% (0)	822	8% (69)
高速道路会社	22	14% (3)	4	0% (0)	187	14% (27)
地方公共団体	82	21% (17)	56	13% (7)	1,303	43% (559)
都道府県・ 政令市等	38	37% (14)	31	23% (7)	1,167	46% (537)
市町村	44	7% (3)	25	0% (0)	136	16% (22)
合計	177	18% (32)	73	10% (7)	2,312	28% (655)

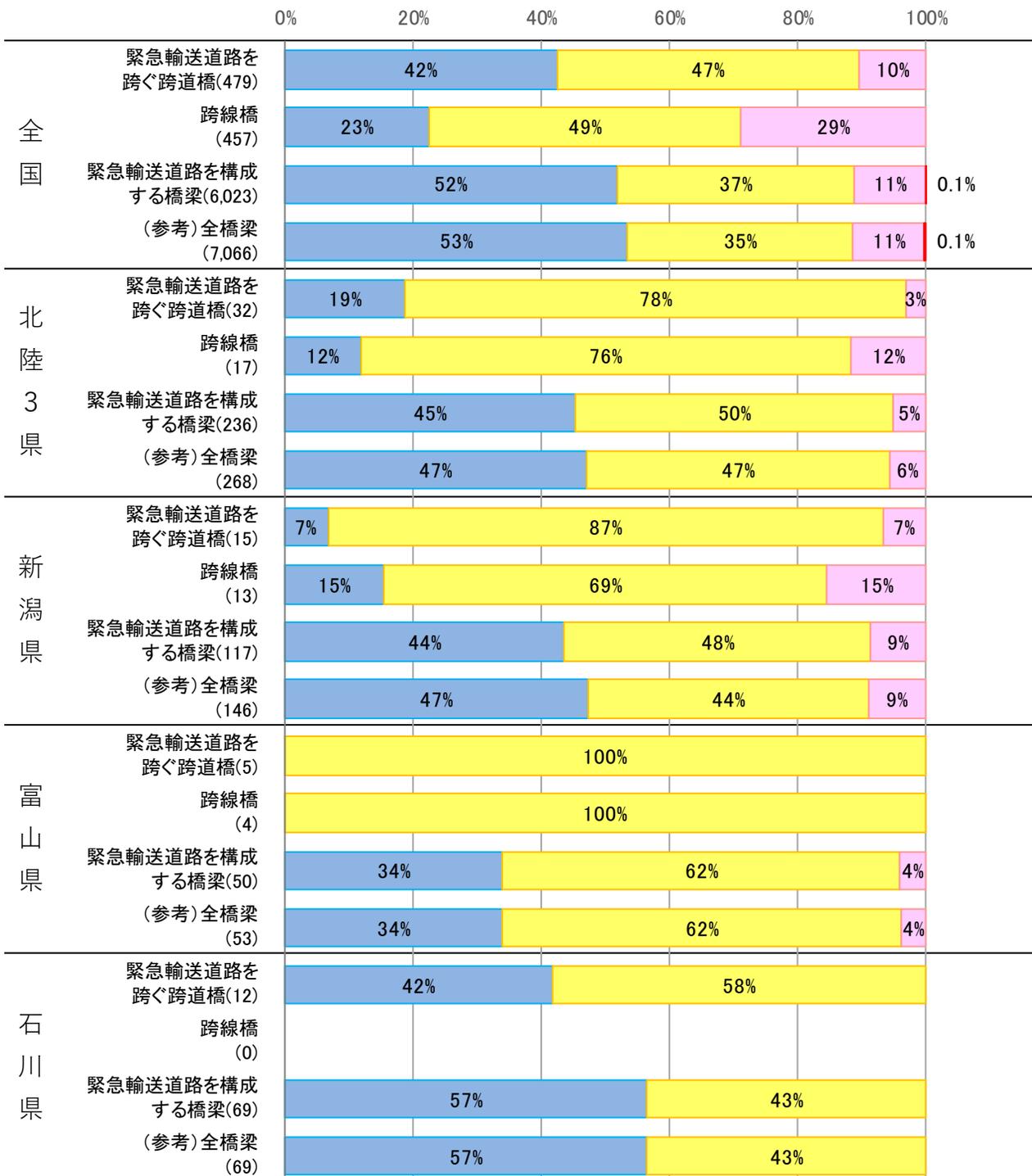
③ 緊急輸送道路及び跨線橋等の判定区分（全道路管理者合計）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※（ ）内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

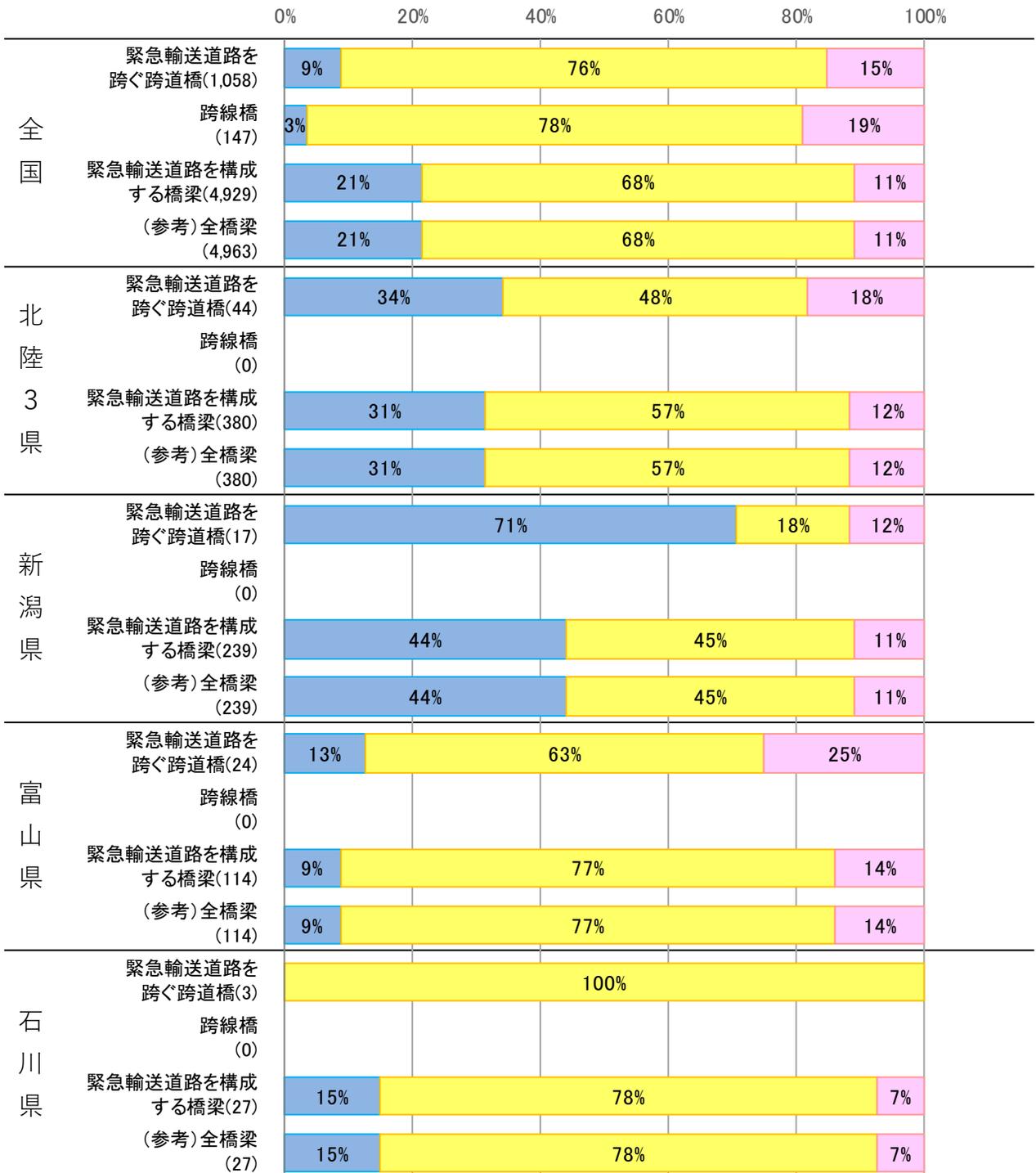
④ 緊急輸送道路及び跨線橋等の判定区分（国土交通省）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※ () 内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

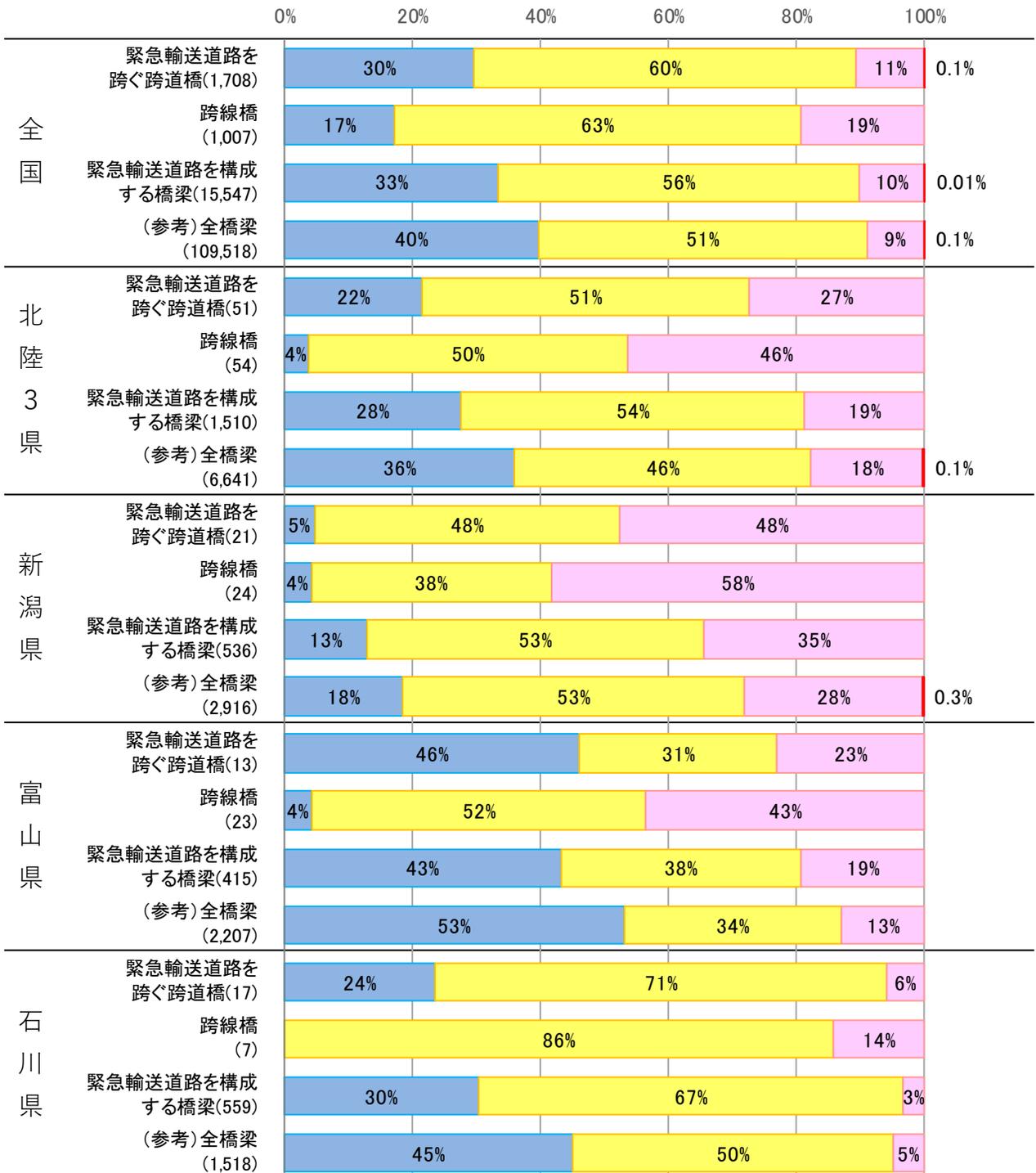
⑤ 緊急輸送道路及び跨線橋等の判定区分（高速道路会社）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※ () 内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

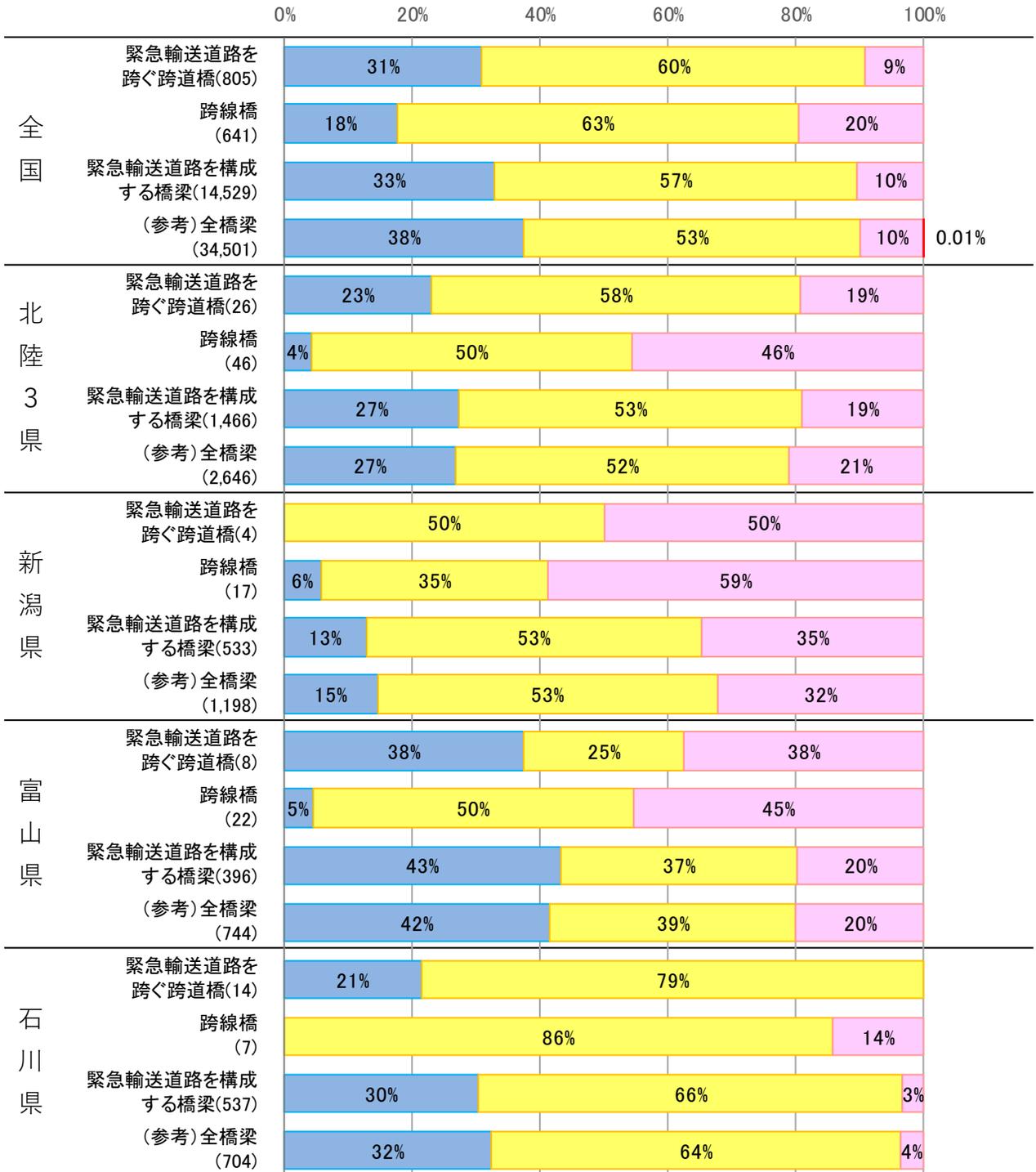
⑥ 緊急輸送道路及び跨線橋等の判定区分（地方公共団体）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※（ ）内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

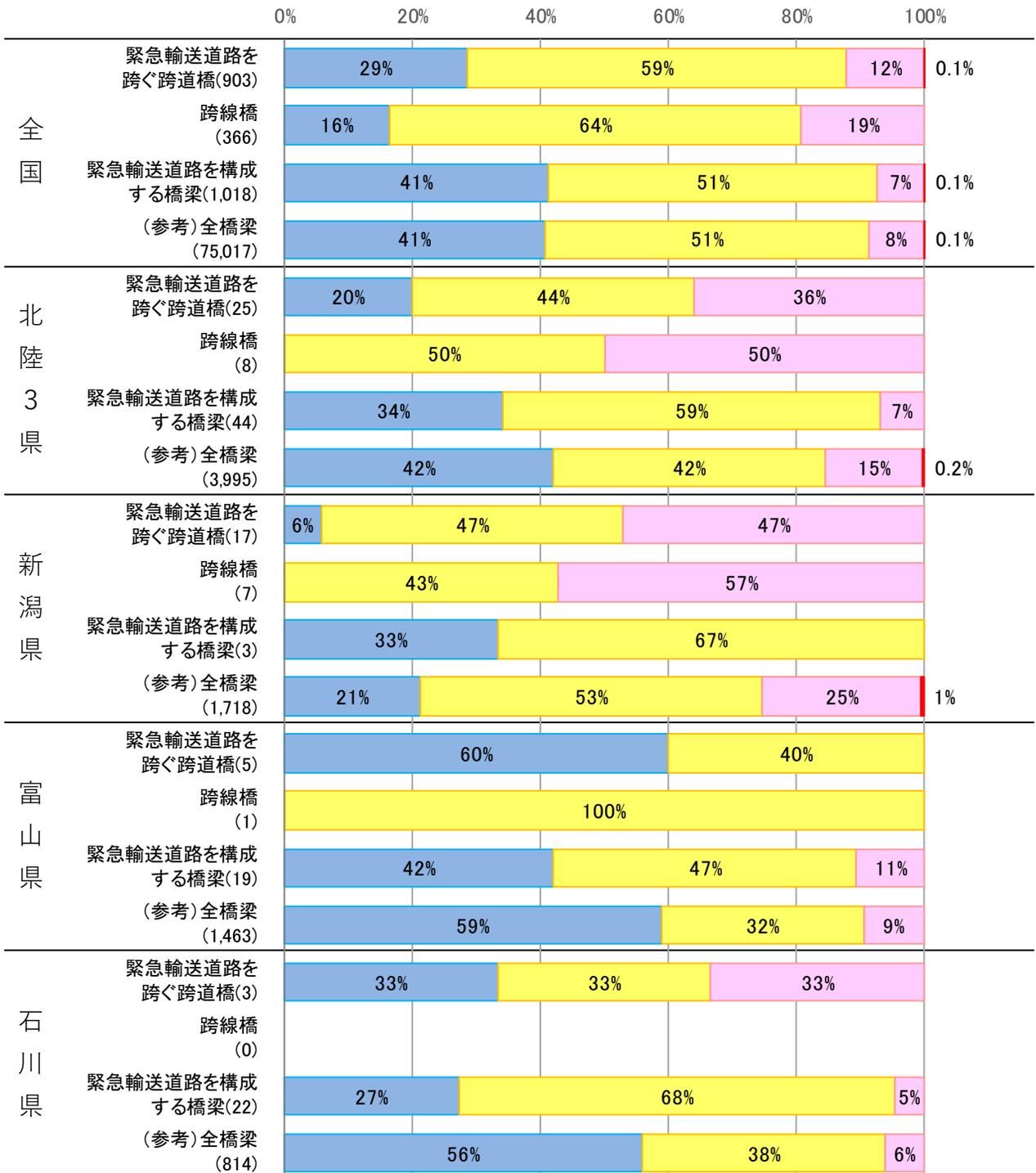
⑦ 緊急輸送道路及び跨線橋等の判定区分（都道府県・政令市等）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※（）内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

⑧ 緊急輸送道路及び跨線橋等の判定区分（市町村）



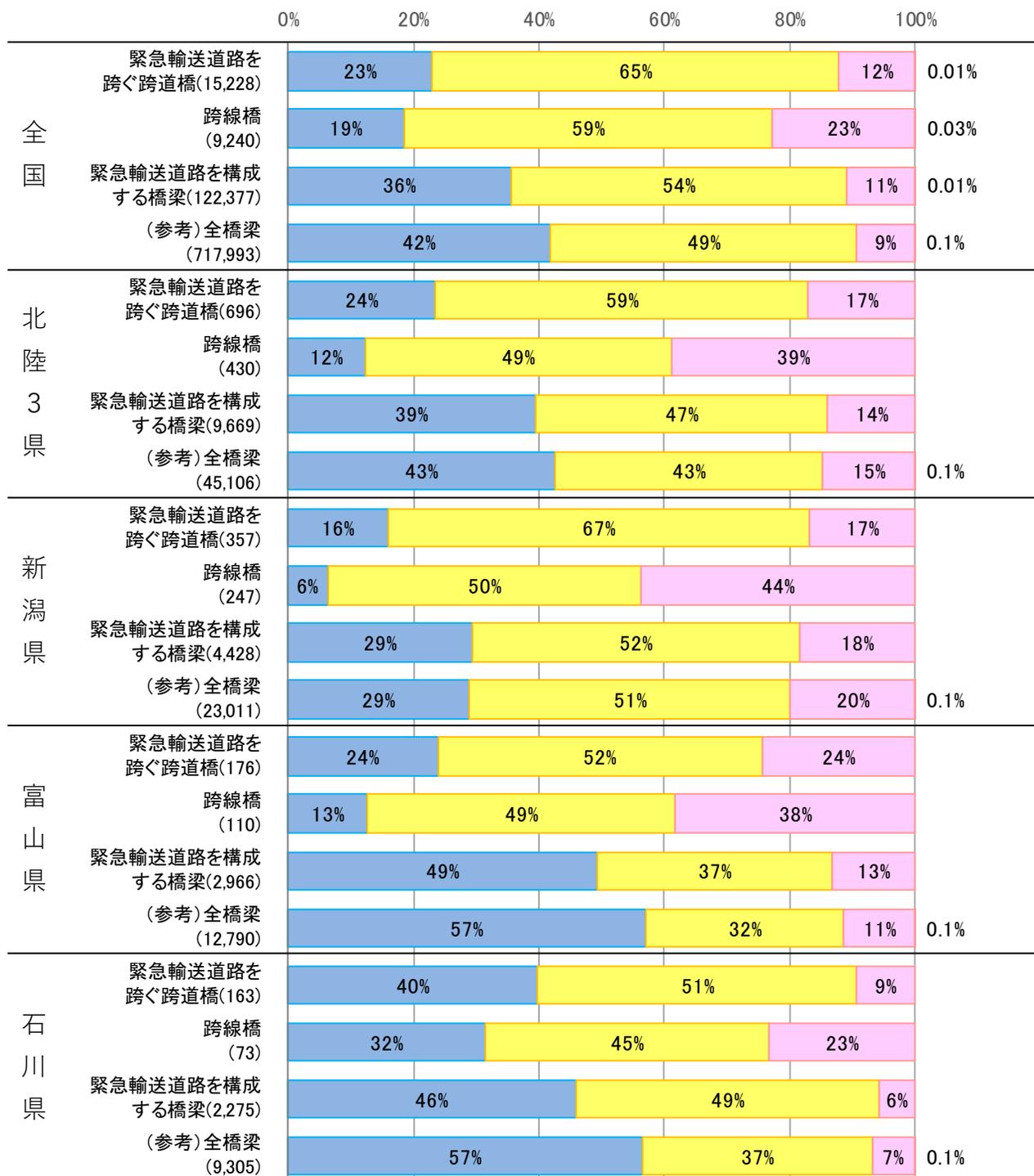
■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※（ ）内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

2) 判定区分 (1 巡目点検結果に2019 年度点検結果を反映)

○ 2019 年度末時点における判定区分の割合は、緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋：Ⅰ 24%、Ⅱ 59%、Ⅲ 17%、跨線橋：Ⅰ 12%、Ⅱ 49%、Ⅲ 39%、緊急輸送道路を構成する橋梁：Ⅰ 39%、Ⅱ 47%、Ⅲ 14%です。

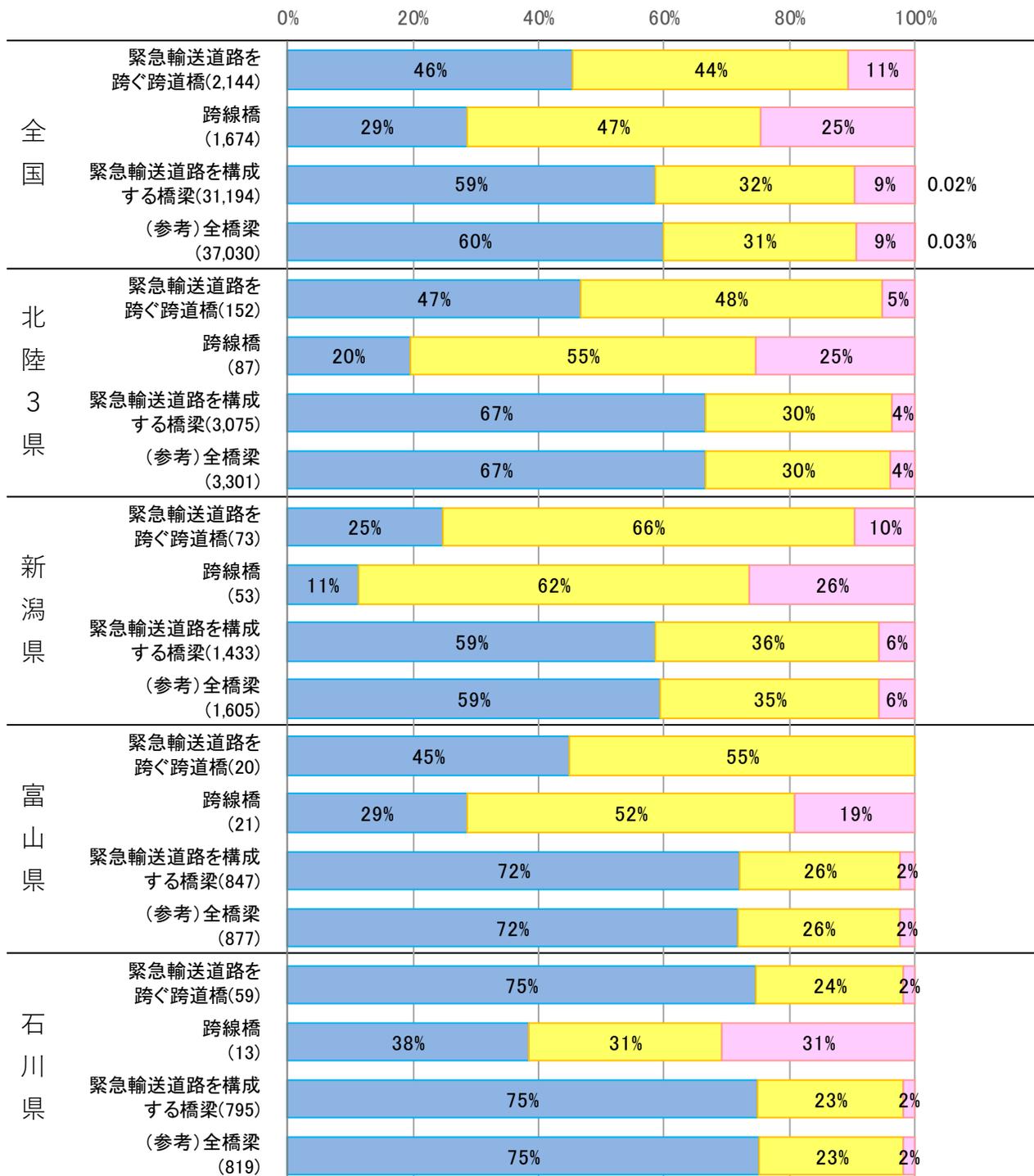
① 緊急輸送道路及び跨線橋等の判定区分 (全道路管理者合計)



■ Ⅰ：健全 ■ Ⅱ：予防保全段階 ■ Ⅲ：早期措置段階 ■ Ⅳ：緊急措置段階

※ () 内は、2020 年3 月末時点での橋梁数のうち、2014~2019 年度に点検を実施した橋梁数の合計。
 ※点検を実施した施設のうち、2020 年3 月末時点で診断中の施設を除く。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

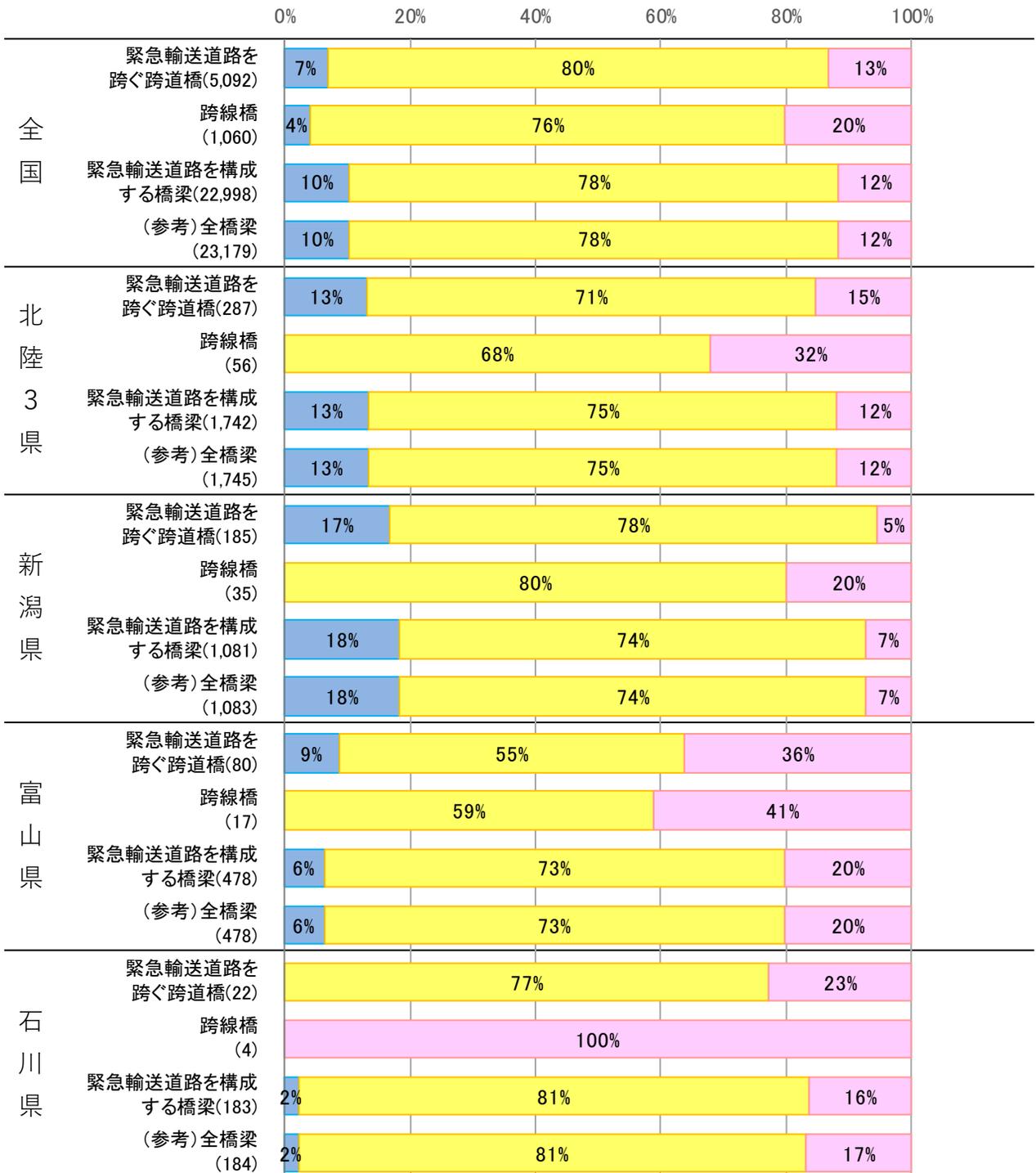
② 緊急輸送道路及び跨線橋等の判定区分（国土交通省）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※（ ）内は、2020年3月末時点での橋梁数のうち、2014～2019年度に点検を実施した橋梁数の合計。
 ※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

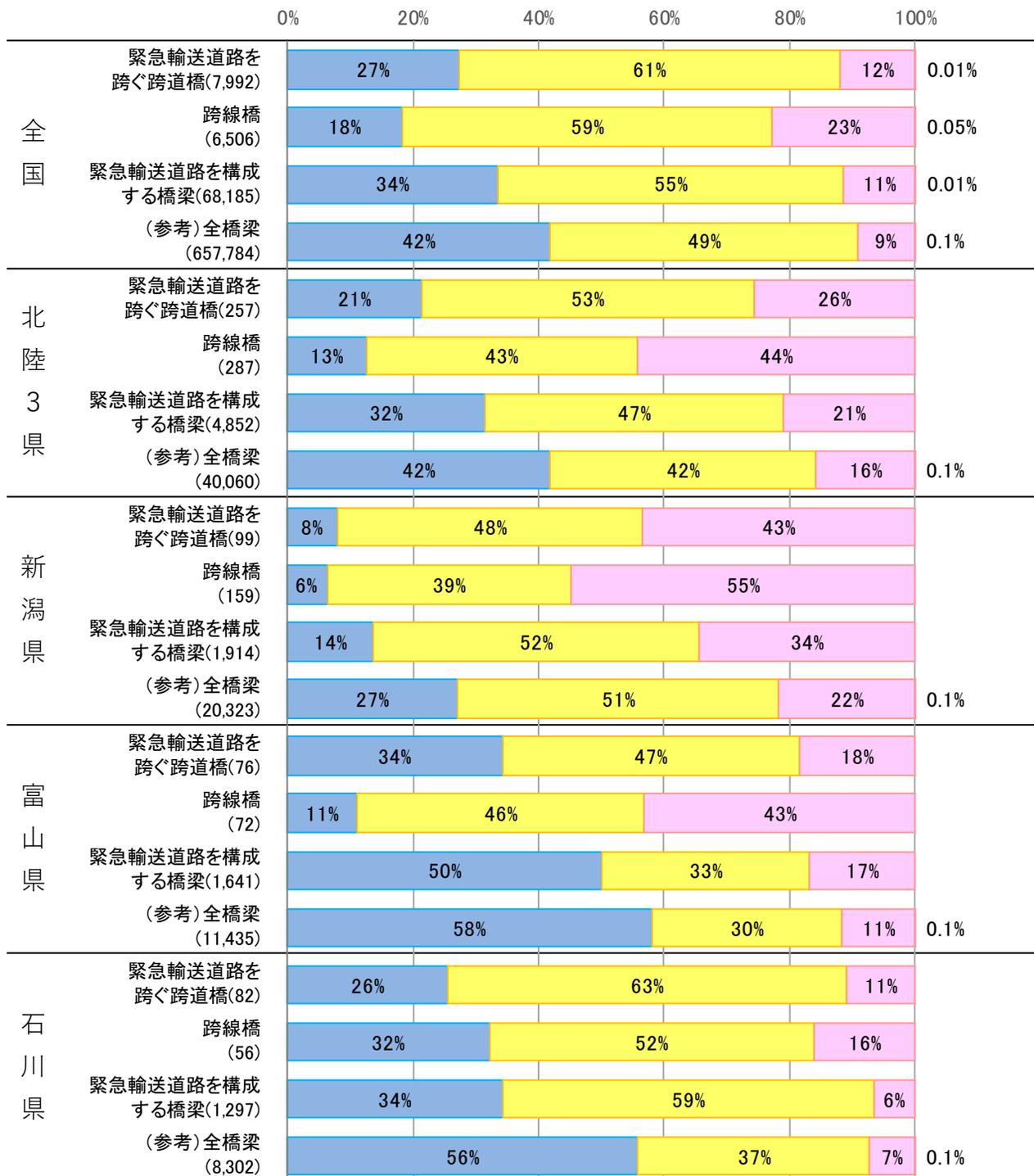
③ 道路管理者別の判定区分（高速道路会社）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※（ ）内は、2020年3月末時点での橋梁数のうち、2014～2019年度に点検を実施した橋梁数の合計。
 ※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

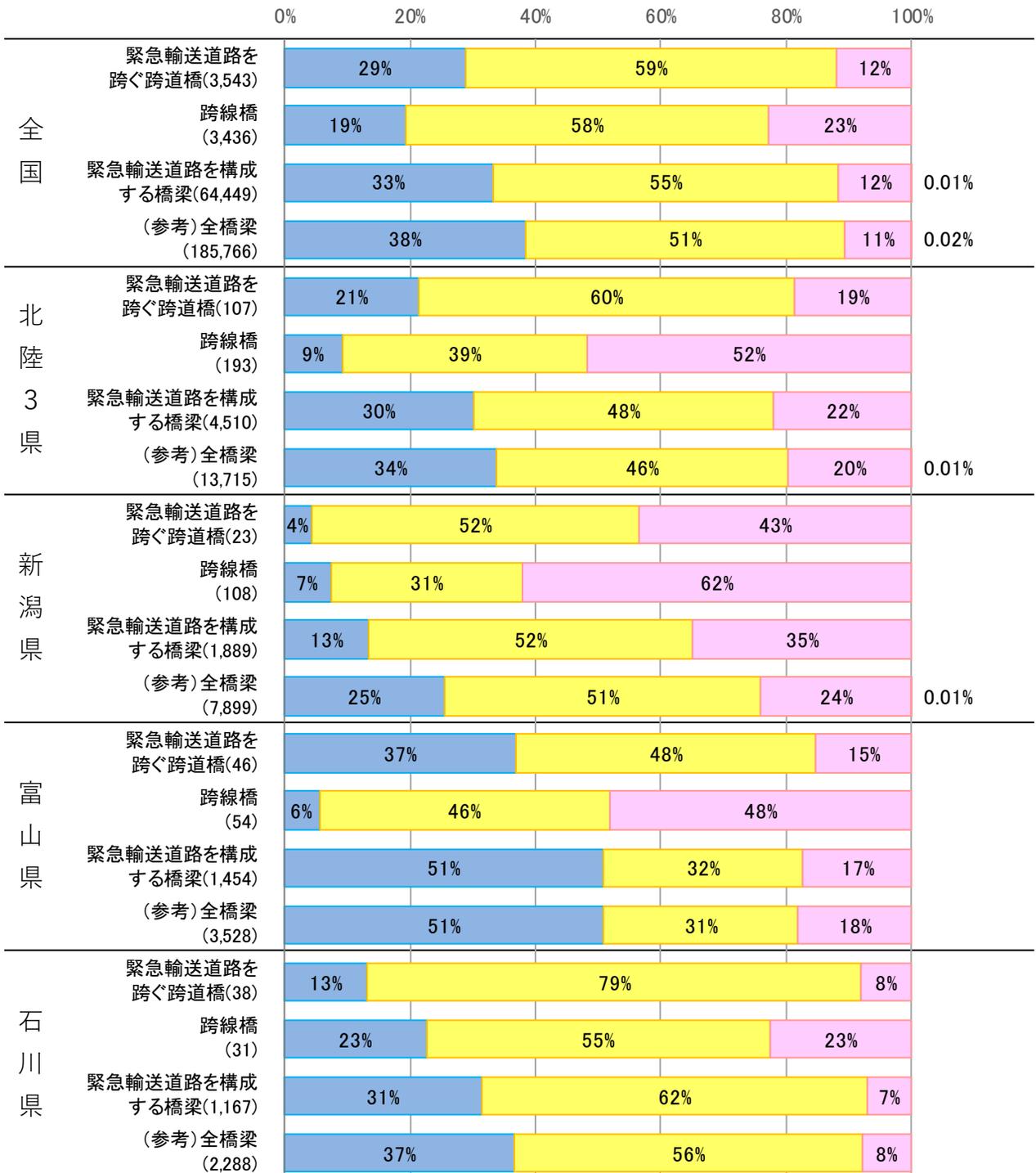
④ 道路管理者別の判定区分（地方公共団体）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※（ ）内は、2020年3月末時点での橋梁数のうち、2014～2019年度に点検を実施した橋梁数の合計。
 ※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

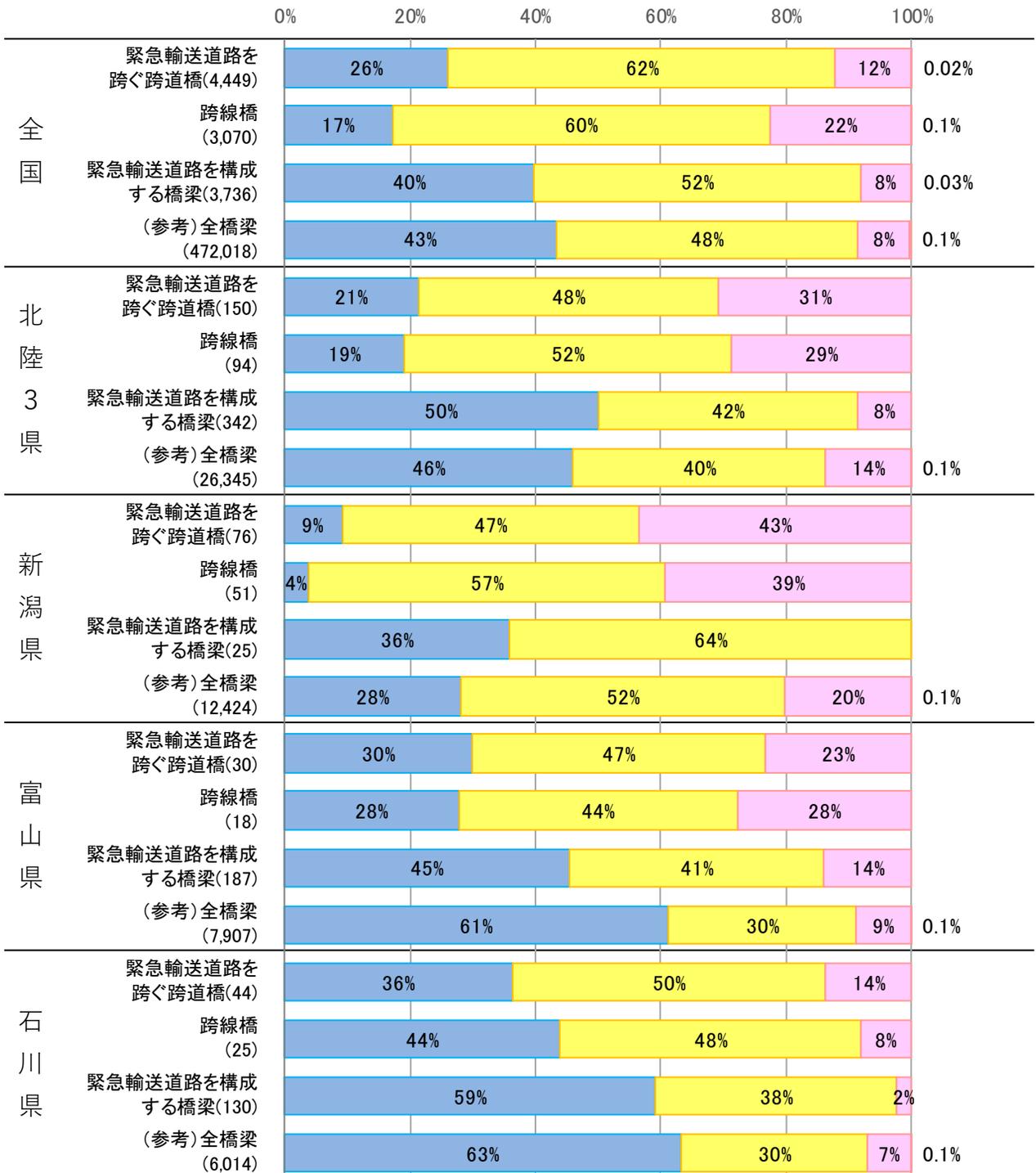
⑤ 道路管理者別の判定区分（都道府県・政令市等）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※（ ）内は、2020年3月末時点での橋梁数のうち、2014～2019年度に点検を実施した橋梁数の合計。
 ※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

⑥ 道路管理者別の判定区分（市町村）



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※（ ）内は、2020年3月末時点での橋梁数のうち、2014～2019年度に点検を実施した橋梁数の合計。
 ※点検を実施した施設のうち、2020年3月末時点で診断中の施設を除く。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

3. 1 巡目点検施設の修繕等措置の実施状況

(1) 判定区分Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置^{※1}の実施状況

1) 橋梁

① 判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕実施状況

○ 1 巡目点検で判定区分Ⅲ又はⅣと診断された橋梁で、2019年度までに修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省 89%、高速道路会社 54%、地方公共団体 36%です。

	措置が必要な施設数 A ※2	措置に着手済の施設数 B	措置に着手済の施設数 C	措置完了済の施設数 D	着手率(B/A) 完了率(D/A)					
					0%	20%	40%	60%	80%	100%
全国	国土交通省	3,427	2,359	1,302	1,071	31%		69%		
	高速道路会社	2,538	1,202	809	705	28%		47%		
	地方公共団体	62,873	21,376	14,977	12,869	20%		34%		
	都道府県・政令市等	20,535	9,052	6,351	5,057	25%		44%		
	市区町村	42,338	12,324	8,626	7,812	18%		29%		
	合計	68,838	24,937	17,088	14,645	21%		36%		
北陸3県	国土交通省	133	119	97	79	59%		89%		
	高速道路会社	210	113	102	75	36%		54%		
	地方公共団体	6,350	2,277	1,649	1,087	17%		36%		
	都道府県・政令市等	2,758	1,421	1,006	627	23%		52%		
	市区町村	3,592	856	643	460	13%		24%		
	合計	6,693	2,509	1,848	1,241	19%		37%		
新潟県	国土交通省	93	82	68	58	62%		88%		
	高速道路会社	78	51	40	24	31%		65%		
	地方公共団体	4,391	1,335	901	590	13%		30%		
	都道府県・政令市等	1,897	903	552	305	16%		48%		
	市区町村	2,494	432	349	285	11%		17%		
	合計	4,562	1,468	1,009	672	15%		32%		
富山県	国土交通省	21	18	11	6	29%		86%		
	高速道路会社	101	48	48	37	37%		48%		
	地方公共団体	1,284	533	414	205	16%		42%		
	都道府県・政令市等	604	287	243	132	22%		48%		
	市区町村	680	246	171	73	11%		36%		
	合計	1,406	599	473	248	18%		43%		
石川県	国土交通省	19	19	18	15	79%		100%		
	高速道路会社	31	14	14	14	45%		45%		
	地方公共団体	675	409	334	292	43%		61%		
	都道府県・政令市等	257	231	211	190	74%		90%		
	市区町村	418	178	123	102	24%		43%		
	合計	725	442	366	321	44%		61%		

2020年9月末時点

修繕完了率

修繕工事を完了した割合

修繕着手率

修繕（設計を含む）に着手した割合

※1：監視を除く。

※2：1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く数。

② 判定区分Ⅱの修繕等措置の実施状況

- 判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁の修繕等の措置（事後保全）を速やかに行い、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅱ）の予防保全に着手するべきですが、2019年度までに予防保全型の措置に着手した割合は、国土交通省44%、高速道路会社21%、地方公共団体5%です。

		措置が必要な施設数 A	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着手済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)	着手率(B/A) 完了率(D/A)					
						0%	20%	40%	60%	80%	100%
全国	国土交通省	11,472	3,652	1,575	1,395	12%	32%				
	高速道路会社	18,838	462	368	284	2%	2%				
	地方公共団体	319,672	11,720	9,026	8,244	3%	4%				
	都道府県・政令市等	92,663	3,537	2,894	2,441	3%	4%				
	市区町村	227,009	8,183	6,132	5,803	3%	4%				
	合計	349,982	15,834	10,969	9,923	3%	5%				
北陸3県	国土交通省	981	429	220	203	21%	44%				
	高速道路会社	1,401	295	228	108	8%	21%				
	地方公共団体	16,747	852	722	586	3%	5%				
	都道府県・政令市等	6,099	521	453	344	6%	9%				
	市区町村	10,648	331	269	242	2%	3%				
	合計	19,129	1,576	1,170	897	5%	8%				
新潟県	国土交通省	566	307	160	151	27%	54%				
	高速道路会社	896	286	222	105	12%	32%				
	地方公共団体	10,390	356	305	261	3%	3%				
	都道府県・政令市等	3,919	225	189	147	4%	6%				
	市区町村	6,471	131	116	114	2%	2%				
	合計	11,852	949	687	517	4%	8%				
富山県	国土交通省	221	47	12	10	5%	21%				
	高速道路会社	354	9	6	3	1%	3%				
	地方公共団体	3,307	315	274	195	6%	10%				
	都道府県・政令市等	947	198	175	122	13%	21%				
	市区町村	2,360	117	99	73	3%	5%				
	合計	3,882	371	292	208	5%	10%				
石川県	国土交通省	194	75	48	42	22%	39%				
	高速道路会社	151	0	0	0	0%					
	地方公共団体	3,050	181	143	130	4%	6%				
	都道府県・政令市等	1,233	98	89	75	6%	8%				
	市区町村	1,817	83	54	55	3%	5%				
	合計	3,395	256	191	172	5%	8%				

2020年9月末時点

修繕完了率

修繕工事を完了した割合

修繕着手率

修繕（設計を含む）に着手した割合

※：1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く数。

2) トンネル

① 判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕実施状況

○ 1 巡目点検で判定区分Ⅲ又はⅣと診断されたトンネルで、2019年度までに修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省81%、高速道路会社96%、地方公共団体68%です。

		措置が 必要な 施設数 A	措置に 着手済の 施設数 B (B/A)	措置に 着工済の 施設数 C (C/A)	措置 完了済 の施設数 D (D/A)	着手率(B/A) 完了率(D/A)					
						0%	20%	40%	60%	80%	100%
全国	国土交通省	521	417	330	294	56% 80%					
	高速道路会社	692	564	470	438	63% 82%					
	地方公共団体	3,204	1,500	1,097	900	28% 47%					
	都道府県・政令市等	2,345	1,262	928	756	32% 54%					
	市区町村	859	238	169	144	17% 28%					
	合計	4,417	2,481	1,897	1,632	37% 56%					
北陸3県	国土交通省	58	47	39	25	43% 81%					
	高速道路会社	57	55	55	51	89% 96%					
	地方公共団体	317	215	175	152	48% 68%					
	都道府県・政令市等	255	194	159	139	55% 76%					
	市区町村	62	21	16	13	21% 34%					
	合計	432	317	269	228	53% 73%					
新潟県	国土交通省	30	30	26	16	53% 100%					
	高速道路会社	53	51	51	47	89% 96%					
	地方公共団体	221	156	129	123	56% 71%					
	都道府県・政令市等	192	147	121	116	60% 77%					
	市区町村	29	9	8	7	24% 31%					
	合計	304	237	206	186	61% 78%					
富山県	国土交通省	20	9	5	1	5% 45%					
	高速道路会社	4	4	4	4	100% 100%					
	地方公共団体	51	32	20	8	16% 63%					
	都道府県・政令市等	34	26	17	6	18% 76%					
	市区町村	17	6	3	2	12% 35%					
	合計	75	45	29	13	17% 60%					
石川県	国土交通省	8	8	8	8	100% 100%					
	高速道路会社	0	0	0	0	0%					
	地方公共団体	45	27	26	21	47% 60%					
	都道府県・政令市等	29	21	21	17	59% 72%					
	市区町村	16	6	5	4	25% 38%					
	合計	53	35	34	29	55% 66%					

2020年9月末時点

修繕完了率 修繕工事を完了した割合 **修繕着手率** 修繕（設計を含む）に着手した割合

※：1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く数。

② 判定区分Ⅱの修繕等措置の実施状況

- 判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネルの修繕等の措置（事後保全）を速やかに行い、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅱ）の予防保全に着手するべきですが、2019年度までに予防保全型の措置に着手した割合は、国土交通省72%、高速道路会社63%、地方公共団体11%です。

	措置が必要な施設数 A	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着手済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)	着手率(B/A) 完了率(D/A)						
					0%	20%	40%	60%	80%	100%	
全国	国土交通省	932	390	250	213	23%		42%			
	高速道路会社	1,106	73	57	45	4%	7%				
	地方公共団体	3,951	354	283	244	6%	9%				
	都道府県・政令市等	2,776	261	215	182	7%	9%				
	市区町村	1,175	93	68	62	5%	8%				
	合計	5,989	817	590	502	8%	14%				
北陸3県	国土交通省	25	18	17	11	44%		72%			
	高速道路会社	49	31	31	26	53%		63%			
	地方公共団体	133	15	11	10	8%	11%				
	都道府県・政令市等	95	13	9	8	8%	14%				
	市区町村	38	2	2	2	5%	5%				
	合計	207	64	59	47	23%	31%				
新潟県	国土交通省	15	13	12	6	40%		87%			
	高速道路会社	35	27	27	22	63%		77%			
	地方公共団体	33	11	9	8	24%	33%				
	都道府県・政令市等	25	10	8	7	28%	40%				
	市区町村	8	1	1	1	13%	13%				
	合計	83	51	48	36	43%	61%				
富山県	国土交通省	3	0	0	0	0%					
	高速道路会社	10	4	4	4	40%		40%			
	地方公共団体	25	3	1	1	4%	12%				
	都道府県・政令市等	13	2	0	0	0%	15%				
	市区町村	12	1	1	1	8%	8%				
	合計	38	7	5	5	13%	18%				
石川県	国土交通省	7	5	5	5			71%		71%	
	高速道路会社	4	0	0	0	0%					
	地方公共団体	75	1	1	1	1%	1%				
	都道府県・政令市等	57	1	1	1	2%	2%				
	市区町村	18	0	0	0	0%					
	合計	86	6	6	6	7%	7%				

2020年9月末時点

修繕完了率

修繕工事を完了した割合

修繕着手率

修繕（設計を含む）に着手した割合

※：1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く数。

3) 道路附属物等

① 判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕実施状況

○ 1 巡目点検で判定区分Ⅲ又はⅣと診断された道路附属物等で、2019年度までに修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省33%、高速道路会社74%、地方公共団体51%です。

		措置が必要な施設数 A	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着手済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)	着手率(B/A) 完了率(D/A)					
						0%	20%	40%	60%	80%	100%
全国	国土交通省	1,702	644	288	234	14%		38%			
	高速道路会社	411	308	282	265		64%			75%	
	地方公共団体	3,971	1,388	947	836	21%		35%			
	都道府県・政令市等	3,274	1,163	781	683	21%		36%			
	市区町村	697	225	166	153	22%		32%			
	合計	6,084	2,340	1,517	1,335	22%		38%			
北陸3県	国土交通省	224	73	54	36	16%		33%			
	高速道路会社	43	32	27	22		51%			74%	
	地方公共団体	687	350	280	234	34%		51%			
	都道府県・政令市等	642	335	271	228	36%		52%			
	市区町村	45	15	9	6	13%		33%			
	合計	954	455	361	292	31%		48%			
新潟県	国土交通省	166	47	36	19	11%		28%			
	高速道路会社	28	25	20	19		68%			89%	
	地方公共団体	437	175	136	130	30%		40%			
	都道府県・政令市等	414	165	131	128	31%		40%			
	市区町村	23	10	5	2	9%		43%			
	合計	631	247	192	168	27%		39%			
富山県	国土交通省	27	11	4	3	11%		41%			
	高速道路会社	15	7	7	3	20%		47%			
	地方公共団体	147	88	58	36	24%		60%			
	都道府県・政令市等	133	83	54	32	24%		62%			
	市区町村	14	5	4	4	29%		36%			
	合計	189	106	69	42	22%		56%			
石川県	国土交通省	31	15	14	14	45%		48%			
	高速道路会社	0	0	0	0	0%					
	地方公共団体	103	87	86	68		66%			84%	
	都道府県・政令市等	95	87	86	68		72%			92%	
	市区町村	8	0	0	0	0%					
	合計	134	102	100	82		61%			76%	

2020年9月末時点

修繕完了率 修繕工事を完了した割合 **修繕着手率** 修繕（設計を含む）に着手した割合

※：1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く数。

② 判定区分Ⅱの修繕等措置の実施状況

- 判定区分Ⅲ・Ⅳの道路附属物等の修繕等の措置（事後保全）を速やかに行い、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅱ）の予防保全に着手するべきですが、2019年度までに予防保全型の措置に着手した割合は、国土交通省11%、高速道路会社12%、地方公共団体18%と、全ての道路管理者で著しく低い状況です。

		措置が必要な施設数 A	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着手済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)	着手率(B/A) 完了率(D/A)					
						0%	20%	40%	60%	80%	100%
全国	国土交通省	6,355	492	170	164	8%					
	高速道路会社	5,652	135	130	128	2%					
	地方公共団体	8,941	636	525	471	7%					
	都道府県・政令市等	7,267	464	396	350	6%					
	市区町村	1,674	172	129	121	10%					
	合計	20,948	1,263	825	763	6%					
北陸3県	国土交通省	321	35	25	19	1%					
	高速道路会社	330	41	35	27	12%					
	地方公共団体	640	117	110	98	18%					
	都道府県・政令市等	546	102	97	85	19%					
	市区町村	94	15	13	13	16%					
	合計	1,291	193	170	144	15%					
新潟県	国土交通省	173	29	22	17	17%					
	高速道路会社	214	40	34	26	19%					
	地方公共団体	138	12	10	10	9%					
	都道府県・政令市等	92	7	7	7	8%					
	市区町村	46	5	3	3	1%					
	合計	525	81	66	53	15%					
富山県	国土交通省	47	4	1	0	9%					
	高速道路会社	107	1	1	1	1%					
	地方公共団体	330	20	17	17	6%					
	都道府県・政令市等	295	10	7	7	3%					
	市区町村	35	10	10	10	29%		29%			
	合計	484	25	19	18	5%					
石川県	国土交通省	101	2	2	2	2%					
	高速道路会社	9	0	0	0	0%					
	地方公共団体	172	85	83	71	49%					
	都道府県・政令市等	159	85	83	71	53%					
	市区町村	13	0	0	0	0%					
	合計	282	87	85	73	31%					

2020年9月末時点

修繕完了率

修繕工事を完了した割合

修繕着手率

修繕（設計を含む）に着手した割合

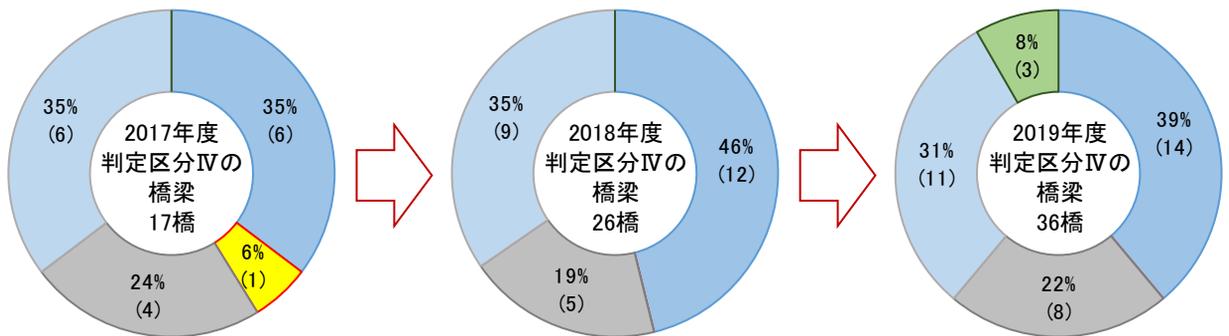
※：1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く数。

(2) 判定区分Ⅳの施設の措置状況

- 2019年度末時点で判定区分Ⅳと診断された橋梁は36橋となり、前年度末より10橋増加しており、その対策として撤去又は廃止された橋梁も14橋（予定を含む）と前年度末より5橋増加しています。
- 老朽化した道路インフラの適正な維持管理を行っていく上でも、ライフサイクルコストや地域の状況を踏まえて、必要に応じて集約化・撤去などにより合理化を図っていく必要があります。

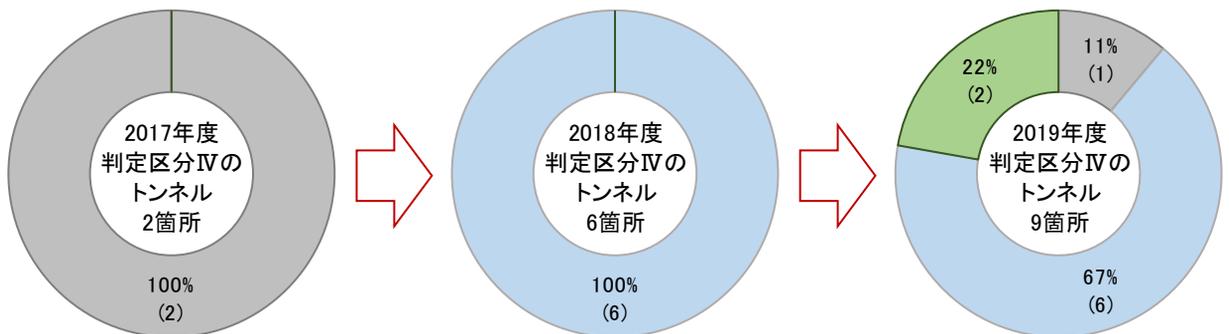
① 判定区分Ⅳの橋梁の措置状況（予定含む）

■ 修繕・架替
 ■ 機能転換
 ■ 対応未定
 ■ 撤去・廃止中（予定含む）
 ■ 撤去・廃止済等



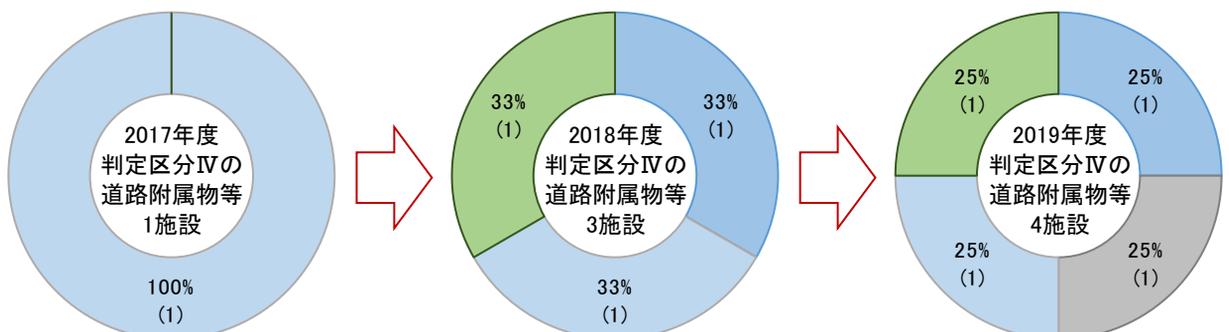
② 判定区分Ⅳのトンネルの措置状況（予定含む）

■ 修繕
 ■ 対応未定
 ■ 撤去・廃止中（予定含む）
 ■ 撤去・廃止済等



③ 判定区分Ⅳの道路附属物等の措置状況（予定含む）

■ 修繕・更新
 ■ 対応未定
 ■ 撤去・廃止中（予定含む）
 ■ 撤去・廃止済等



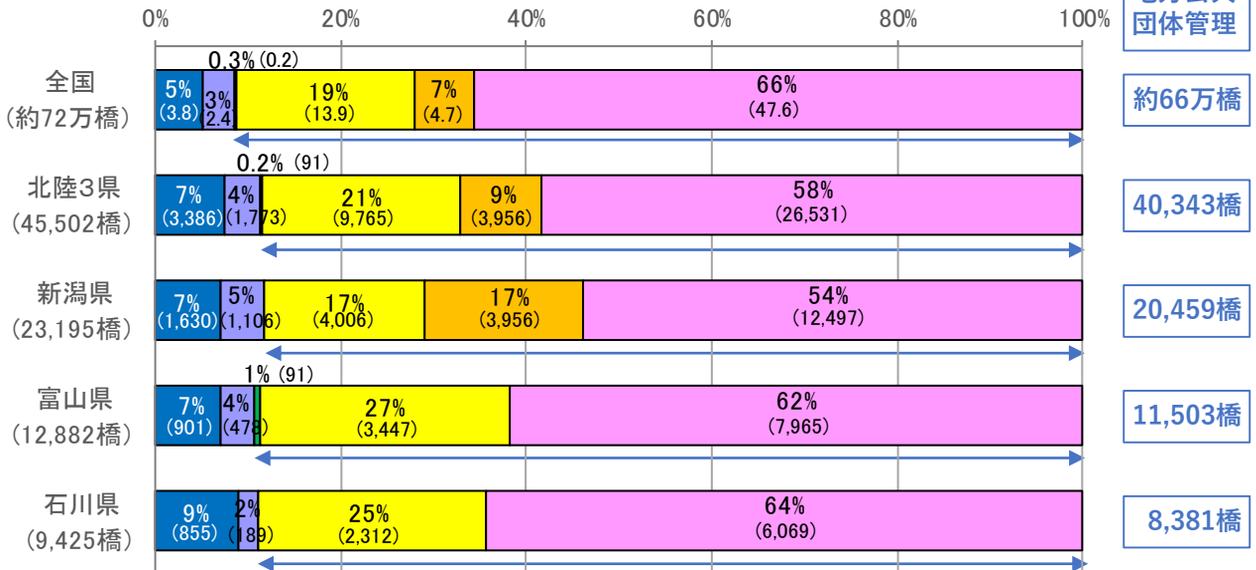
4. 橋梁・トンネル・シェッドの現状

(1) 橋梁の現状

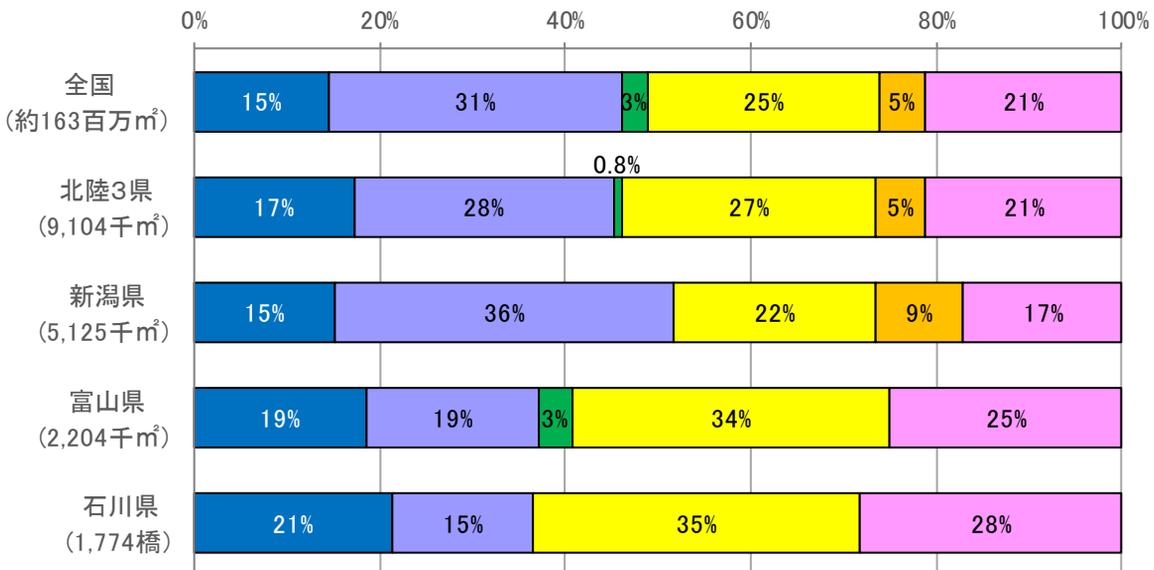
1) 管理者別の橋梁数、橋面積

○ 北陸地方には橋梁が約4万6千橋あり、このうち、地方公共団体が管理する橋梁は約4万橋と、約9割を占めています。

① 道路管理者別橋梁数

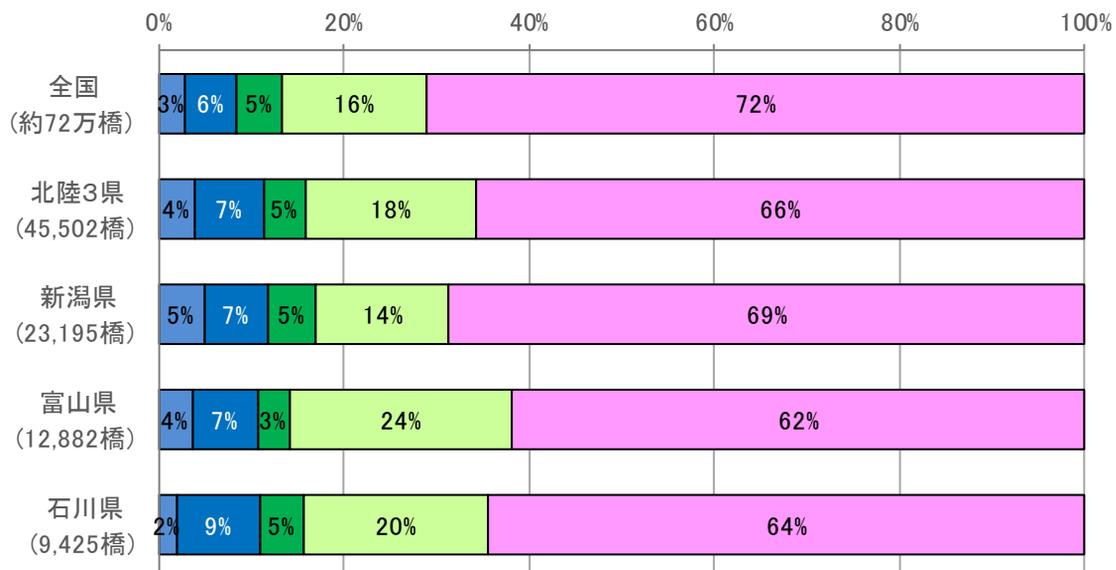


② 道路管理者別橋面積

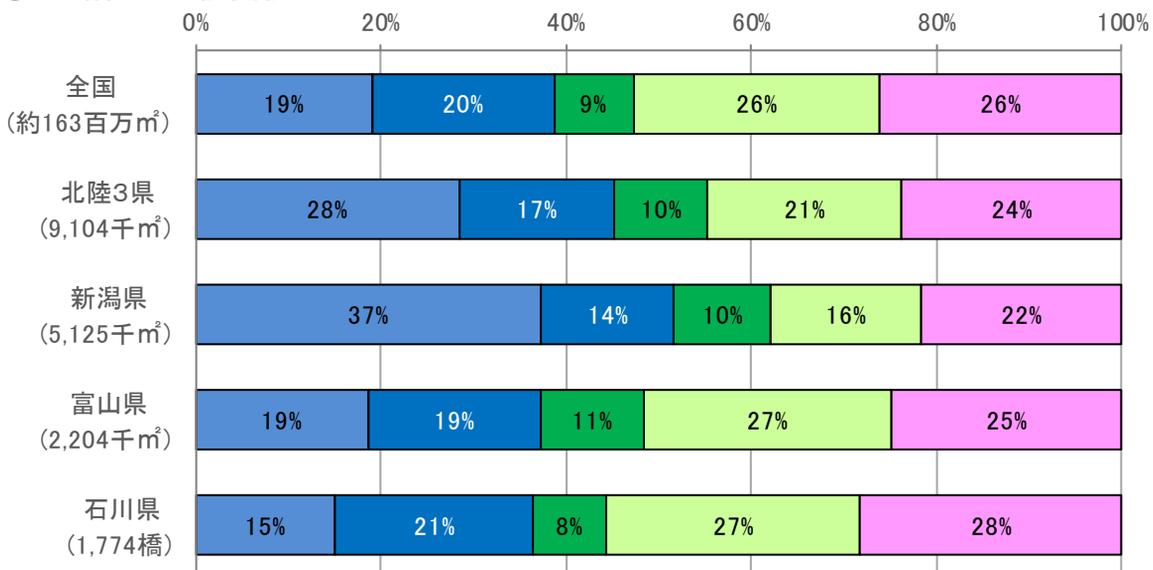


■ 国土交通省 ■ 高速道路会社 ■ 道路公社 ■ 都道府県 ■ 政令市 ■ 市町村

③ 道路種別別橋梁数



④ 道路種別別橋面積



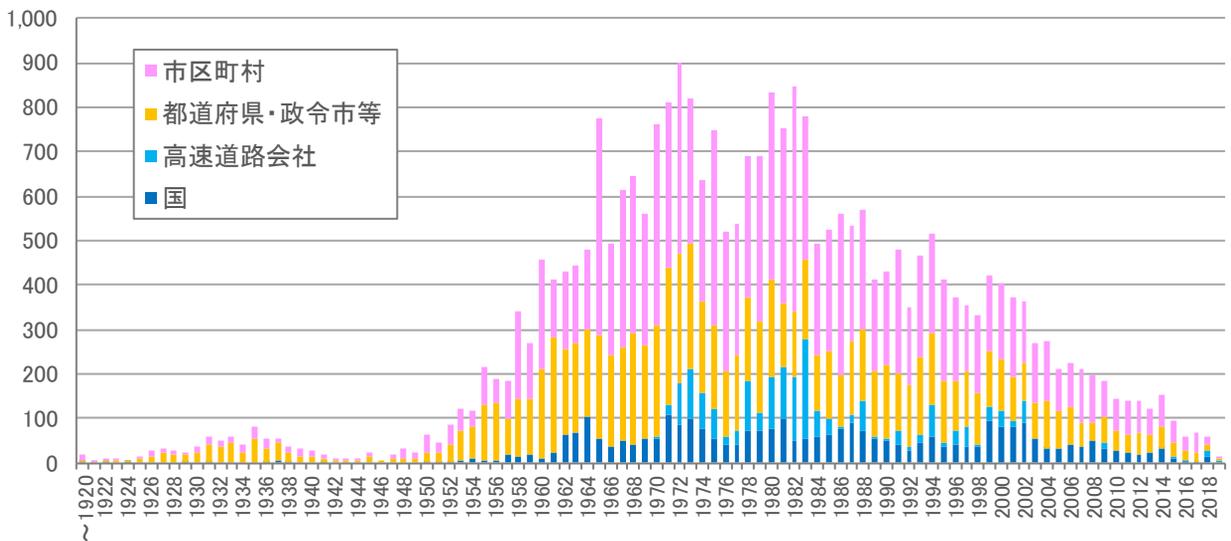
■ 高速自動車国道
 ■ 直轄国道
 ■ 補助国道
 ■ 都道府県道
 ■ 市町村道

2) 建設年度別の橋梁数

- 建設後50年を経過した橋梁の割合は、現在は約29%であるのに対し、10年後には約54%に急増します。建設後50年を経過し橋長15m未満の橋梁は、10年後に約60%となります。橋長15m以上の橋梁の割合は、10年後に約45%となります。
- この他に建設年度が不明の橋梁が北陸3県に約1万7千橋あり、これらの大半が市町村管理の15m未満の橋梁です。

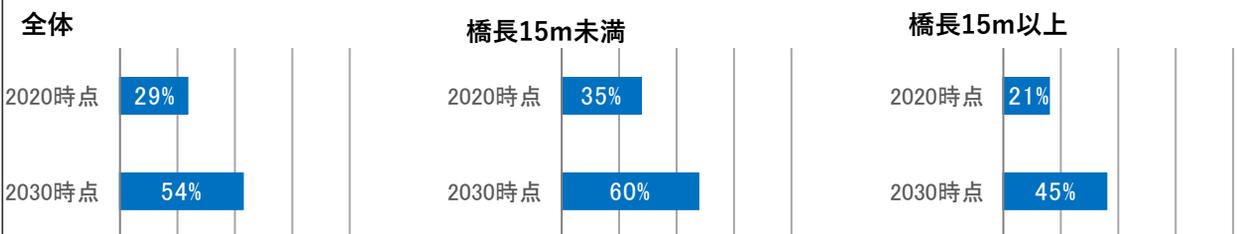
■ 北陸3県

① 建設年度別橋梁数



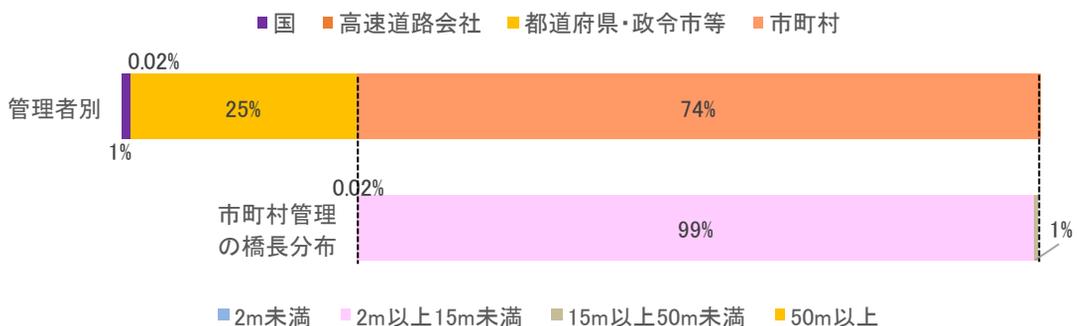
※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約1万7千橋ある

② 建設後50年を経過した橋梁の割合



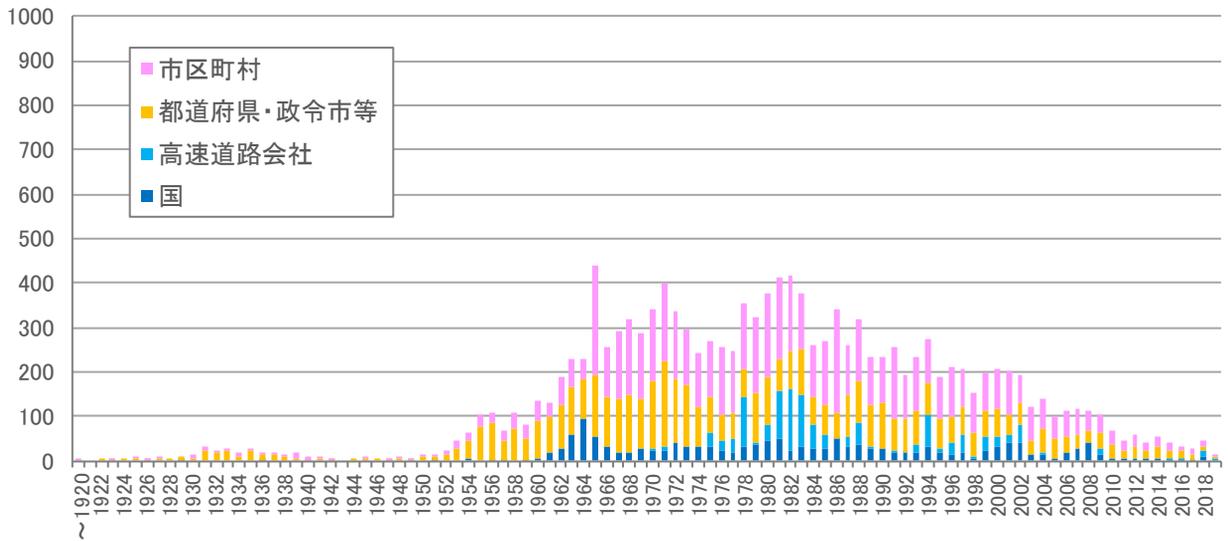
※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約1万7千橋ある

③ 建設年度不明橋梁の内訳



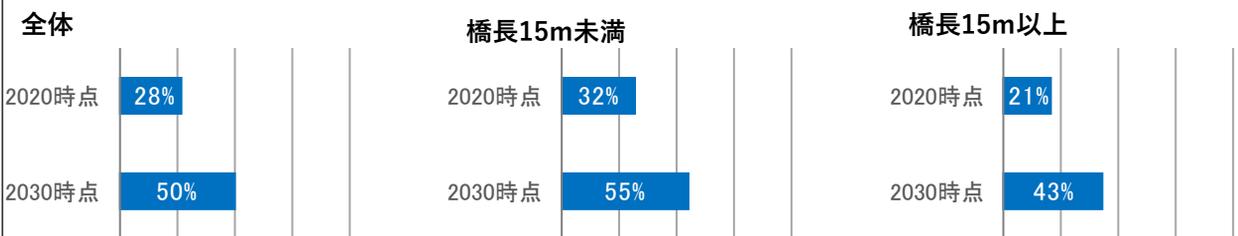
■ 新潟県

① 建設年度別橋梁数



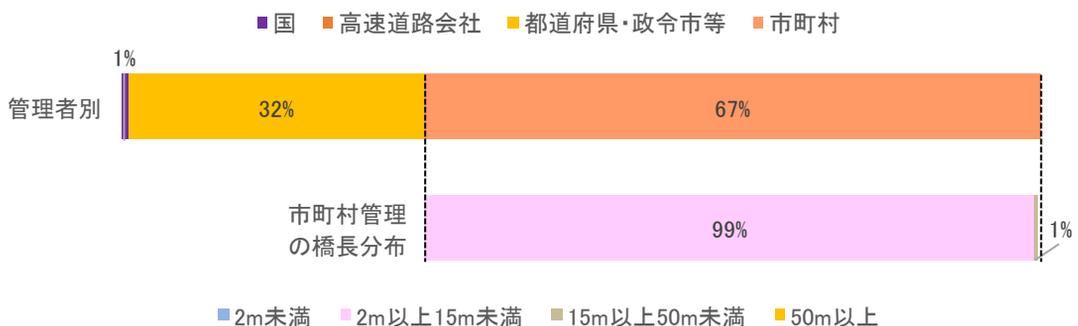
※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約9千橋ある

② 建設後50年を経過した橋梁の割合



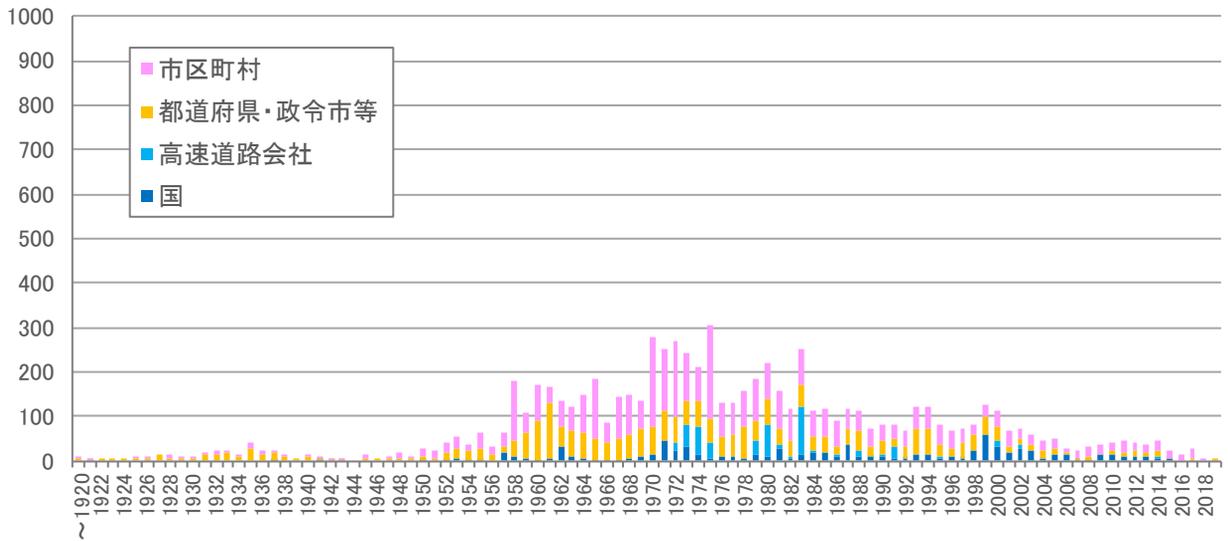
※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約9千橋ある

③ 建設年度不明橋梁の内訳



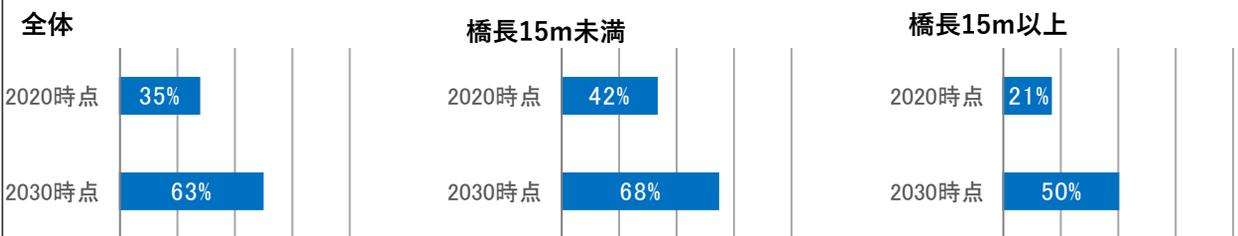
■ 富山県

① 建設年度別橋梁数



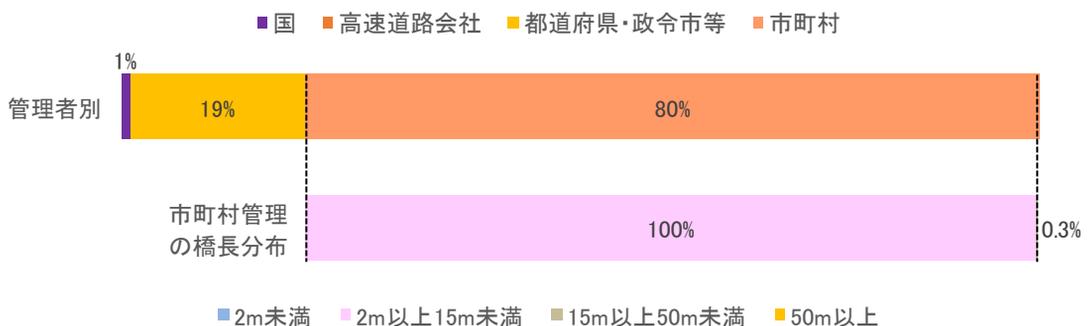
※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約5千橋ある

② 建設後50年を経過した橋梁の割合



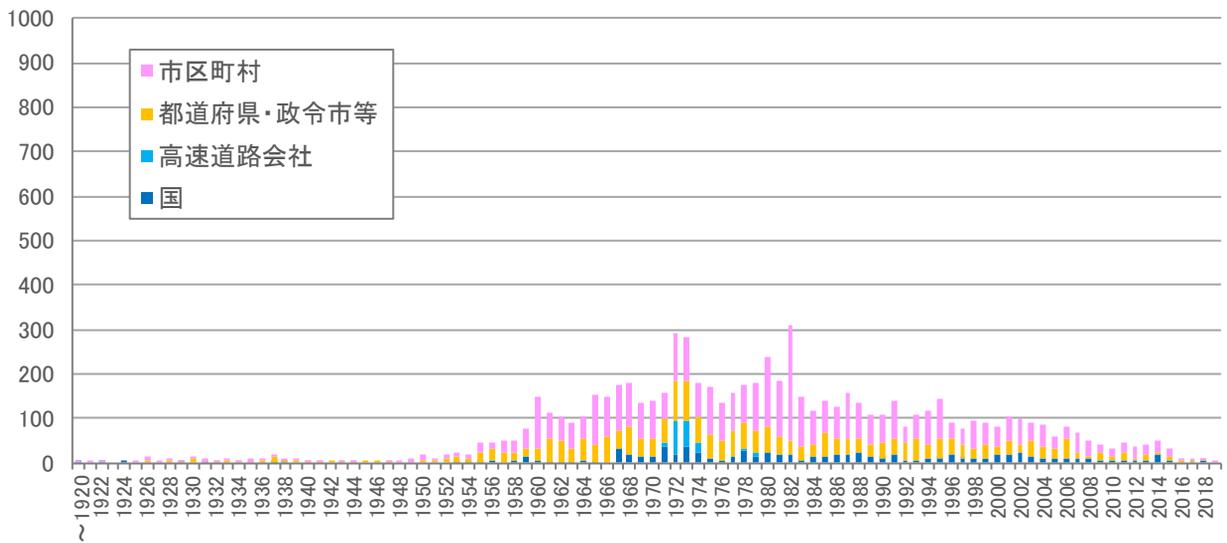
※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約5千橋ある

③ 建設年度不明橋梁の内訳



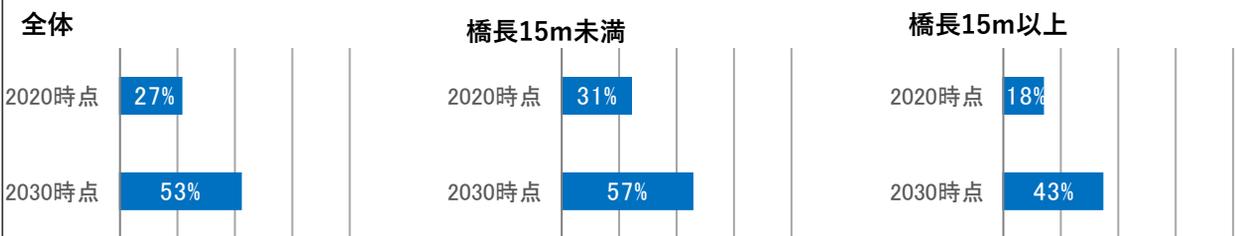
■ 石川県

① 建設年度別橋梁数



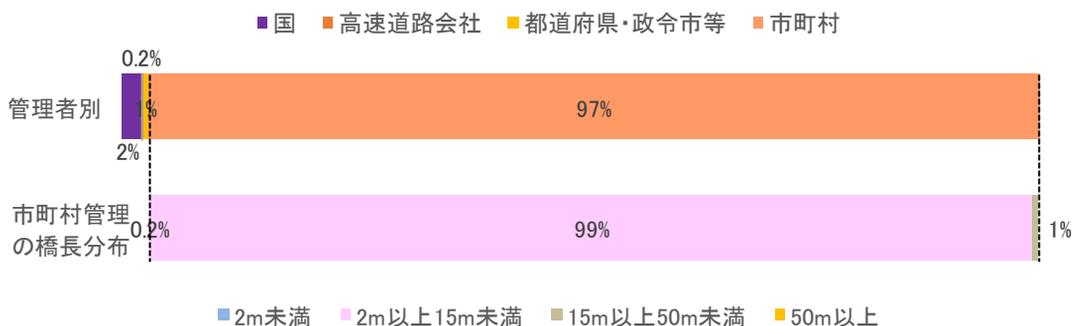
※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約2千橋ある

② 建設後50年を経過した橋梁の割合



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約2千橋ある

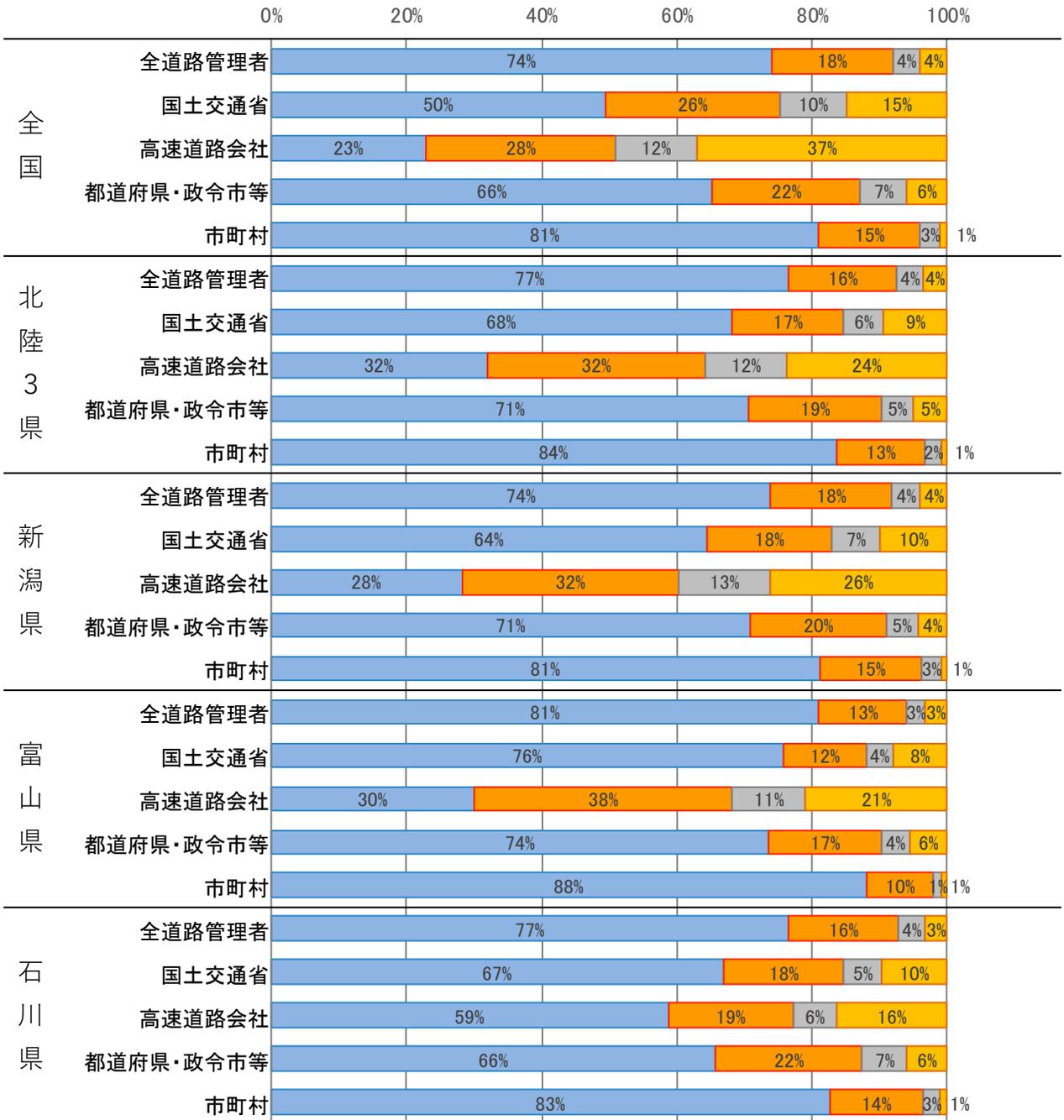
③ 建設年度不明橋梁の内訳



3) 管理者別の橋長分布

- 橋長50m以上の橋梁は国土交通省、高速道路会社に多くなっています。
- 市町村は管理する橋梁の80%以上が橋長15m未満です。一方、市町村が管理する橋梁のうち、最優先で点検すべきとされている緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋や跨線橋は90%以上が橋長15m以上です。

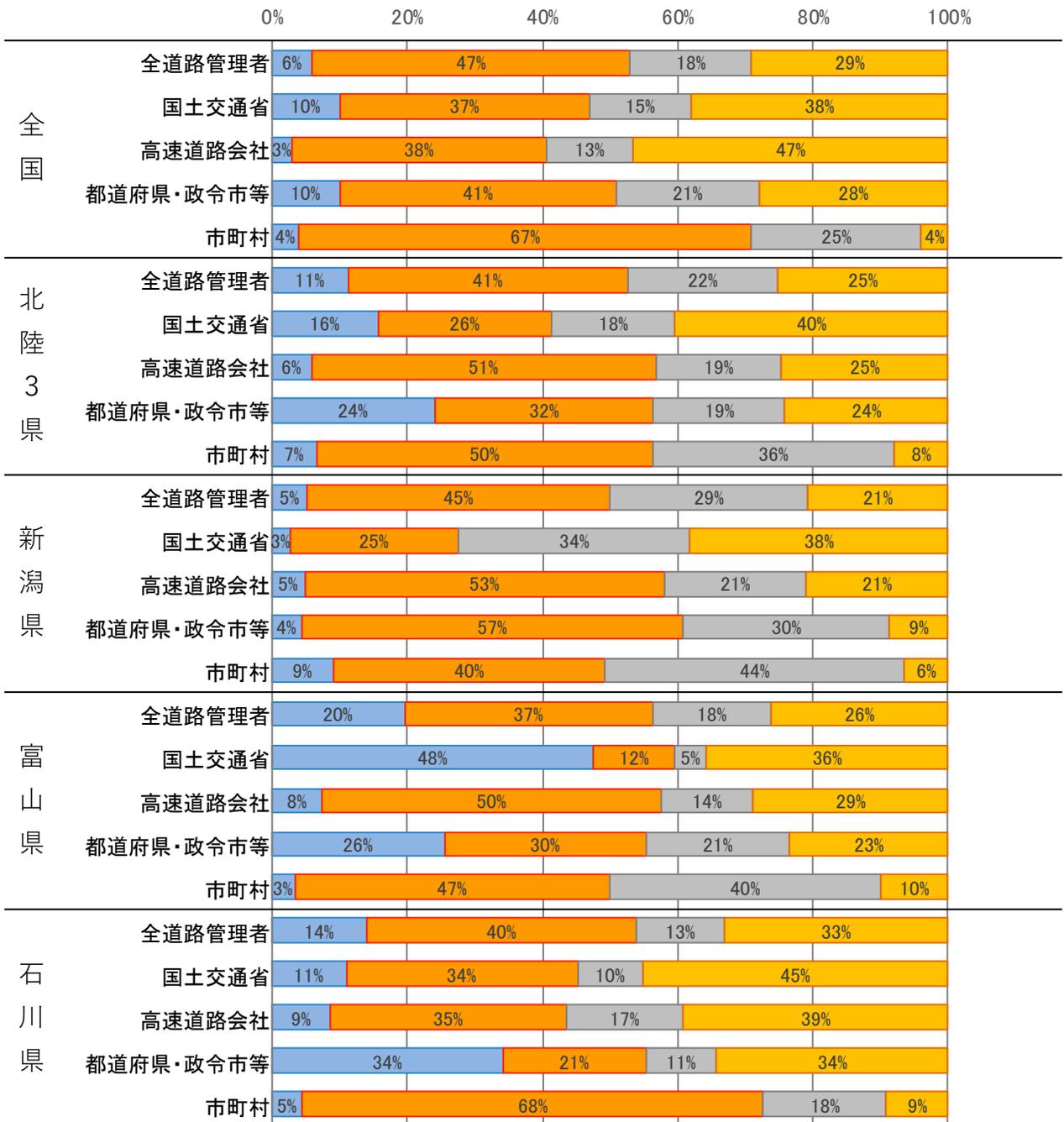
① 管理者別の橋長分布



■ 2m以上15m未満 ■ 15m以上50m未満 ■ 50m以上100m未満 ■ 100m以上

※橋長に関して情報がなかった橋梁を除く

② 管理者別の橋長分布（緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋）



■ 2m以上15m未満

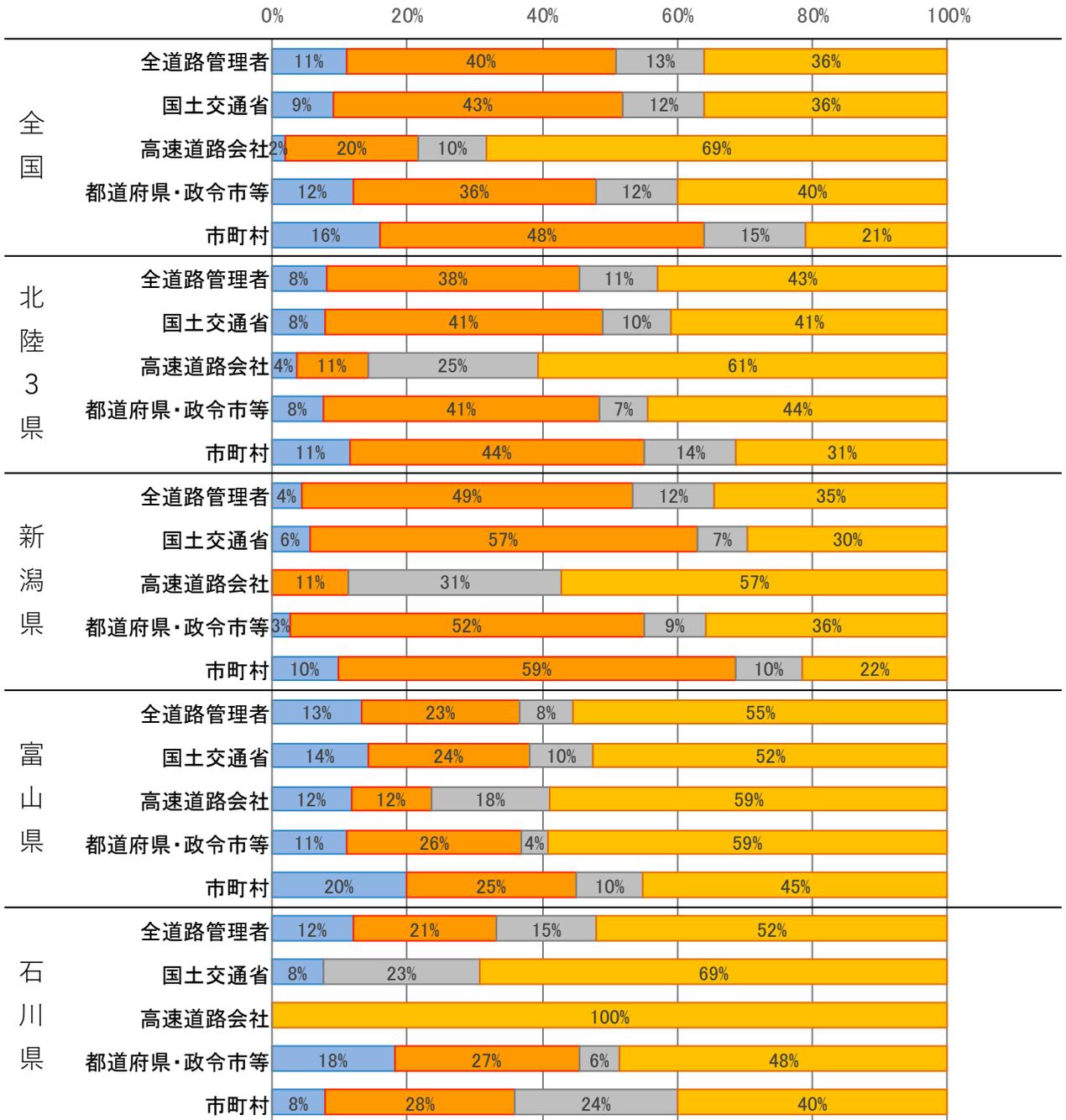
■ 15m以上50m未満

■ 50m以上100m未満

■ 100m以上

※橋長に関して情報がなかった橋梁を除く

③ 管理者別の橋長分布（跨線橋）



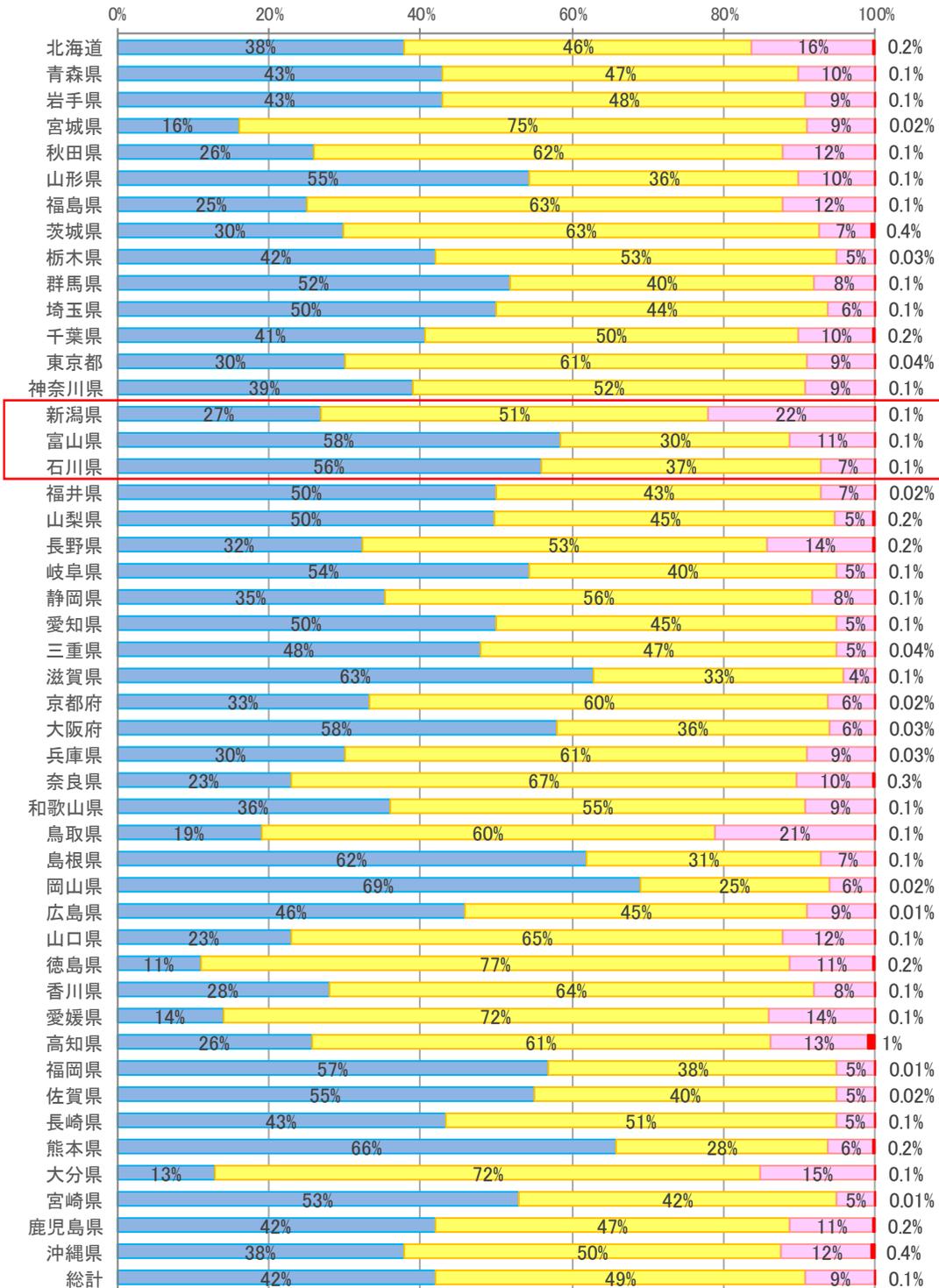
■ 2m以上15m未満 ■ 15m以上50m未満 ■ 50m以上100m未満 ■ 100m以上

※橋長に関して情報がなかった橋梁を除く

4) 地方公共団体の点検結果の分布 (2014~2019年度橋梁)

- 地方公共団体 (都道府県・政令市等及び市区町村) の2014~2019年度点検実施橋梁の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 地方公共団体全体の判定区分の割合は、I 42%、II 49%、III 9%、IV 0.1%です。

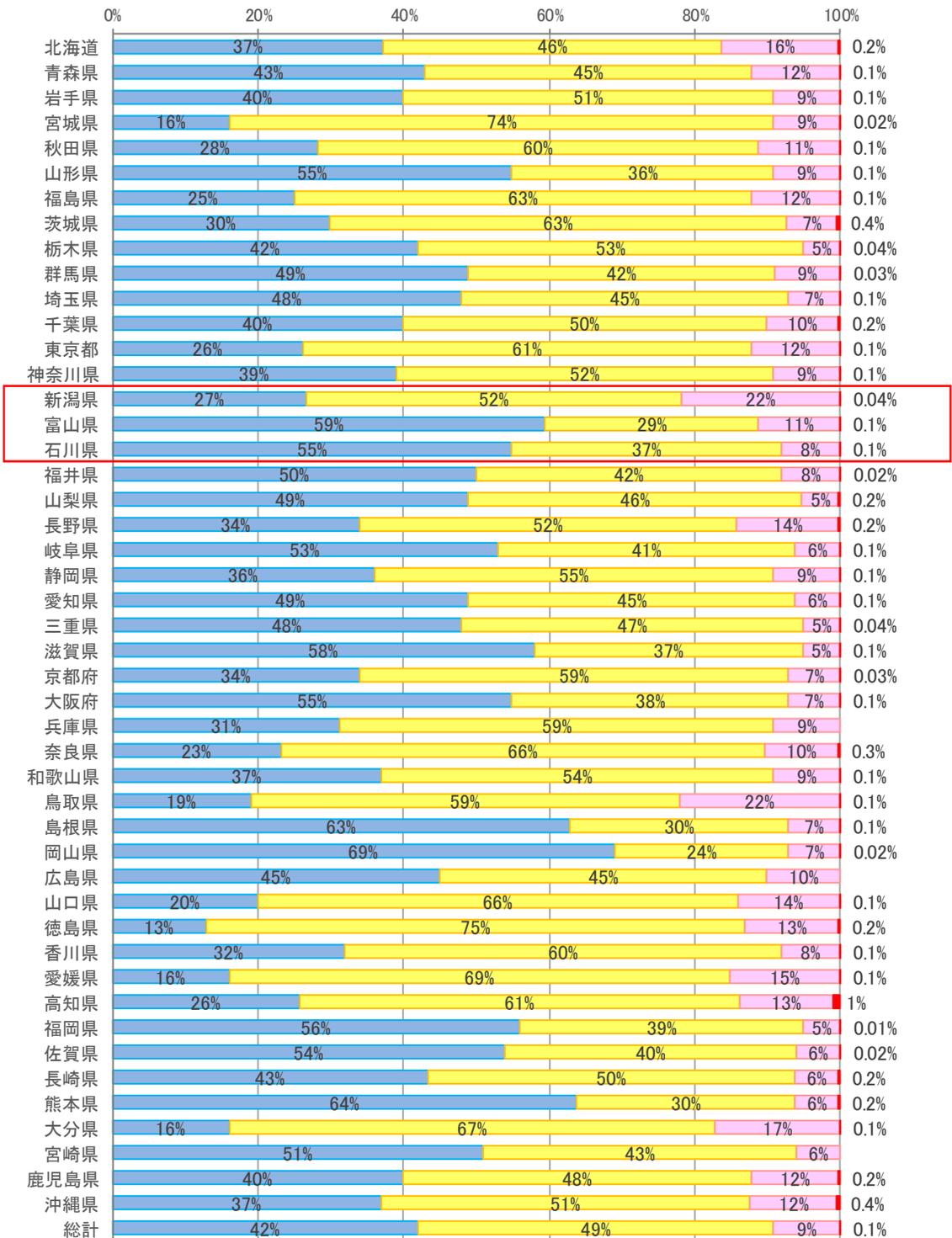
① 都道府県別判定区分の割合 (地方公共団体管理橋梁)



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※都道府県内管理橋梁数(2020.3)のうち2014~2019年度の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検における都道府県別判定区分の割合 (地方公共団体管理橋梁)



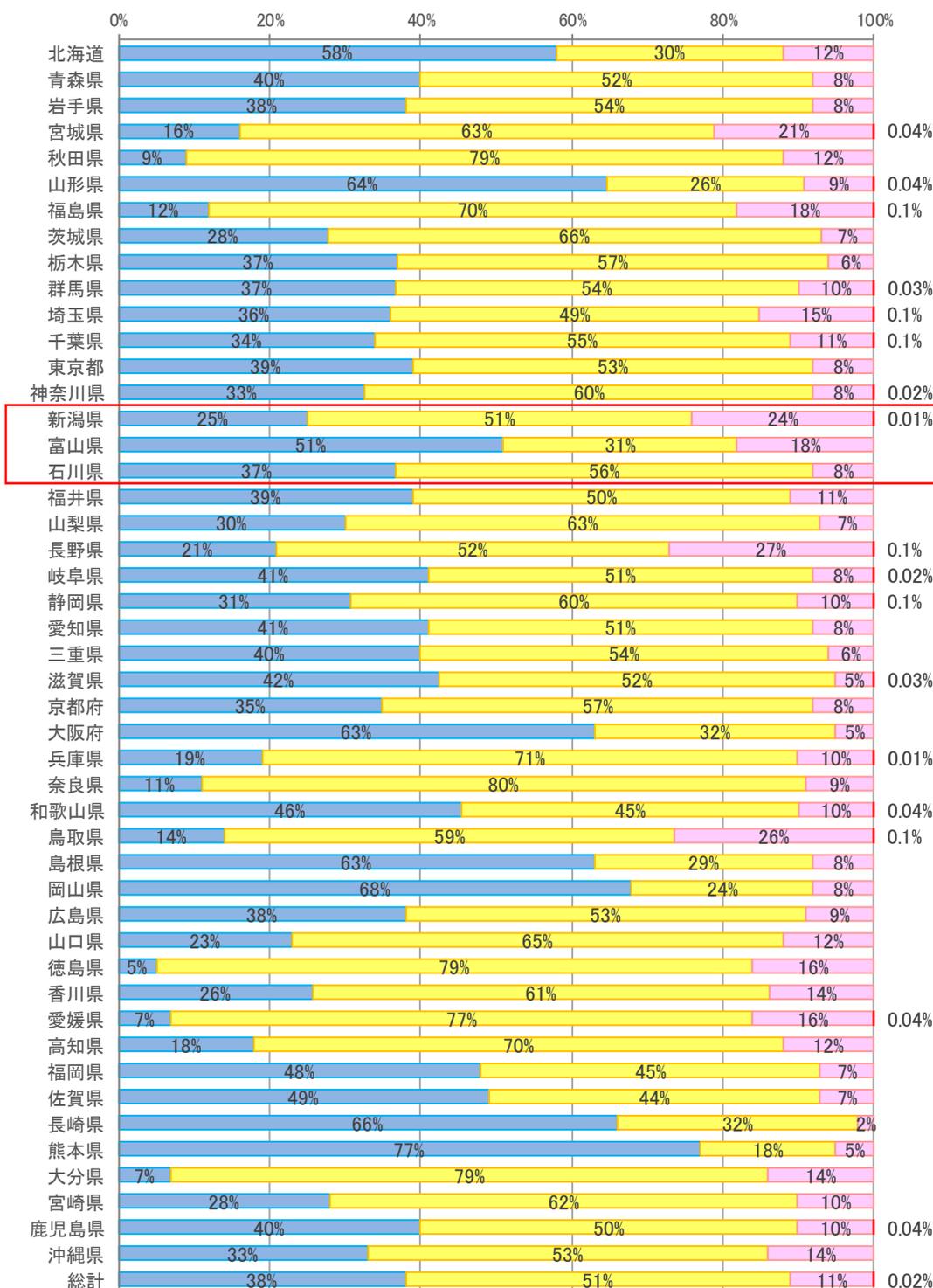
■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※都道府県内管理橋梁数(2020.3)のうち2014~2019年度の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

5) 都道府県・政令市等の点検結果の分布 (2014~2019年度橋梁)

- 都道府県・政令市等の2014~2019年度点検実施橋梁の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 都道府県・政令市等全体の判定区分の割合は、Ⅰ 38%、Ⅱ 51%、Ⅲ 11%、Ⅳ 0.02%です。

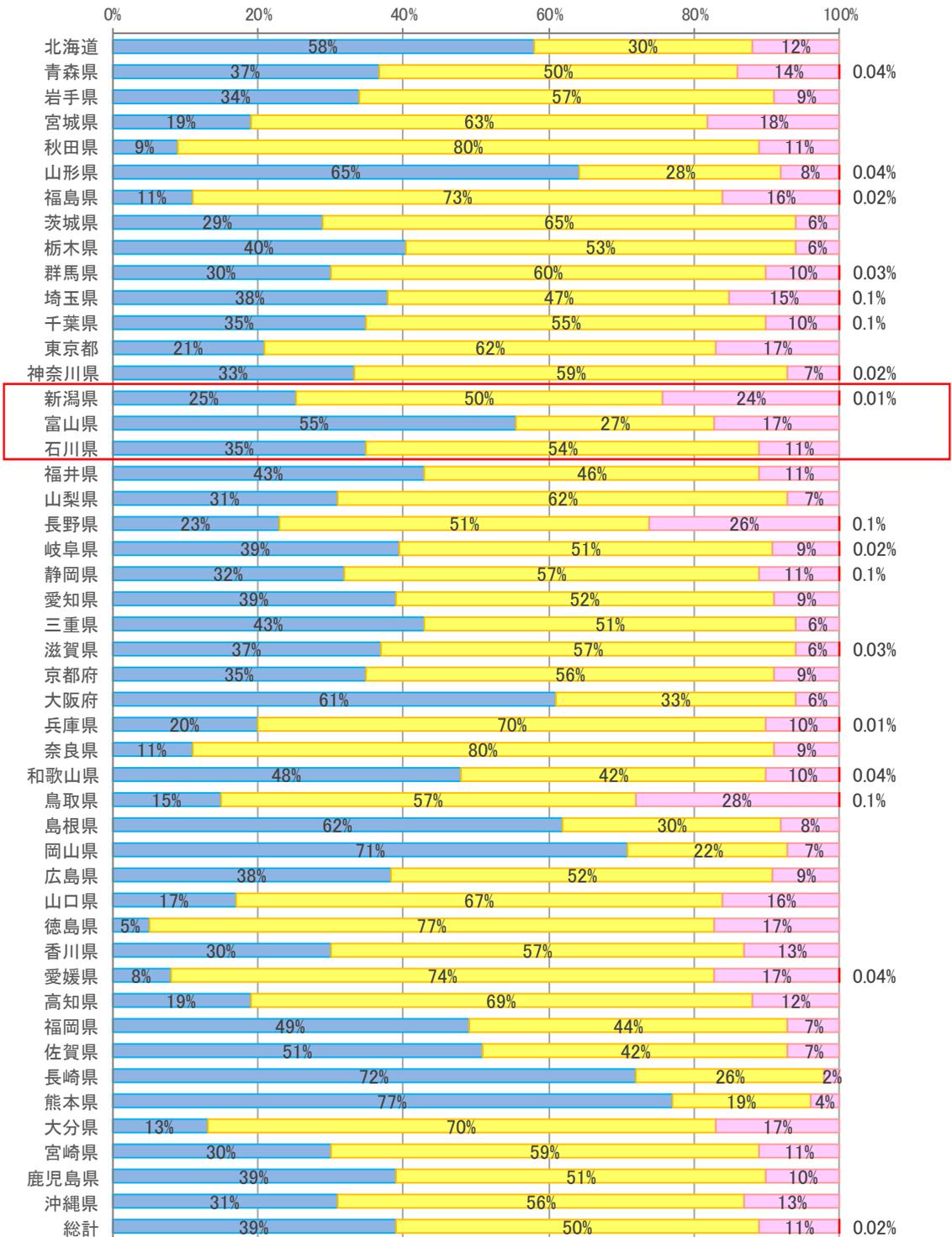
① 都道府県別判定区分の割合 (都道府県・政令市等管理橋梁)



■ Ⅰ : 健全 ■ Ⅱ : 予防保全段階 ■ Ⅲ : 早期措置段階 ■ Ⅳ : 緊急措置段階

※都道府県内管理橋梁数(2020.3)のうち2014~2019年度の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1巡目点検における都道府県別判定区分の割合 (都道府県・政令市等管理橋梁)



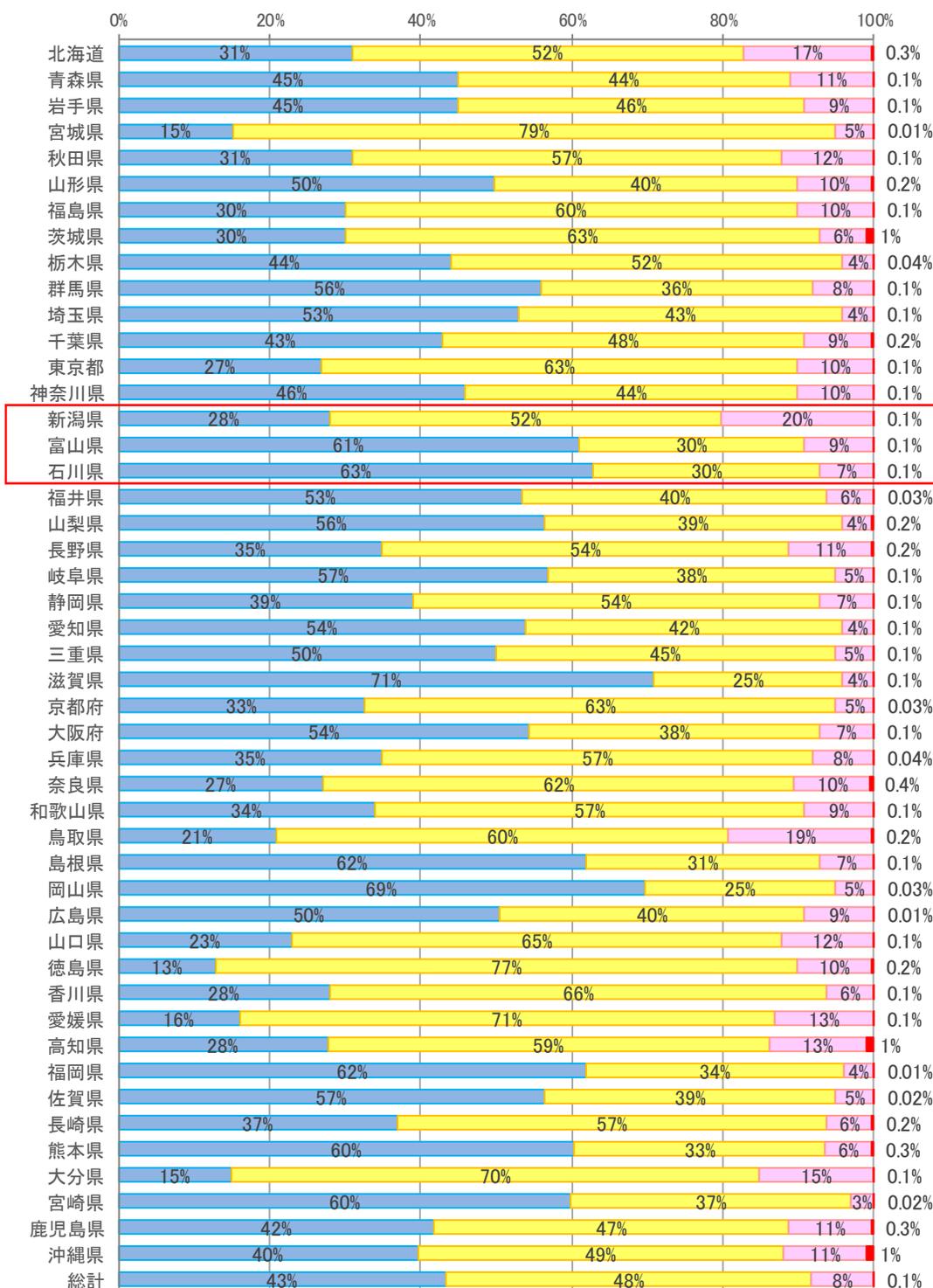
■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※都道府県内管理橋梁数(2020.3)のうち2014~2019年度の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

6) 市町村の点検結果の分布 (2014~2019年度橋梁)

- 市区町村の2014~2019年度点検実施橋梁の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 市区町村全体の判定区分の割合は、Ⅰ 43%、Ⅱ 48%、Ⅲ 8%、Ⅳ 0.1%です。

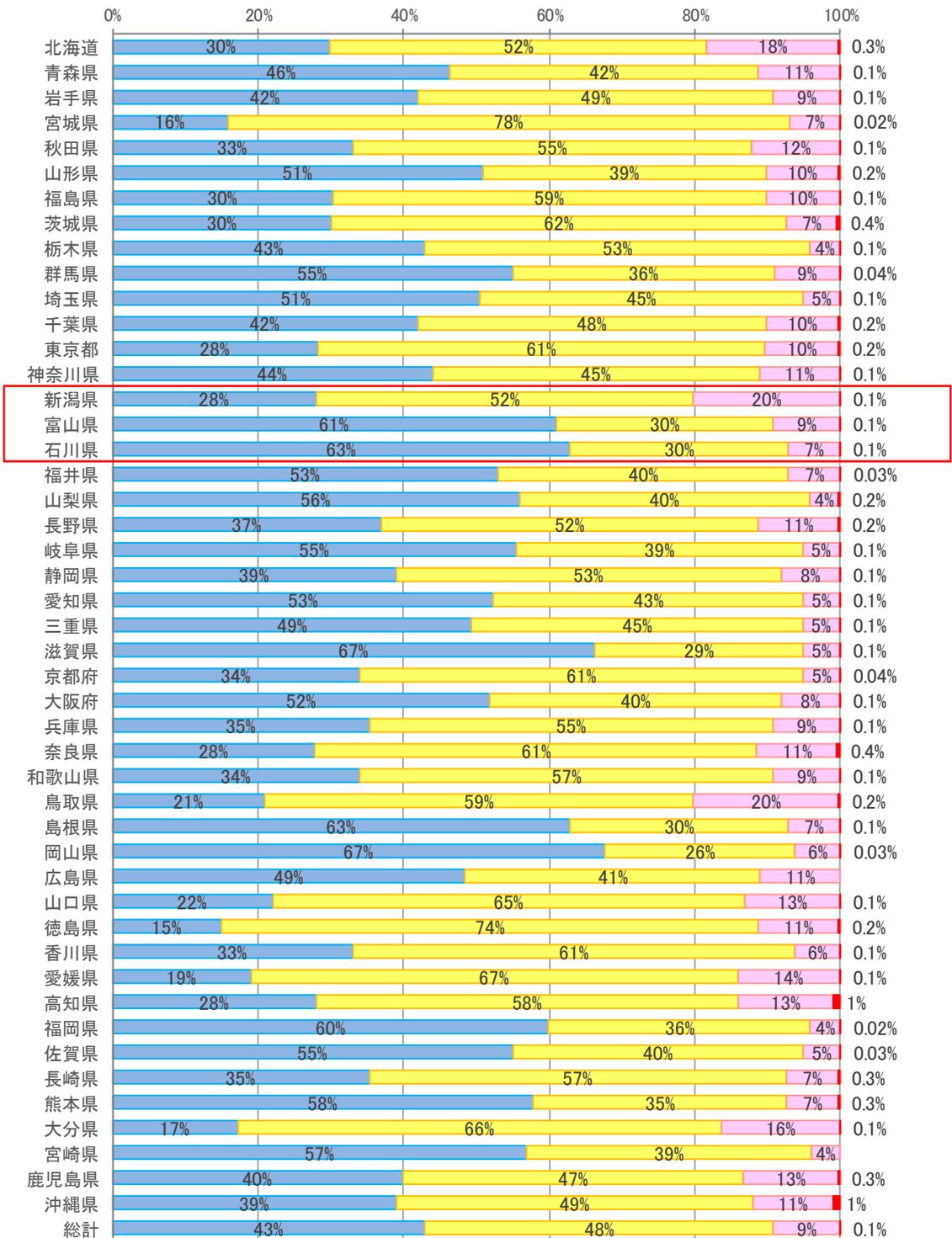
① 都道府県別判定区分の割合 (市町村管理橋梁)



■ Ⅰ : 健全 ■ Ⅱ : 予防保全段階 ■ Ⅲ : 早期措置段階 ■ Ⅳ : 緊急措置段階

※都道府県内管理橋梁数(2020.3)のうち2014~2019年度の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1巡目点検における都道府県別判定区分の割合 (市町村管理橋梁)



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

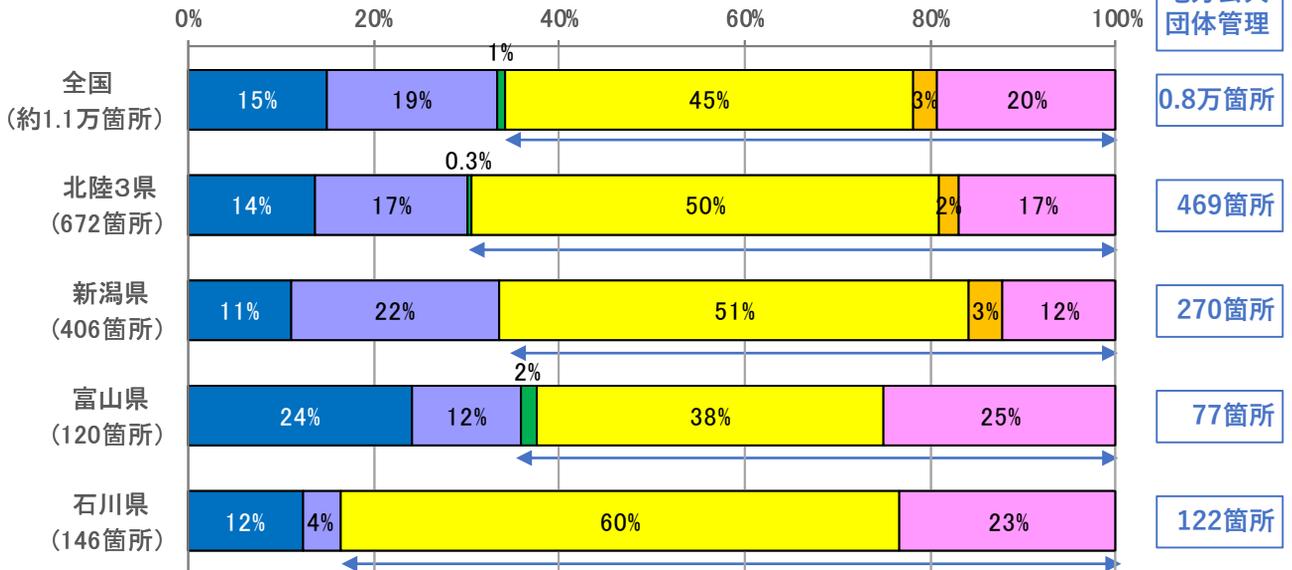
※都道府県内管理橋梁数(2020.3)のうち2014~2019年度の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(2) トンネルの現状

1) 管理者別の箇所数

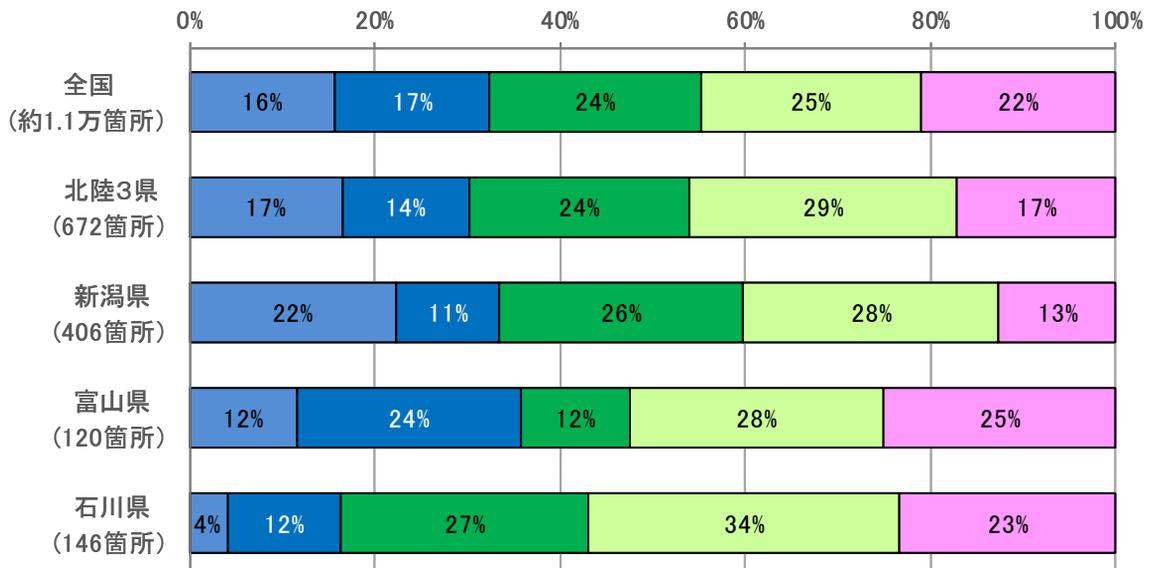
○ 北陸地方にはトンネルが約700箇所あり、このうち、地方公共団体が管理するトンネルは約500箇所と、約7割を占めています。

① 道路管理者別



■ 国土交通省 ■ 高速道路会社 ■ 道路公社 ■ 都道府県 ■ 政令市 ■ 市町村

② 道路種別



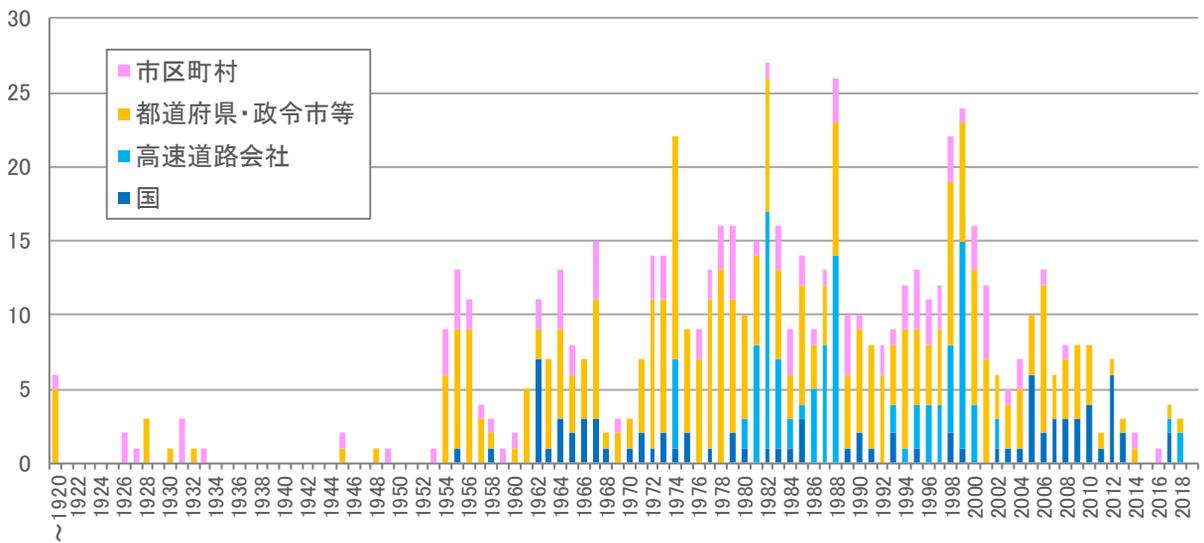
■ 高速自動車国道 ■ 直轄国道 ■ 補助国道 ■ 都道府県道 ■ 市町村道

2) 建設年度別のトンネル数

- 建設後50年を経過したトンネルの割合は、現在は約21%であるのに対し、10年後には約41%に増加します。建設後50年を経過し延長100m未満のトンネルの割合は、10年後に約82%となります。延長100m以上のトンネルの割合は、10年後に約32%となります。

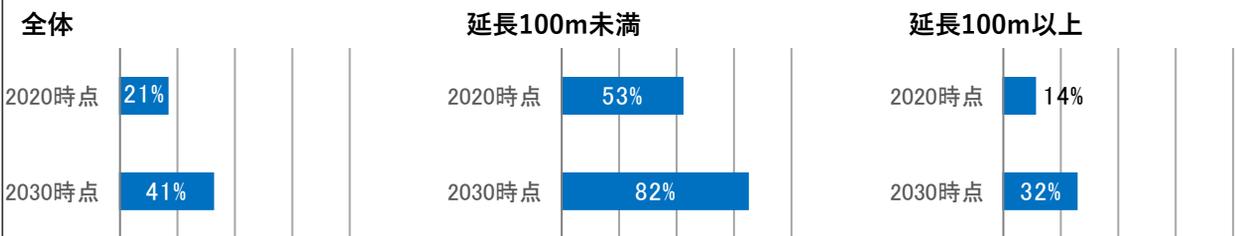
■ 北陸3県

① 建設年度別トンネル数



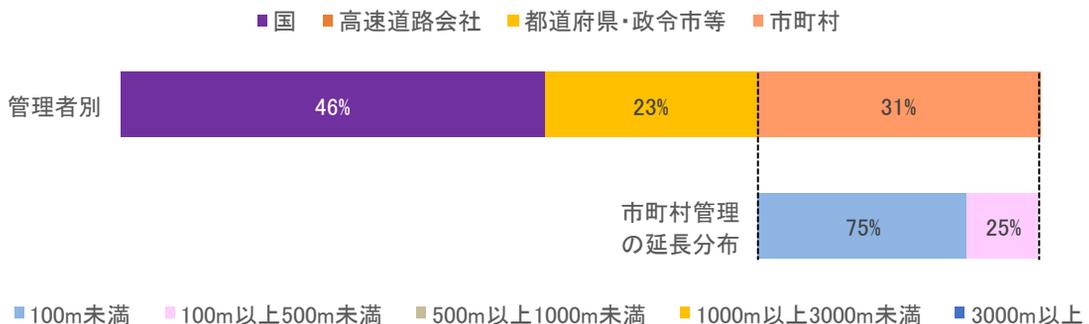
※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが13箇所ある。

② 建設後50年を経過したトンネルの割合



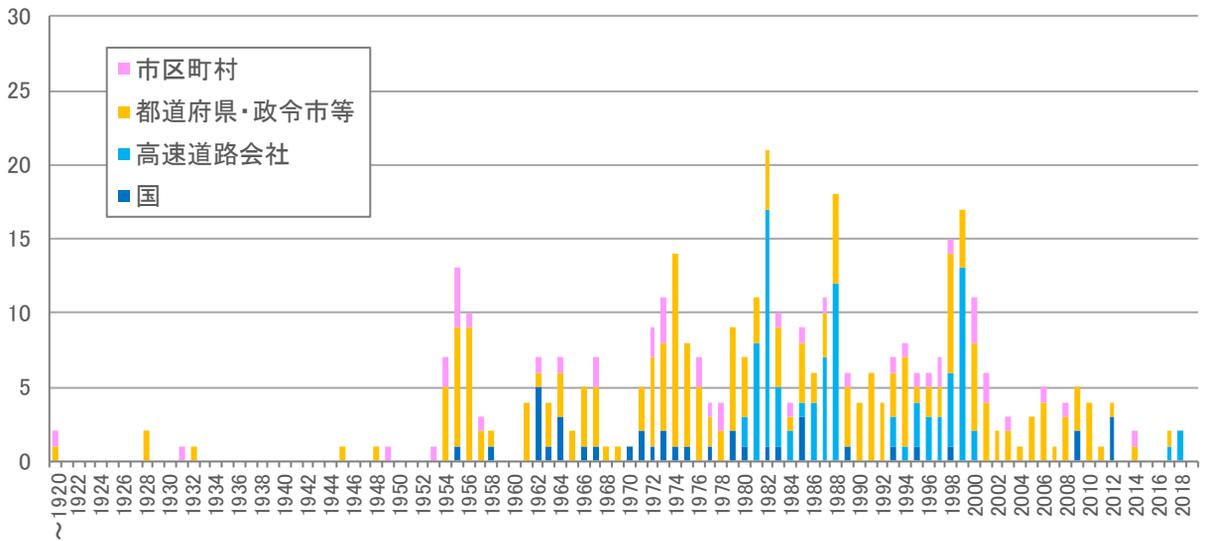
※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが13箇所ある。

③ 建設年度不明トンネルの内訳



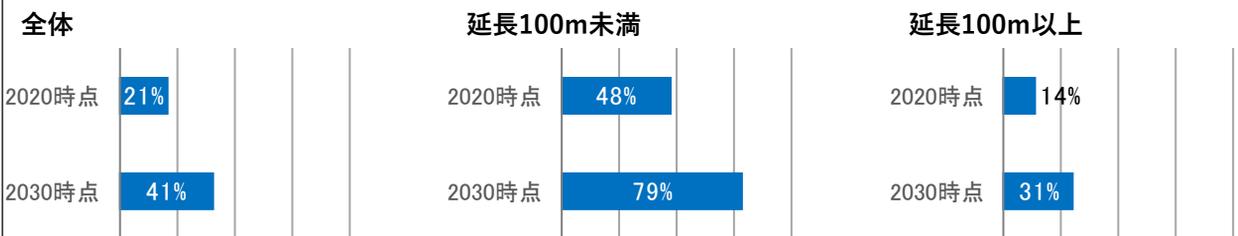
■ 新潟県

① 建設年度別トンネル数



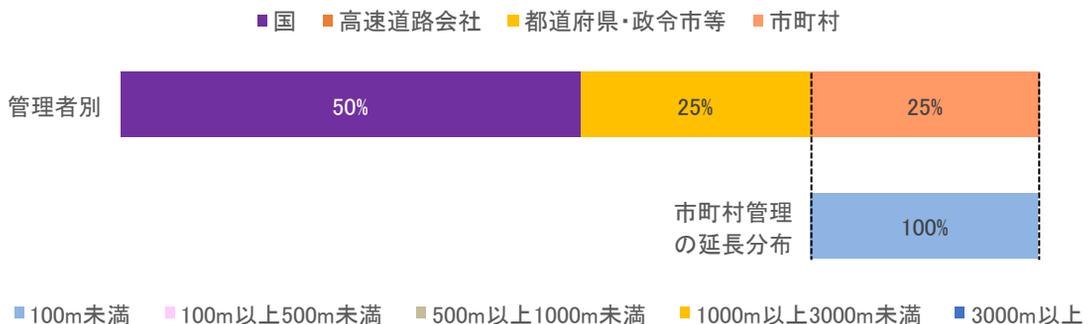
※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが12箇所ある。

② 建設後50年を経過したトンネルの割合



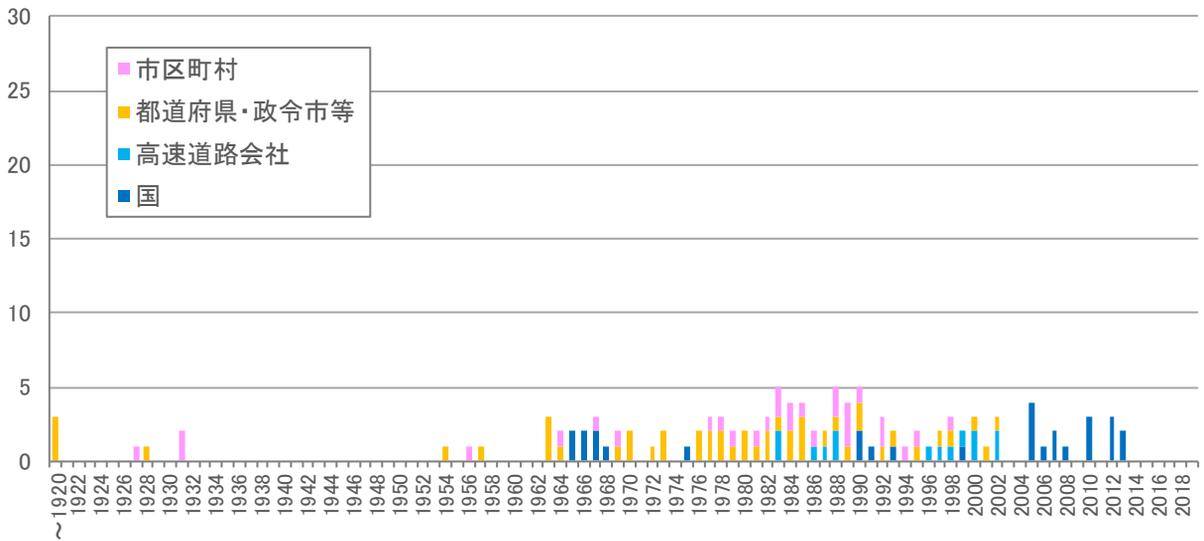
※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが12箇所ある。

③ 建設年度不明トンネルの内訳



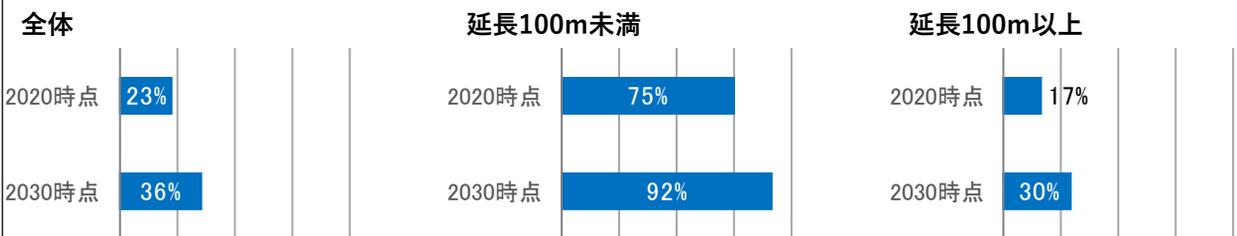
■ 富山県

① 建設年度別トンネル数



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが1箇所ある。

② 建設後50年を経過したトンネルの割合



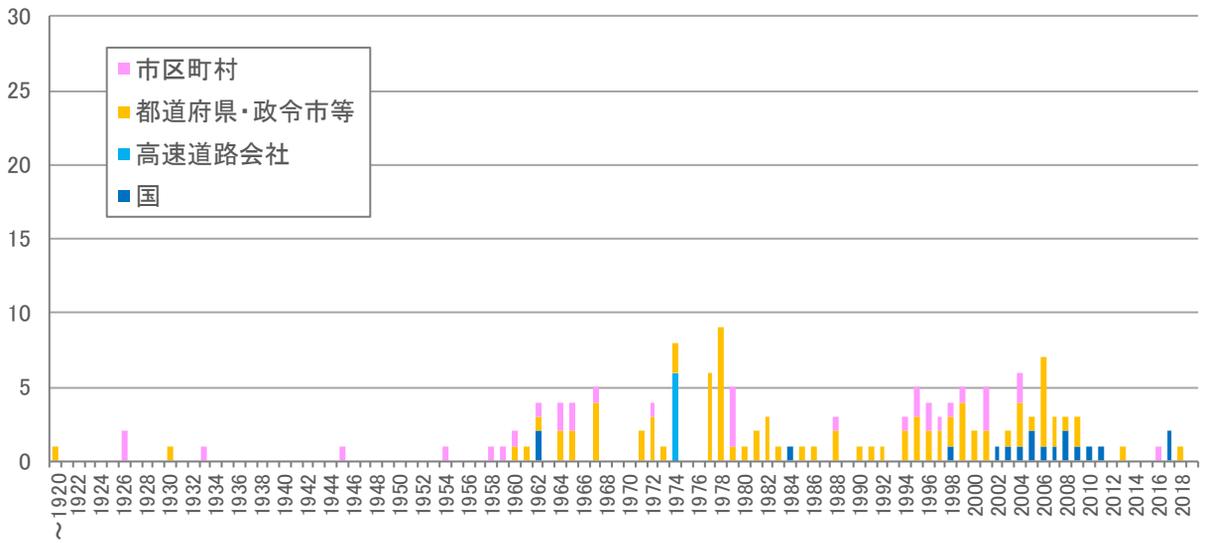
※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが1箇所ある。

③ 建設年度不明トンネルの内訳

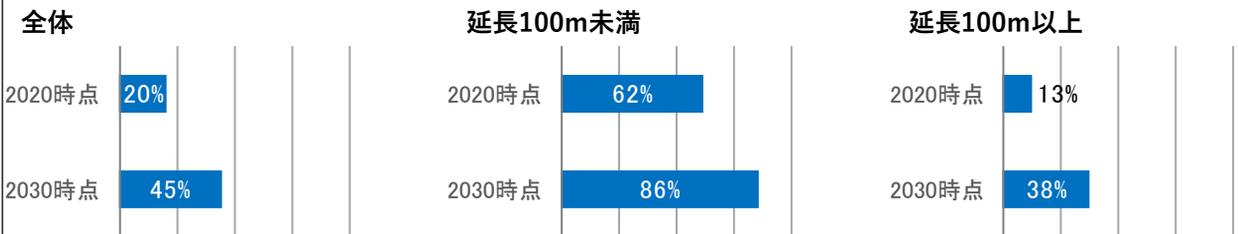
建設年度不明のトンネル
1箇所のみ (市町村管理)

■ 石川県

① 建設年度別トンネル数



② 建設後50年を経過したトンネルの割合



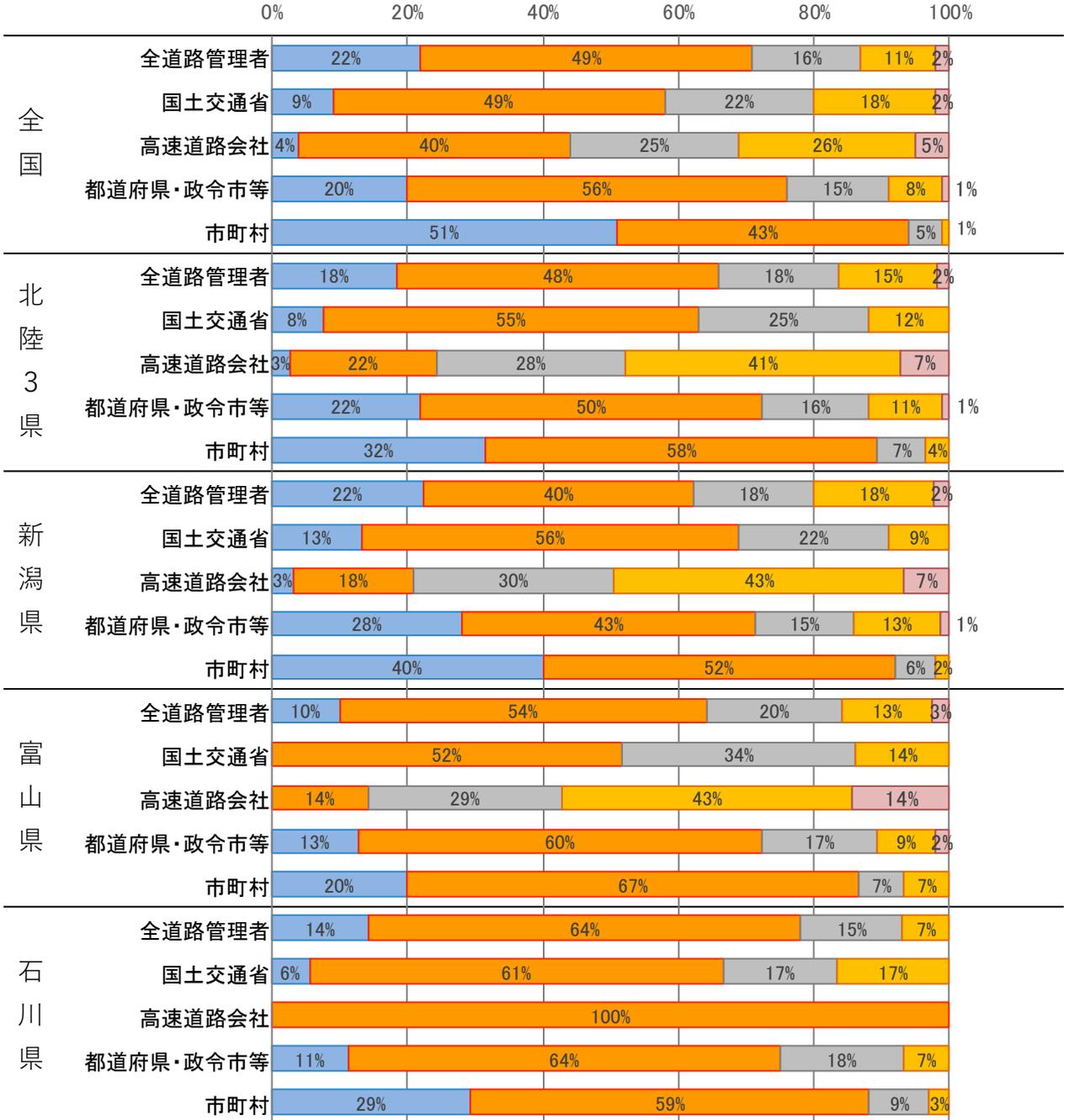
③ 建設年度不明トンネルの内訳

建設年度不明のトンネルなし

3) 管理者別の延長分布

- 延長1000m以上のトンネルは高速道路会社に多くなっています。
- 北陸の市町村は管理するトンネルの約30%が延長100m未満です。

① 管理者別の延長分布



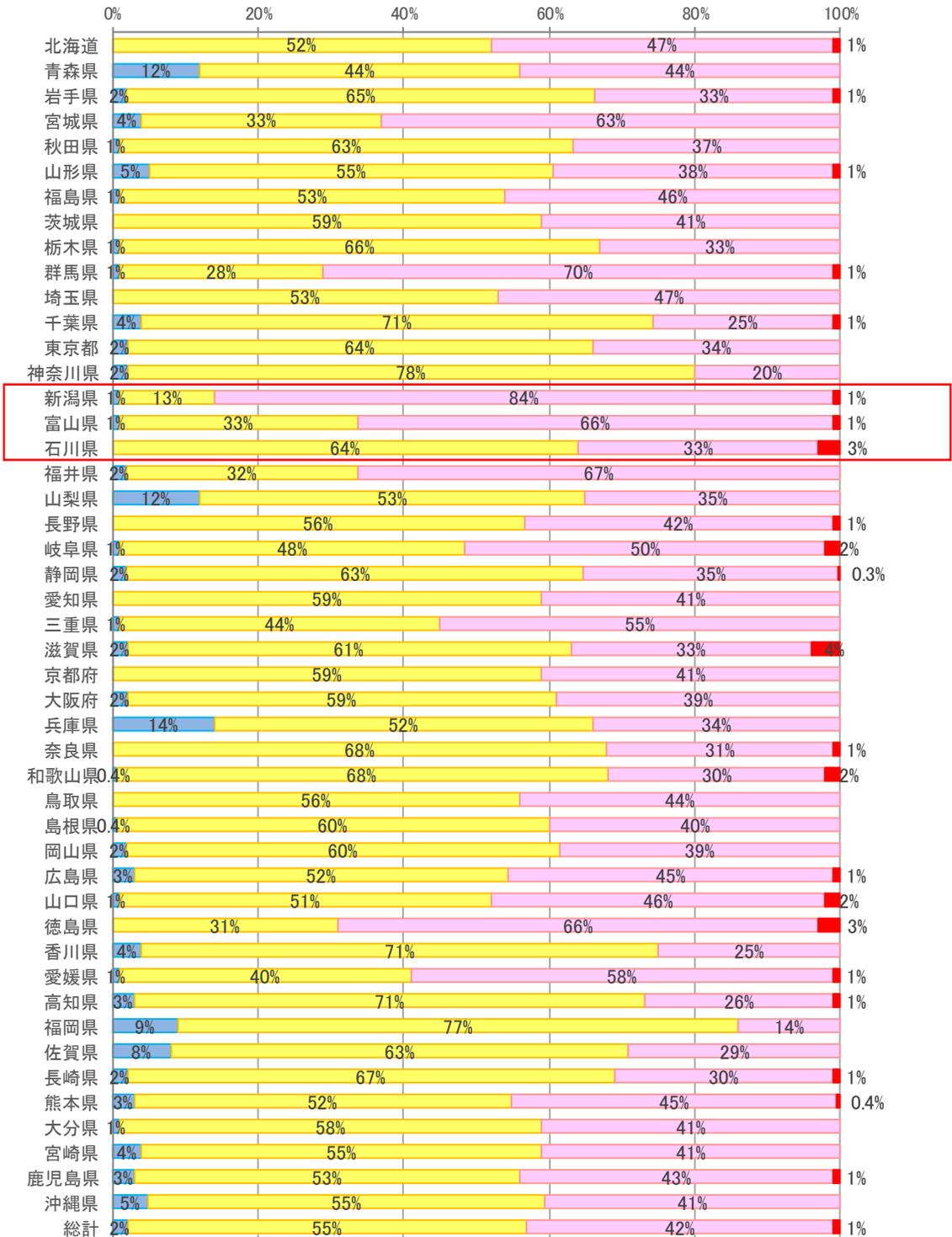
■ 100m未満
 ■ 100m以上
500m未満
 ■ 500m以上
1000m未満
 ■ 1000m以上
3000m未満
 ■ 3000m以上

※延長に関して情報がなかった施設を除く

4) 地方公共団体の点検結果の分布 (2014~2019年度 トンネル)

- 地方公共団体（都道府県・政令市等及び市区町村）の2014~2019年度点検実施トンネルの判定区分の割合は地域によって異なります。
- 地方公共団体全体の判定区分の割合は、Ⅰ 2%、Ⅱ 55%、Ⅲ 42%、Ⅳ 1%です。

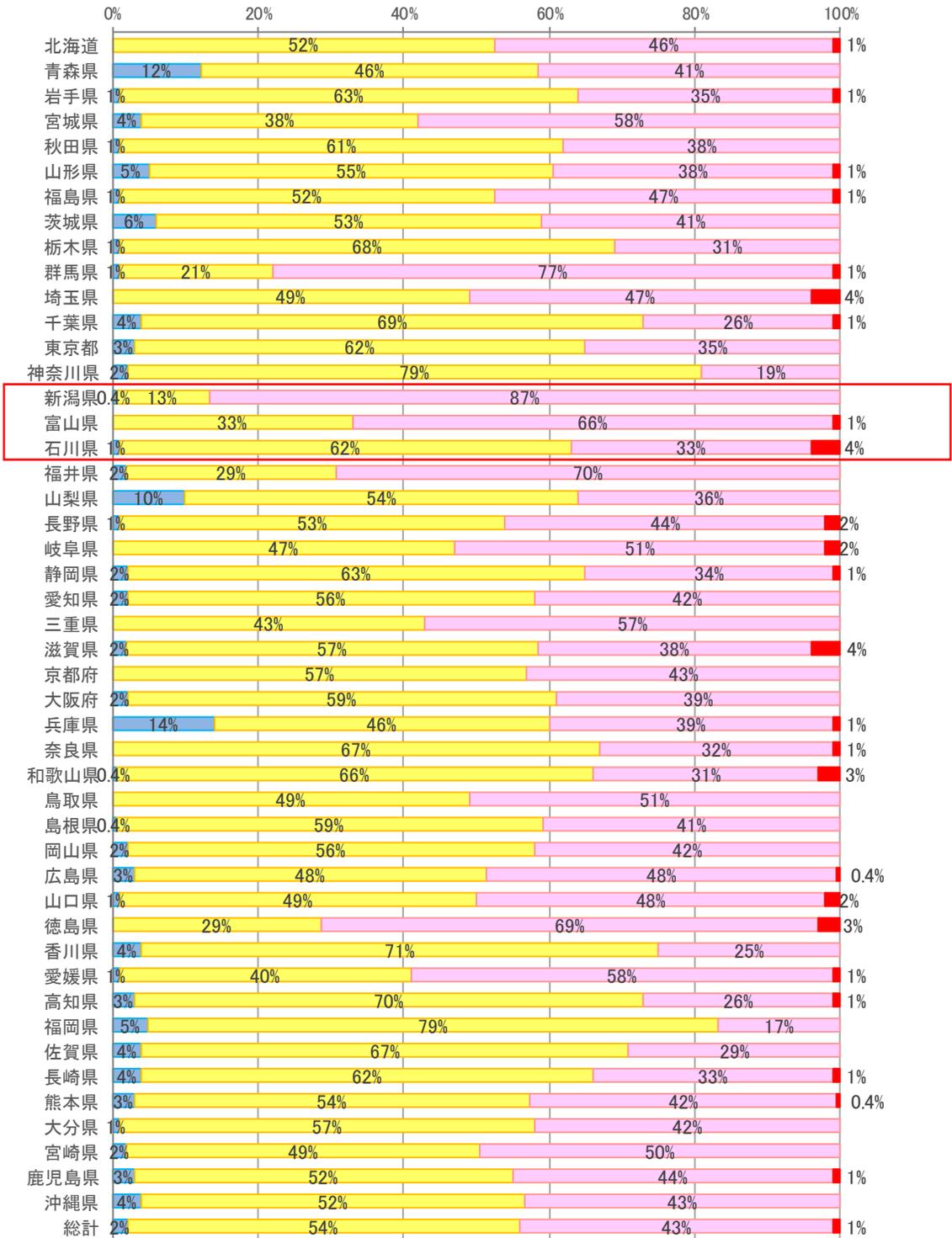
① 都道府県別判定区分の割合 (地方公共団体管理橋梁)



■ Ⅰ : 健全 ■ Ⅱ : 予防保全段階 ■ Ⅲ : 早期措置段階 ■ Ⅳ : 緊急措置段階

※都道府県内管理トンネル数(2020.3)のうち2014~2019年度の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検における都道府県別判定区分の割合 (地方公共団体管理トンネル)



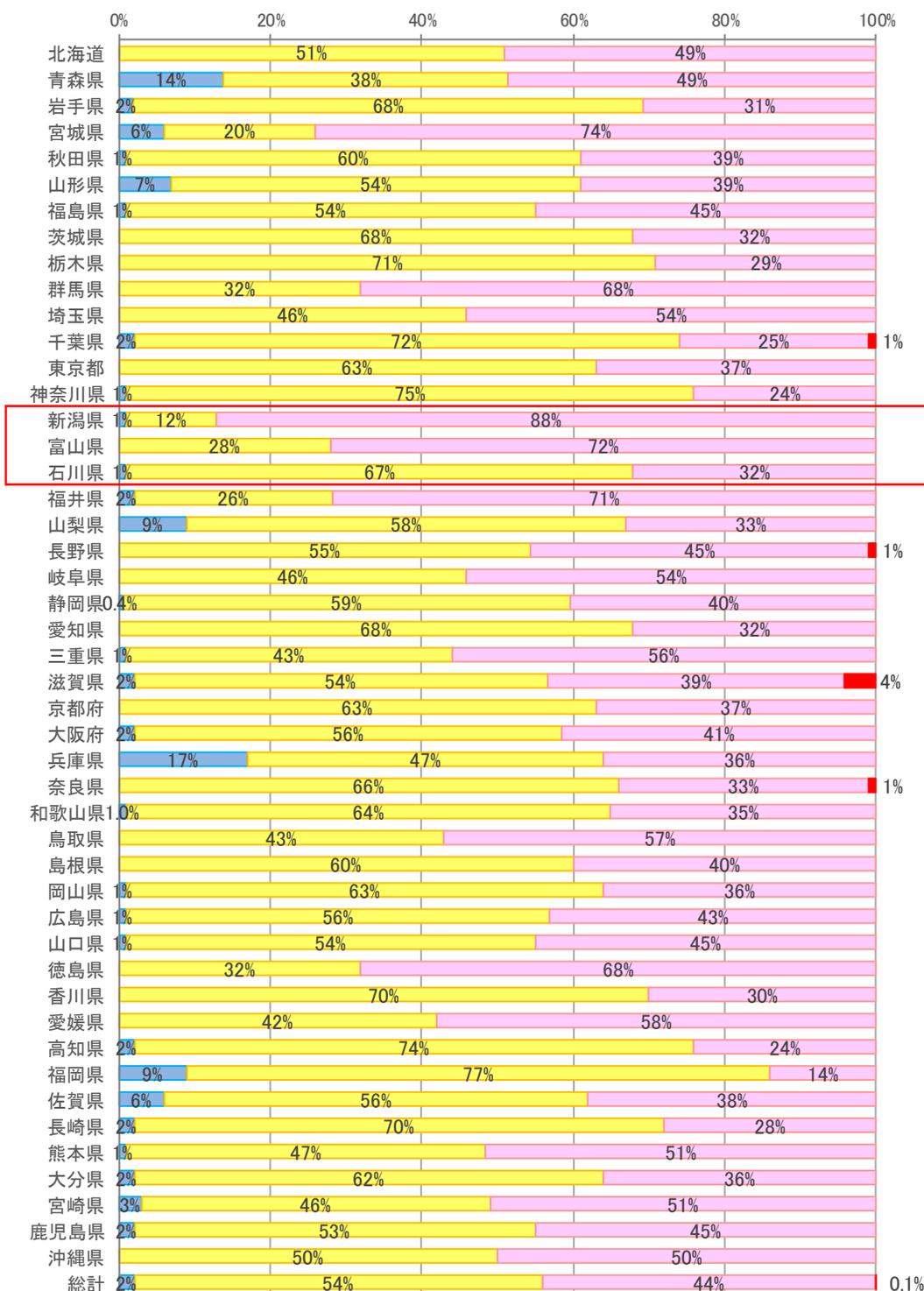
■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※都道府県内管理トンネル数(2020.3)のうち2014~2019年度の点検結果をもとに作成したものである。また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

5) 都道府県・政令市等の点検結果の分布 (2014~2019年度トンネル)

- 都道府県・政令市等の2014~2019年度点検実施トンネルの判定区分の割合は地域によって異なります。
- 都道府県・政令市等の全体の判定区分の割合は、Ⅰ 2%、Ⅱ 54%、Ⅲ 44%、Ⅳ 0.1%です。

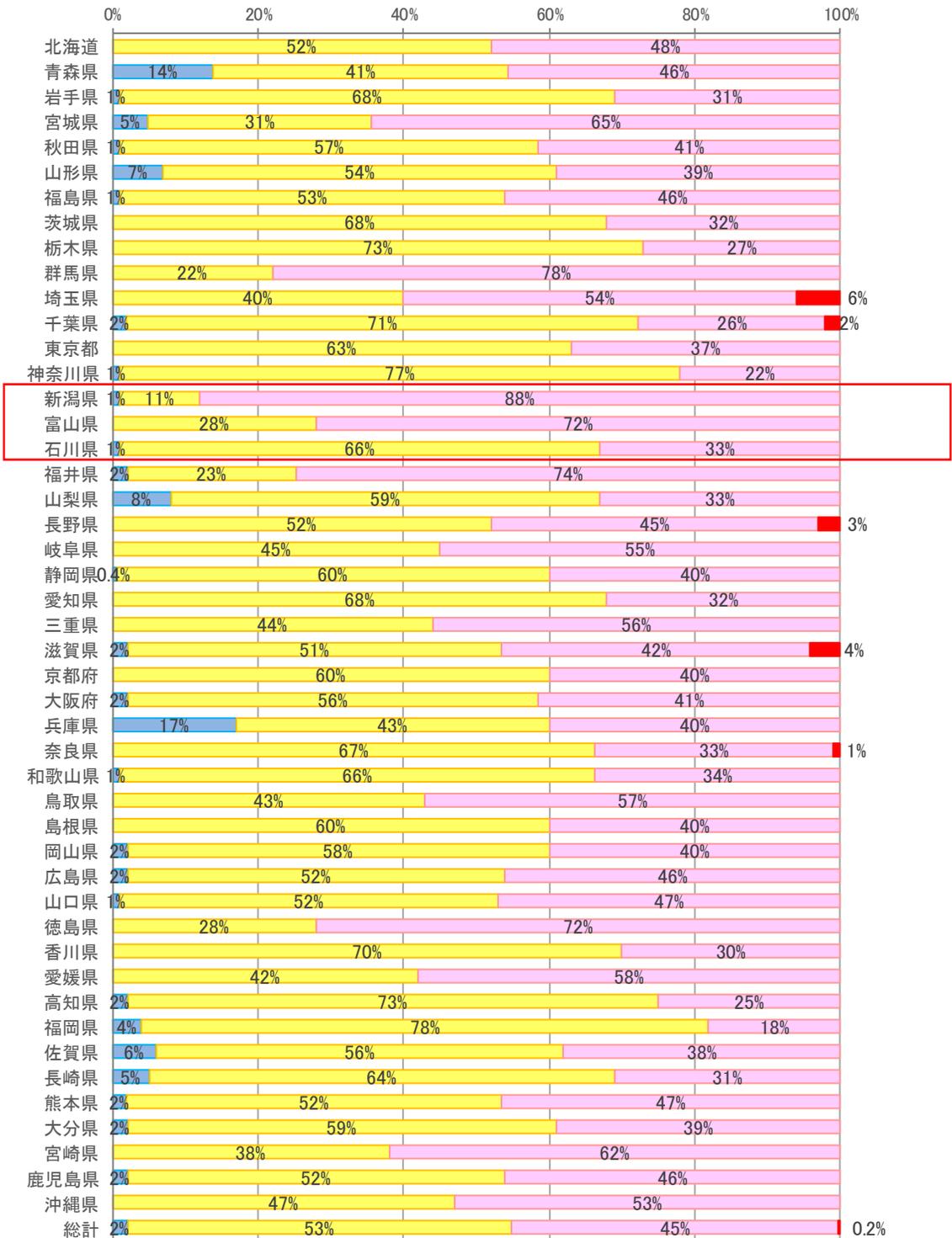
① 都道府県別判定区分の割合 (都道府県・政令市等管理トンネル)



■ Ⅰ : 健全 ■ Ⅱ : 予防保全段階 ■ Ⅲ : 早期措置段階 ■ Ⅳ : 緊急措置段階

※都道府県内管理トンネル数(2020.3)のうち2014~2019年度の点検結果をもとに作成したものである。また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検における都道府県別判定区分の割合 (都道府県・政令市等管理トンネル)



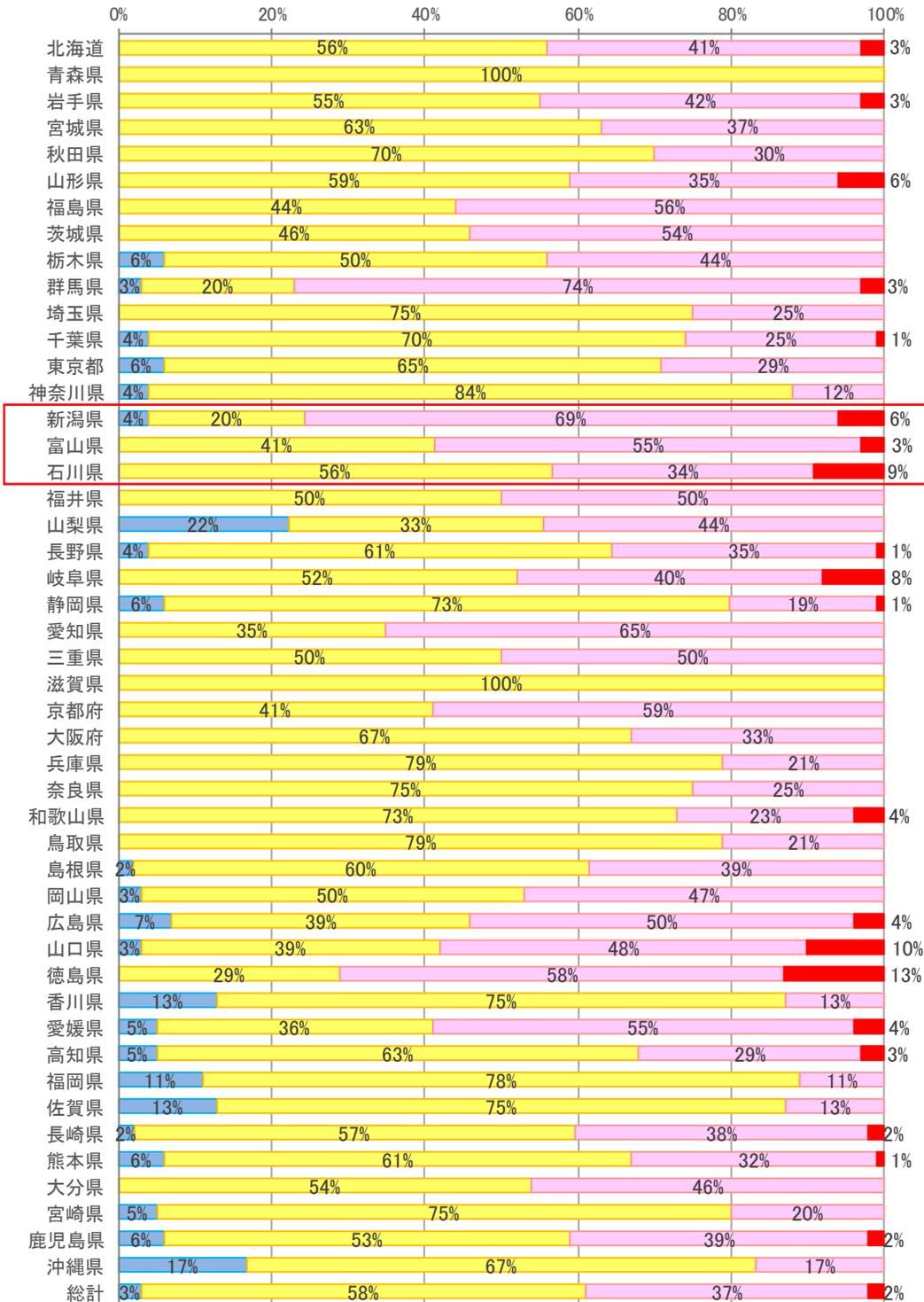
■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※都道府県内管理トンネル数(2020.3)のうち2014~2019年度の点検結果をもとに作成したものである。また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

6) 市区町村の点検結果の分布 (2014~2019年度トンネル)

- 市区町村の2014~2019年度点検実施トンネルの判定区分の割合は地域によって異なります。
- 市区町村の全体の判定区分の割合は、Ⅰ 3%、Ⅱ 58%、Ⅲ 37%、Ⅳ 2%です。

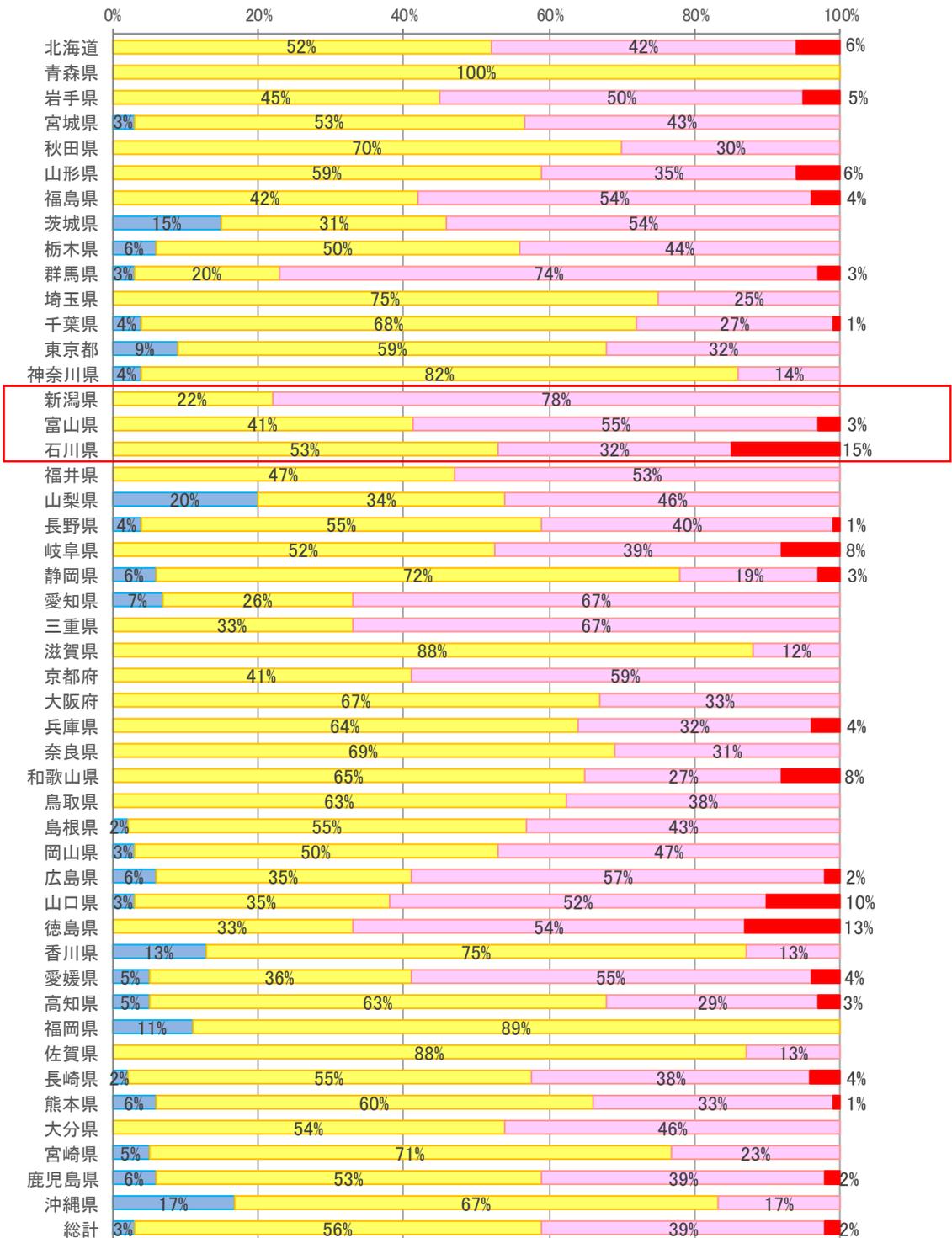
① 都道府県別判定区分の割合 (市区町村管理トンネル)



■ Ⅰ : 健全 ■ Ⅱ : 予防保全段階 ■ Ⅲ : 早期措置段階 ■ Ⅳ : 緊急措置段階

※都道府県内管理トンネル数(2020.3)のうち2014~2019年度の点検結果をもとに作成したものである。また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検における都道府県別判定区分の割合 (市区町村管理トンネル)



■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

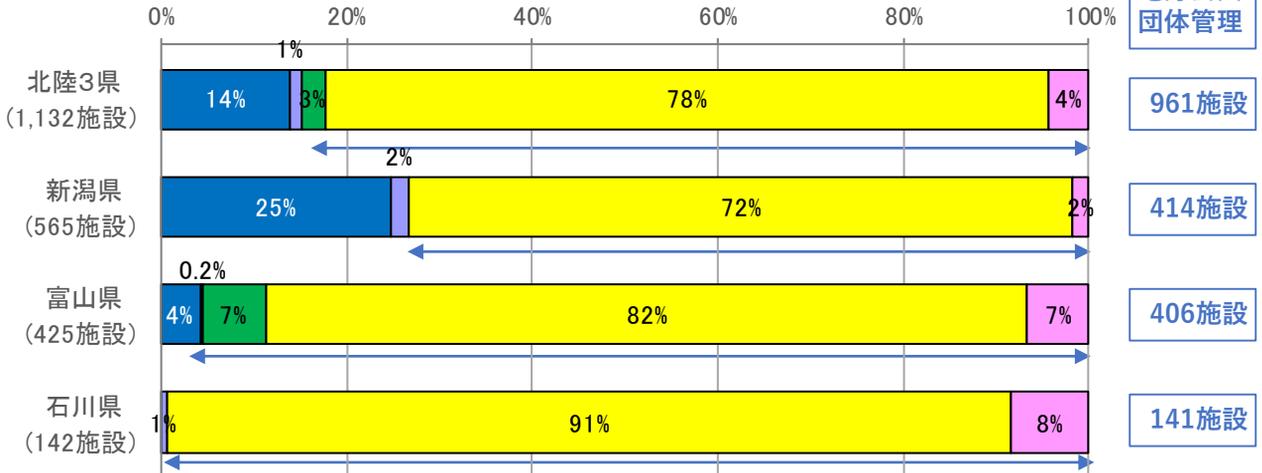
※都道府県内管理トンネル数(2020.3)のうち2014~2019年度の点検結果をもとに作成したものである。また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(3) シェッドの現状

1) 管理者別の箇所数

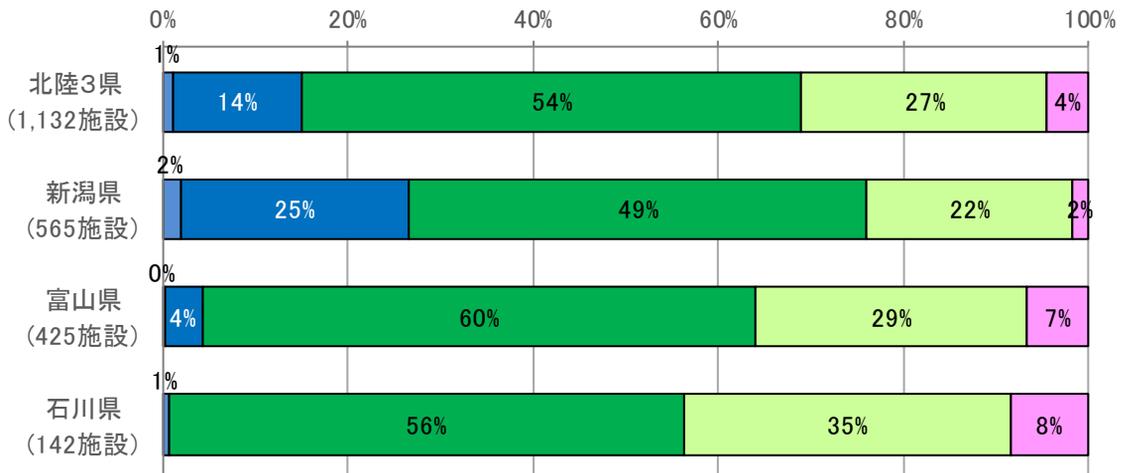
○ 北陸地方にはシェッドが約1,100施設あり、このうち、地方公共団体が管理する橋梁は約1,000施設と、約8割を占めています。

① 道路管理者別



■ 国土交通省 ■ 高速道路会社 ■ 道路公社 ■ 都道府県 ■ 政令市 ■ 市町村

② 道路種別



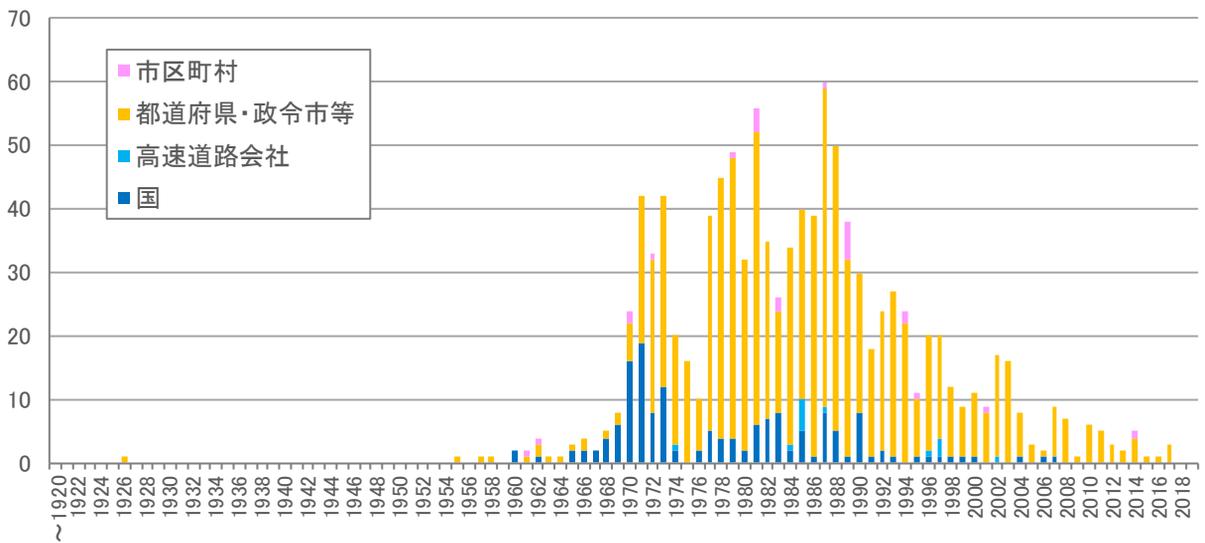
■ 高速自動車国道 ■ 直轄国道 ■ 補助国道 ■ 都道府県道 ■ 市町村道

2) 建設年度別のシェッド数

- 建設後50年を経過したシェッドの割合は、現在は約6%であるのに対し、10年後には約36%に増加します。建設後50年を経過し延長50m未満のシェッドの割合は、10年後に約41%となります。延長50m以上のシェッドの割合は、10年後に約32%となります。

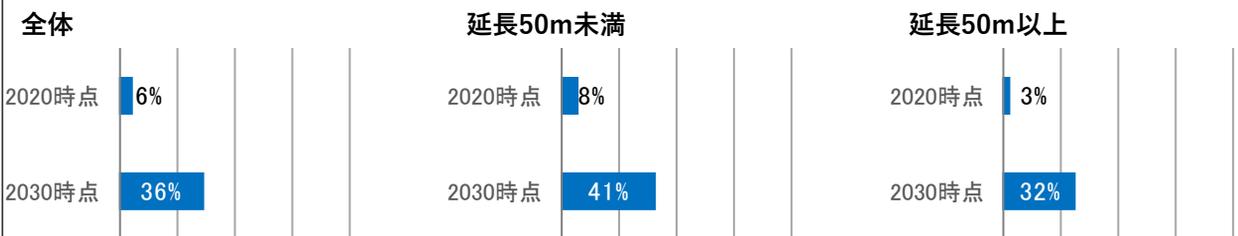
■ 北陸3県

① 建設年度別シェッド数



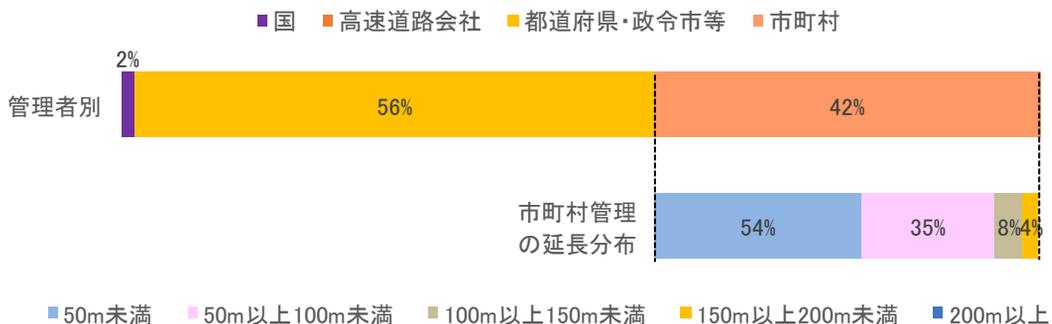
※この他、古いシェッドなど記録が確認できない建設年度不明シェッドが62施設ある

② 建設後50年を経過したシェッドの割合



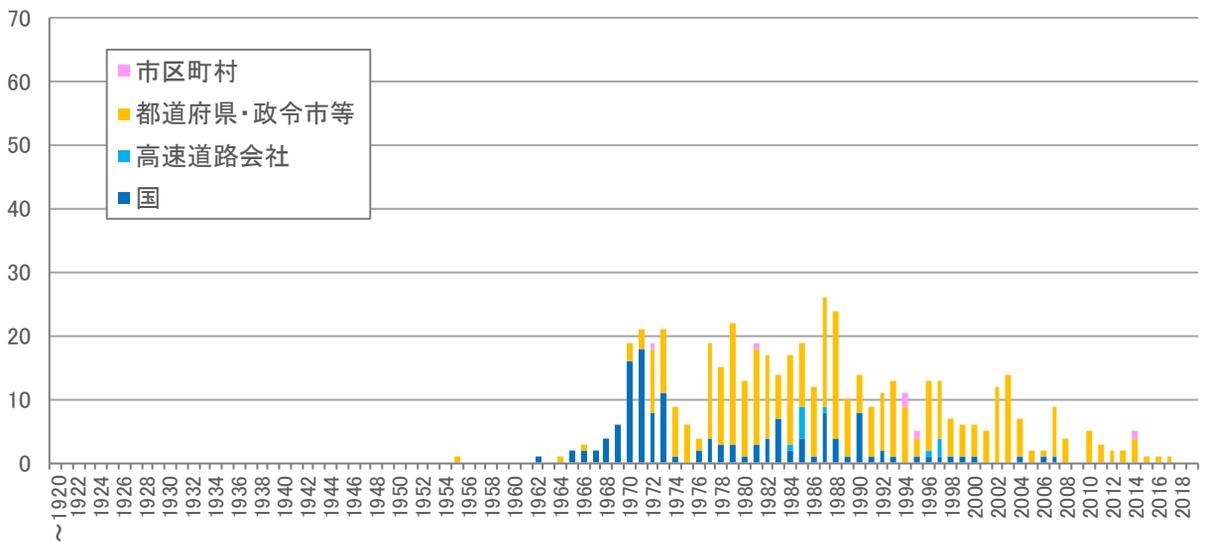
※この他、古いシェッドなど記録が確認できない建設年度不明シェッドが62施設ある

③ 建設年度不明シェッドの内訳



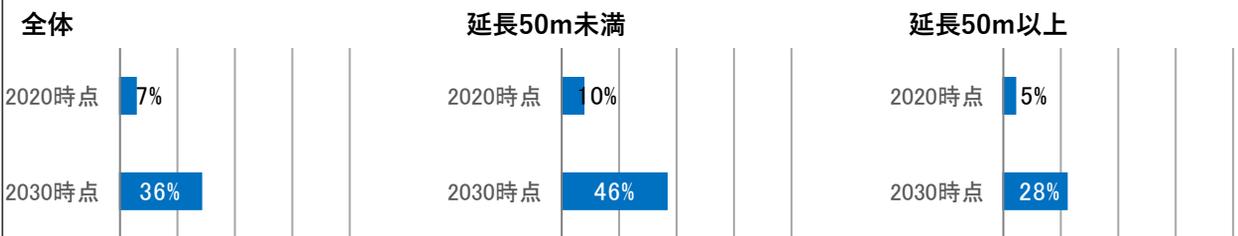
■ 新潟県

① 建設年度別シェッド数



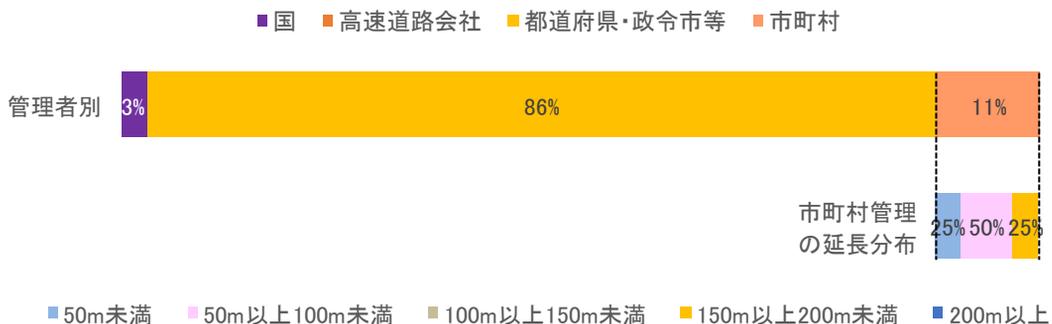
※この他、古いシェッドなど記録が確認できない建設年度不明シェッドが36施設ある

② 建設後50年を経過したシェッドの割合



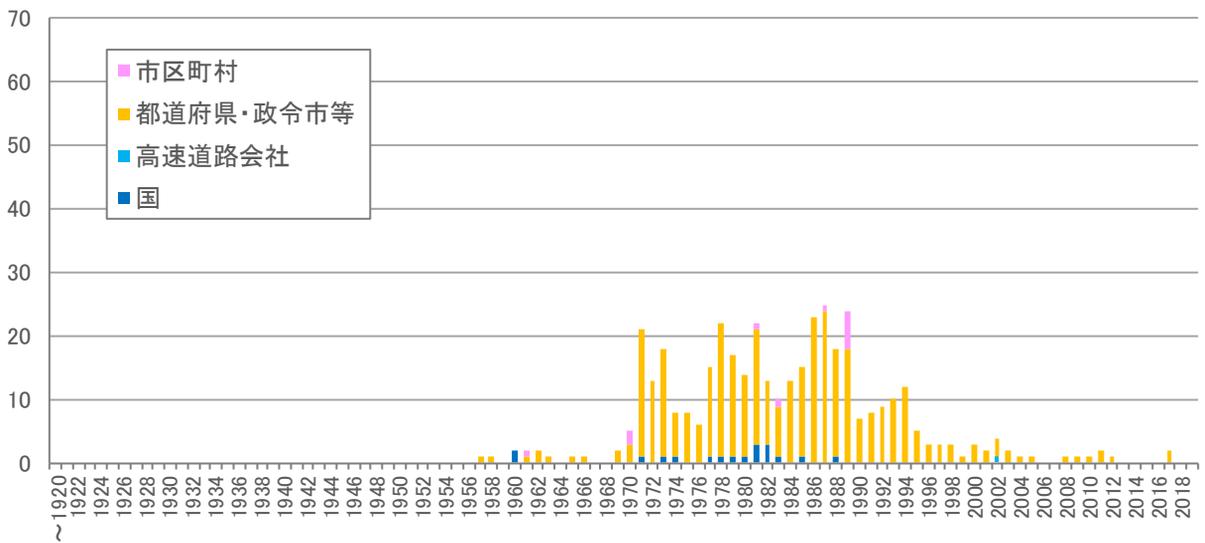
※この他、古いシェッドなど記録が確認できない建設年度不明シェッドが36施設ある

③ 建設年度不明シェッドの内訳



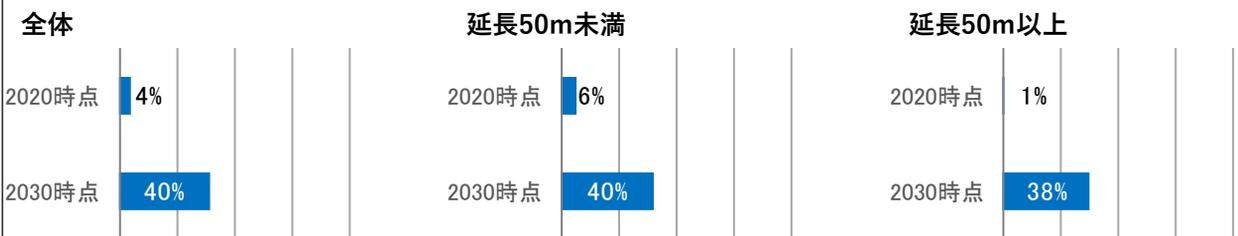
■ 富山県

① 建設年度別シェッド数



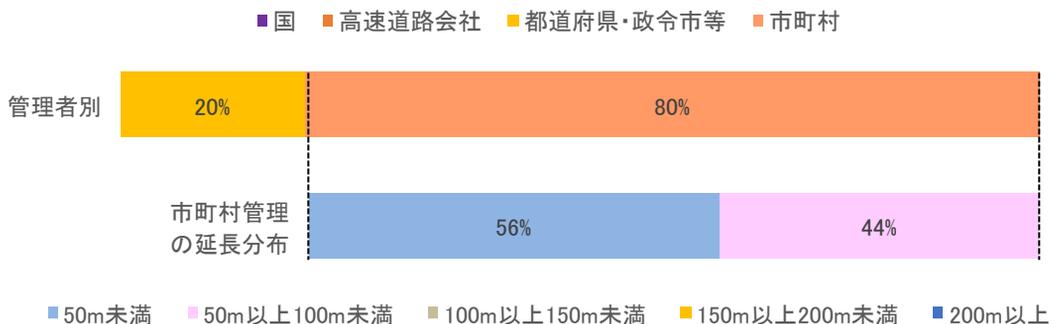
※この他、古いシェッドなど記録が確認できない建設年度不明シェッドが20施設ある

② 建設後50年を経過したシェッドの割合



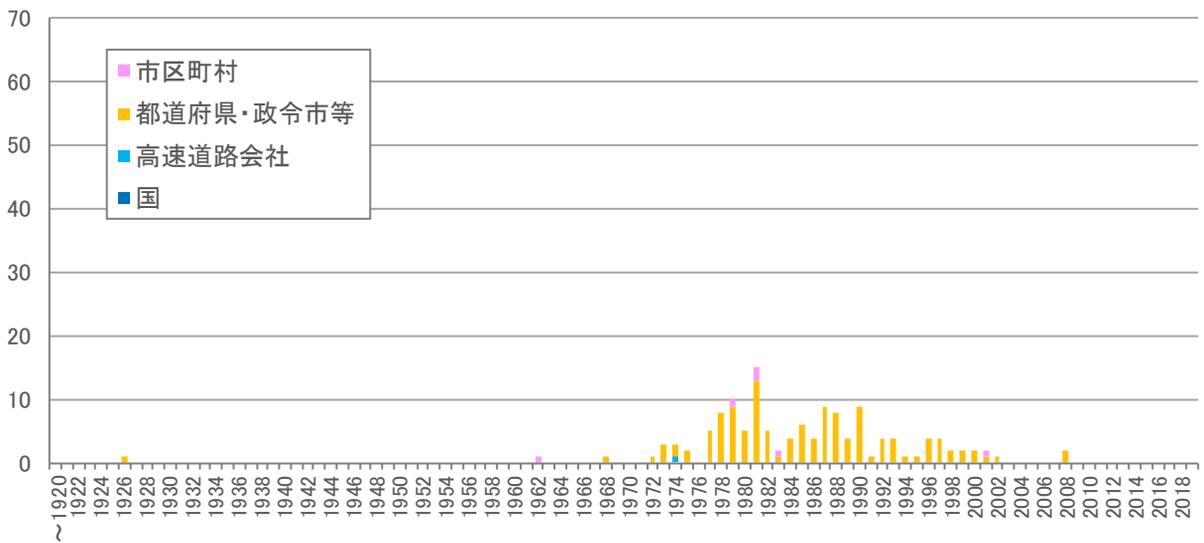
※この他、古いシェッドなど記録が確認できない建設年度不明シェッドが20施設ある

③ 建設年度不明シェッドの内訳



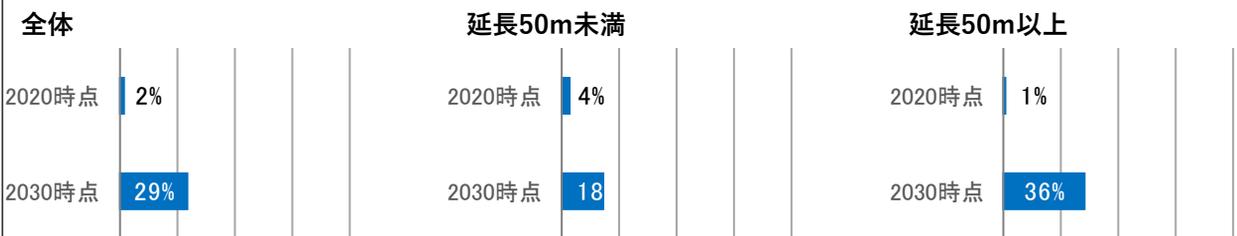
■ 石川県

① 建設年度別シェッド数



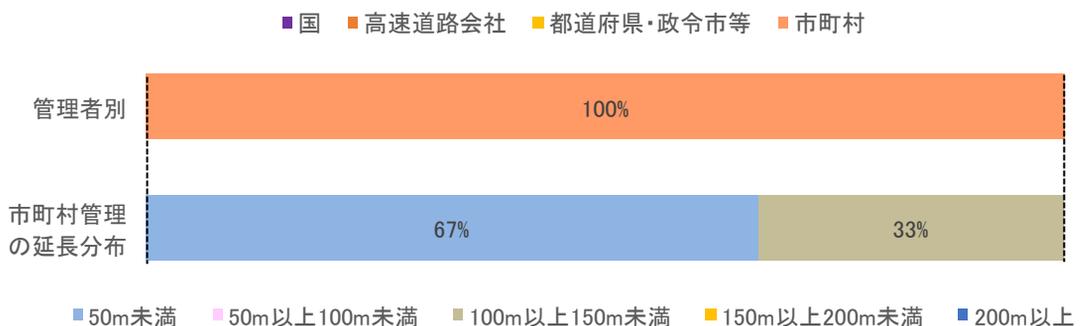
※この他、古いシェッドなど記録が確認できない建設年度不明シェッドが6施設ある

② 建設後50年を経過したシェッドの割合



※この他、古いシェッドなど記録が確認できない建設年度不明シェッドが6施設ある

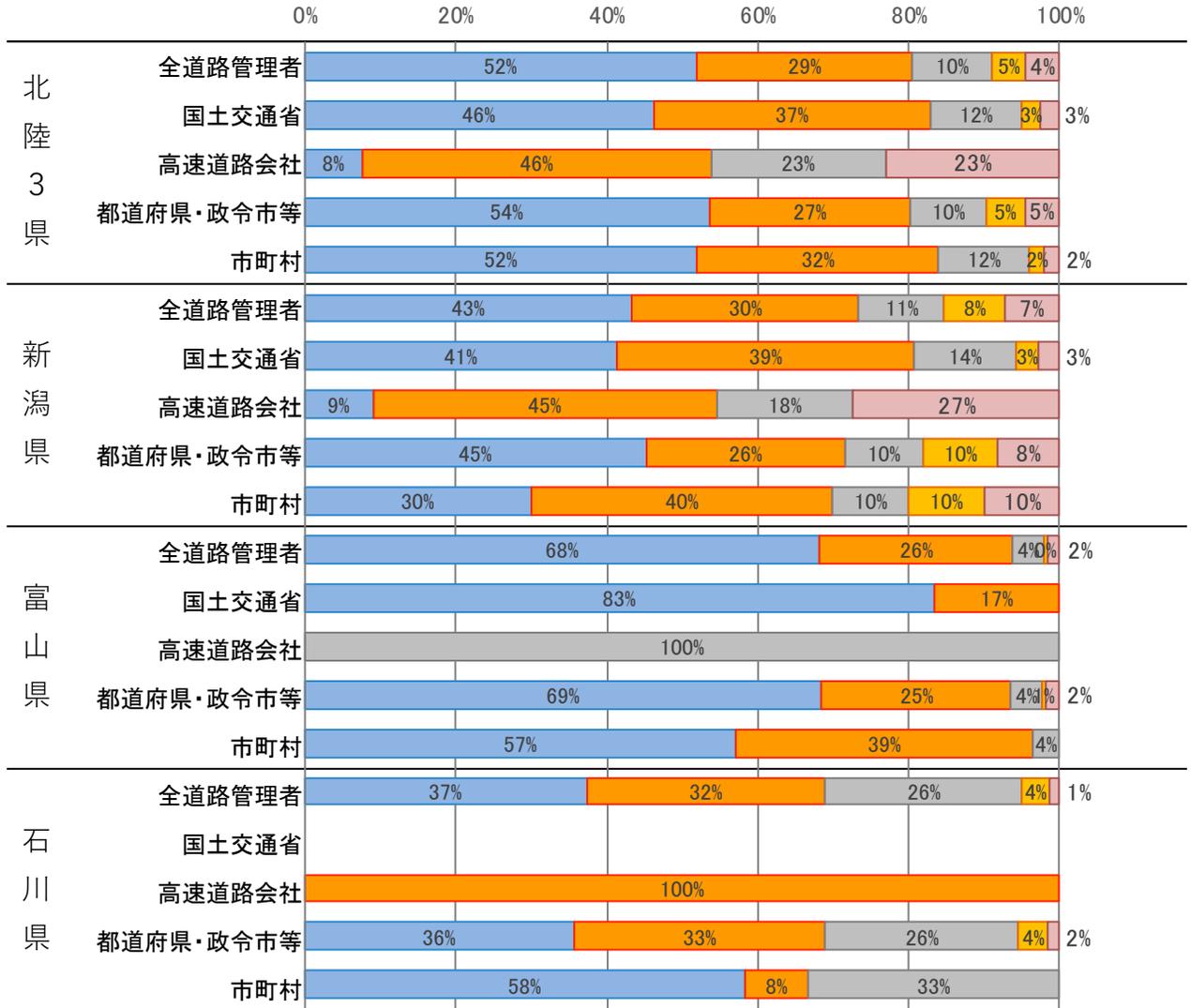
③ 建設年度不明シェッドの内訳



3) 管理者別の延長分布

○ 延長50m以上のシェッドは高速道路会社に多くなっています。

① 管理者別の延長分布



■ 50m未満 ■ 50m以上 100m未満 ■ 150m以上 200m未満 ■ 150m以上 200m未満 ■ 200m以上

※延長に関して情報がなかった施設を除く

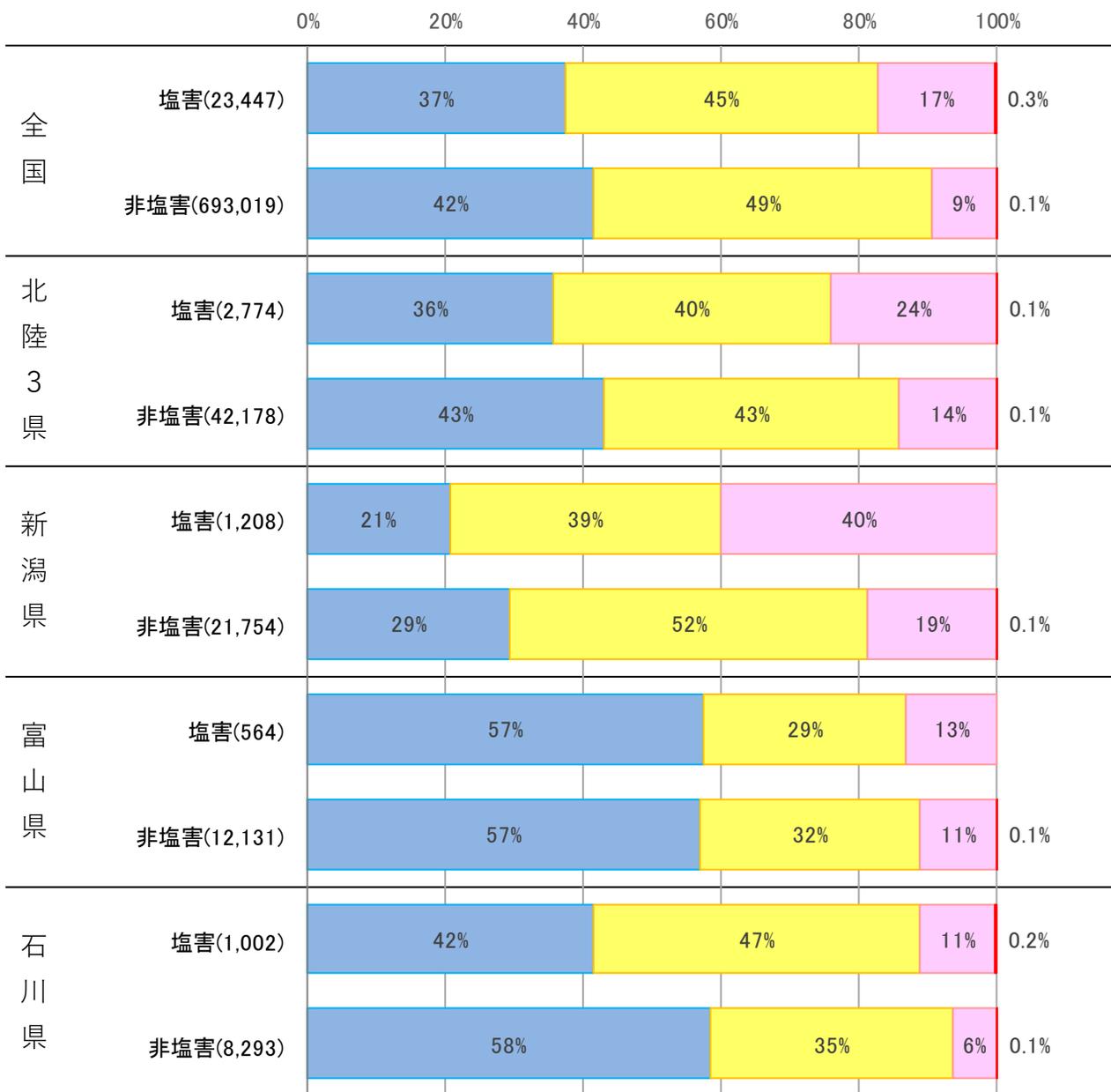
5. データ分析・活用の事例

(1) 塩害の影響分析

○ 塩害の影響地域にある橋梁は、塩害の影響地域以外と比べて判定区分Ⅲの割合が高い傾向にあります。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある（次頁以降も同様）。

①判定区分割合の塩害の影響地域による比較 (全道路管理者、1巡目点検結果に2019年度点検結果を反映)



※全国値については、令和元年度版（平成30年度・一巡目）と同様。

■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

(2) 凍結防止剤の影響分析

○ 凍結防止剤が散布されている橋梁では、散布されていない橋梁に比べ、判定区分Ⅱ、Ⅲの割合が高い傾向にあります。

※凍結防止剤の散布量は当該橋梁が存在する路線における平成26年度の散布量をもとに算出
(凍結防止剤散布量に関する情報がなかった橋梁を除く)

①判定区分割合の凍結防止剤散布量による比較 (国土交通省、1巡目点検結果に2019年度点検結果を反映)



※全国値については、令和元年度版（平成30年度・一巡目）と同様。

■ I : 健全 ■ II : 予防保全段階 ■ III : 早期措置段階 ■ IV : 緊急措置段階

※t : 凍結防止剤散布量 (ton/km/年)

※巻末資料

(1) 点検実施状況と点検結果の道路附属物等の内訳

1) 点検実施状況 (全道路管理者)

全国

	点検実施数	点検実施状況				
		上段:点検実施数、下段:点検実施率				
		2019	2020	2021	2022	2023
道路附属物等	40,251	7,172 18%	-	-	-	-
シェッド	3,498	506 14%	-	-	-	-
大型カルバート	8,519	1,630 19%	-	-	-	-
横断歩道橋	11,787	2,350 20%	-	-	-	-
門型標識等	16,447	2,686 16%	-	-	-	-

北陸3県

	点検実施数	点検実施状況				
		上段:点検実施数、下段:点検実施率				
		2019	2020	2021	2022	2023
道路附属物等	2,629	312 12%	-	-	-	-
シェッド	1,127	164 15%	-	-	-	-
大型カルバート	686	101 15%	-	-	-	-
横断歩道橋	152	7 5%	-	-	-	-
門型標識等	664	40 6%	-	-	-	-

新潟県

	点検実施数	点検実施状況				
		上段：点検実施数、下段：点検実施率				
		2019	2020	2021	2022	2023
道路附属物等	1,405	199	-	-	-	-
		14%	-	-	-	-
シェッド	562	127	-	-	-	-
		23%	-	-	-	-
大型カルバート	414	62	-	-	-	-
		15%	-	-	-	-
横断歩道橋	103	5	-	-	-	-
		5%	-	-	-	-
門型標識等	326	5	-	-	-	-
		2%	-	-	-	-

富山県

	点検実施数	点検実施状況				
		上段：点検実施数、下段：点検実施率				
		2019	2020	2021	2022	2023
道路附属物等	774	70	-	-	-	-
		9%	-	-	-	-
シェッド	423	6	-	-	-	-
		1%	-	-	-	-
大型カルバート	172	30	-	-	-	-
		17%	-	-	-	-
横断歩道橋	29	0	-	-	-	-
		0%	-	-	-	-
門型標識等	150	34	-	-	-	-
		23%	-	-	-	-

石川県

	点検実施数	点検実施状況				
		上段：点検実施数、下段：点検実施率				
		2019	2020	2021	2022	2023
道路附属物等	450	43	-	-	-	-
		10%	-	-	-	-
シェッド	142	31	-	-	-	-
		22%	-	-	-	-
大型カルバート	100	9	-	-	-	-
		9%	-	-	-	-
横断歩道橋	20	2	-	-	-	-
		10%	-	-	-	-
門型標識等	188	1	-	-	-	-
		1%	-	-	-	-

2) 点検結果 (全道路管理者)

全国

	点検実施数 ※	判定区分			
		上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	7,172	2,626 37%	3,656 51%	888 12%	2 0.03%
シェッド	506	31 6%	230 45%	244 48%	1 0.2%
大型カルバート	1,630	643 39%	904 55%	83 5%	0 0%
横断歩道橋	2,350	472 20%	1,416 60%	461 20%	1 0.04%
門型標識等	2,686	1,480 55%	1,106 41%	100 4%	0 0%

北陸3県

	点検実施数 ※	判定区分			
		上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	312	54 17%	134 43%	123 39%	1 0.3%
シェッド	164	1 1%	56 34%	106 65%	1 1%
大型カルバート	101	46 46%	54 53%	1 1%	0 0%
横断歩道橋	7	2 29%	3 43%	2 29%	0 0%
門型標識等	40	5 13%	21 53%	14 35%	0 0%

新潟県

	点検実施数	判定区分			
		上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	199	45 23%	54 27%	99 50%	1 1%
シェッド	127	1 1%	28 22%	97 76%	1 1%
大型カルバート	62	42 68%	19 31%	1 2%	0 0%
横断歩道橋	5	2 40%	2 40%	1 20%	0 0%
門型標識等	5	0 0%	5 100%	0 0%	0 0%

富山県

	点検実施数	判定区分			
		上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	70	8 11%	48 69%	14 20%	0 0%
シェッド	6	0 0%	6 100%	0 0%	0 0%
大型カルバート	30	4 13%	26 87%	0 0%	0 0%
横断歩道橋	0	0	0	0	0
門型標識等	34	4 12%	16 47%	14 41%	0 0%

石川県

	点検実施数	判定区分			
		上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
道路附属物等	43	1 2%	32 74%	10 23%	0 0%
シェッド	31	0 0%	22 71%	9 29%	0 0%
大型カルバート	9	0 0%	9 100%	0 0%	0 0%
横断歩道橋	2	0 0%	1 50%	1 50%	0 0%
門型標識等	1	1 100%	0 0%	0 0%	0 0%

(2) 判定区分Ⅳの施設リスト (2014～2019年度)

【橋梁】 (36橋)

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2020.3月末時点)
新潟市	とよさか とうせん とうきょう 豊栄1-106号線1号橋	市区町村道(その他)豊栄1-106号線	不明	2018	桁及び床版剥離・鉄筋露出、橋脚梁の亀裂	仮設材による仮受け・鉄板の敷設等の応急対応を実施(通行可能)	2020年12月撤去
柏崎市(新潟県)	いたにばし 居谷橋	市区町村道(その他)柏崎寄合居谷線	不明	2018	上部工のひび割れ、たわみ	上部工端部の損傷した床板1本を除去車両進入防止用の柵を入口に設置(通行規制(車両))	修繕済
柏崎市(新潟県)	みとがわばし 三十川橋	市区町村道(その他)柏崎前戸線	不明	2018	木桁の腐食、割れ、断面減少、たわみ	バリケードにより全面通行止め	撤去済
柏崎市(新潟県)	中長者橋	市道柏崎8-158号線	2003	2019	主桁および床版の腐食	全面通行止	撤去済
柏崎市(新潟県)	島田橋 2	市道柏崎門出島田線	1965	2019	橋台の剥離	全面通行止	未定
新発田市(新潟県)	角造橋	市道蔵光中森線	1969	2019	主桁および支承の腐食	仮受け材の設置(全面通行止)	撤去予定
村上市(新潟県)	川下小橋	市道中小屋線	不明	2019	主桁の腐食	車両通行止	架替予定
村上市(新潟県)	川入1号橋	市道河内 14号線	不明	2019	主桁および床版の腐食	全面通行止	撤去予定
糸魚川市(新潟県)	大谷川第一橋	市道上角間線	不明	2019	床版の腐食	全面通行止	未定
糸魚川市(新潟県)	荒沢橋	市道荒沢線	1966	2019	床版の腐食	全面通行止	未定
佐渡市(新潟県)	うまくび とうきょう 馬首3号橋	市道(その他)馬首5号線	不明	2018	主桁および床版の腐食	バリケードにより全面通行止め	修繕済
魚沼市(新潟県)	ほそがばし 細野橋	市区町村道(その他)守門13号線	1962	2015	主桁の鉄筋露出	全面通行止	撤去中
魚沼市(新潟県)	黒又堰堤橋	市道大栃山249号線	1971	2019	主桁および床版の腐食	全面通行止	撤去予定
魚沼市(新潟県)	無名橋 1	市道高側3号線	不明	2019	床版の腐食	全面通行止	撤去予定
胎内市(新潟県)	はし つづみ橋	市区町村道(2級)黒川塩沢蔵王線	1970	2017	主桁の腐食	通行規制(車両)	架替済
阿賀町(新潟県)	ぬまはたばし 沼端橋	町道(その他)村木沼端線	不明	2014	基礎の洗掘	全面通行止	修繕済
阿賀町(新潟県)	つなぎますたに とうきょう 綱木増谷2号橋	町道(その他)増谷川線	不明	2014	主桁の腐食	全面通行止	修繕済
関川村(新潟県)	大里沢橋	市道九ヶ谷 郷2号線	1968	2019	主桁および床版の腐食	全面通行止	修繕予定
富山市(富山県)	やまぶきばし 山吹橋	市道高熊八尾線	1955	2017	主ケーブルの破断・断面減少	全面通行止	未定
富山市(富山県)	すなくらだにばし 砂蔵谷橋	市道蟹寺加賀沢線	1972	2017	主桁・対傾構の変形	全面通行止	未定
富山市(富山県)	かめいわばし 瓶岩橋	松ノ木横江線	1972	2018	支承の破損、橋台のひび割れ	バリケードを設置し、全面通行止め(2015より)	未定
富山市(富山県)	ませぐちばし とう 馬瀬口橋 1号	下番殿様林線	不明	2018	橋座コンクリートの割れ	損傷の常時監視	架替中
高岡市(富山県)	むめいきょう 無名橋938	矢部小伊勢領線	不明	2014	主桁の鉄筋露出	全面通行止	撤去中
高岡市(富山県)	むめいきょう 無名橋1069	市道古村向野北線	不明	2017	床版の破断・鉄筋露出	全面通行止	撤去済
魚津市(富山県)	つきがたばし 月形橋	市道有山2号線	1966	2017	支承部の腐食、沈下、移動、傾斜	全面通行止	未定
滑川市(富山県)	つきがたばし 月形橋	旧県道栗山月形橋線	1966	2017	支承部の腐食、沈下、移動、傾斜	全面通行止	未定
砺波市(富山県)	むめいきょう 無名橋546	市道前山線	1983	2017	床版の変形	通行規制(損傷部)	修繕予定
砺波市(富山県)	むめいきょう 無名橋564	市道広谷線	1956	2017	橋台の沈下・傾き	全面通行止	修繕済
金沢市(石川県)	ばし にまい橋	準幹線556号金石・大野線	1913	2015	主桁の腐食	通行規制(路肩)	架替済

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2020.3月末時点)
七尾市(石川県)	おくはら ごうばし 奥原5号橋	市道奥原19号線	1955	2015	主桁の鉄筋露出、破断、横桁、床板の鉄筋露出、断面欠損、	全面通行止	撤去予定
七尾市(石川県)	のざき ごうばし 野崎1号橋	市道能登島31号線	1977	2015	床板の鉄筋露出、破断・うき	全面通行止	架替済
小松市(石川県)	むめいきょう 無名橋7009	市道尾小屋新丸線	不明	2015	上部工、下部工の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去中
小松市(石川県)	さかいばし さかい橋	市道江指町勘定線	1926	2018	主桁の腐食・欠損	バリケードを設置し全面通行止め	修繕中
羽咋市(石川県)	うりやばし 瓜屋橋	市道邑知116号線	1994	2017	主桁の腐食・欠損、床板目地部からの漏水	全面通行止	撤去予定
白山市(石川県)	おぞうおおはし 尾添大橋	中宮尾添線	1973	2018	橋台基礎における地盤崩落	バリケードを設置し全面通行止め	修繕予定
白山市(石川県)	ごみじまばし 五味島橋	ダム1号線	1979	2018	主桁の座屈	バリケードを設置し全面通行止め	撤去予定

【トンネル】 (9箇所)

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2020.3月末時点)
見附市(新潟県)	とちくぼずいどう 栢窪隧道	樺沢・栢窪線	1956	2019	坑口の崩壊	全面通行止	未定
村上市(新潟県)	おおさきやま 大崎山トンネル	市道府屋基石線	1955	2019	本体工の材質劣化	全面通行止	廃止予定
村上市(新潟県)	まのうち 間ノ内トンネル	市道府屋基石線	1955	2019	本体工の材質劣化	全面通行止	廃止予定
富山市(富山県)	すなぐら 砂蔵トンネル	市道蟹寺加賀沢線	1977	2018	側壁に段差を伴うひび割れ、坑門ひび割れ	全面通行止	廃止予定
加賀市(石川県)	しじゅくいんずいどう 四十九院隧道	市道D第320号線	1958	2017	コンクリートのひび割れ、うき・はく離	全面通行止	廃止済
加賀市(石川県)	おおうちずいどう 大内隧道	市道D第340号線	1961	2017	アーチ部モルタルのうき	全面通行止	廃止済
白山市(石川県)	かずせずいどう 数瀬隧道	市道数瀬2号線	1959	2018	アーチ部のうき、側面壁の欠損	全面通行止 (2004より)	廃止予定
白山市(石川県)	すすくりずいどう 鈴栗隧道	市道ダム1号線	1979	2018	アーチ部のうき	全面通行止 (1985より)	廃止予定
白山市(石川県)	しらおさかいずいどう 白尾境隧道	市道ダム1号線	1979	2018	アーチ部の漏水、空洞	全面通行止 (2014より)	廃止予定

【道路附属物等】 (4施設)

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の具体的内容	緊急措置内容	緊急措置後の恒久的な措置 (2020.3月末時点)
北陸地方整備局	たぶせおうだんぼどうきょう 田伏横断歩道橋	国道8号(新潟県)	1970	2016	主桁の変形、欠損	全面通行止	撤去済
北陸地方整備局	提供装置	国道8号	2000	2018	回転灯の腐食	回転灯撤去	修繕済
阿賀町(新潟県)	いがしま 五十島スノーシェッド	町道向山戸線	不明	2019	頂版からの漏水および遊離石灰	ゲートを設置して、全面通行止	未定
珠洲市(石川県)	シェッド	市道532号線	1962	2018	上部工全体にうき、剥離、鉄筋露出	全面通行止 (2014より)	廃止予定

※判定区分Ⅳの施設リストは、2020.7 末に各道路管理者に確認した内容を記載。

